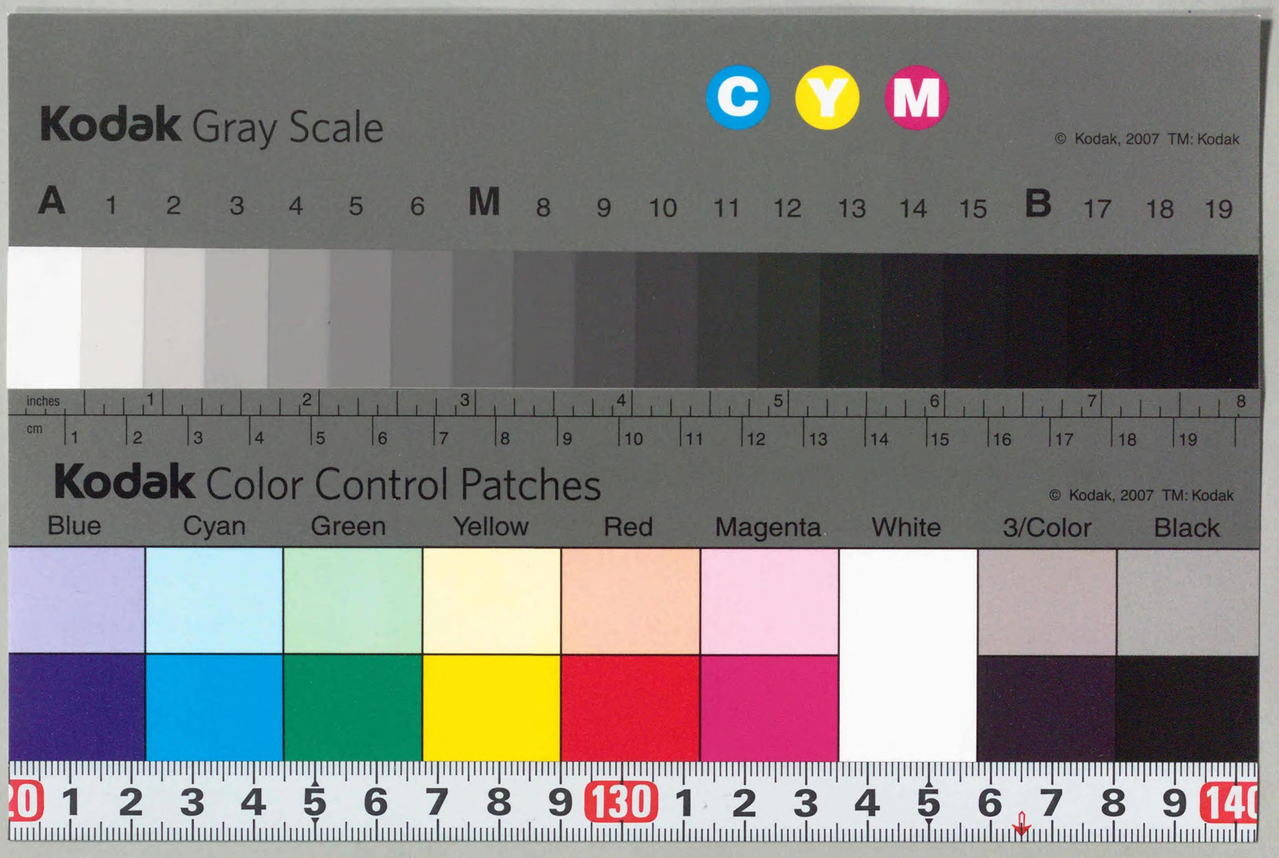


禁書
CZ 436 32
82W35184

沈T-19

中央卸賣市場關係法規
及道府縣食品市場規則

昭和六年三月

（謄寫代用）

商工省商務局

昭和

中央卸賣市場關係法規
及道府縣食品市場規則

昭和六年三月現在

目次

一 中央卸賣市場關係法規

一 中央卸賣市場法……一
二 中央卸賣市場法施行期日ノ件……六
三 中央卸賣市場法等七條ノ規定ニ依リ損失補償ニ關スル件……六
四 中央卸賣市場法施行規則……七

CZ
436
32

國立國會圖書館藏書
57.6.30

pb 9
A
94

國立國會圖書館藏書
46.6.11

82W35184
866407

目次

五　中央卸賣市場補助金交付規則……一八
六　中央卸賣市場區域……一九
七　京都府令中央卸賣市場法施行細則……二九

二　道府縣食品市場規則

北海道　市場規則……三二
　市場規則取扱手續……三九
　市場規則施行ニ關スル件通牒……四五
東北
青森縣　市場取締規則……四七
宮城縣　食品市場規則……四九
秋田縣　市場取締規則……五七
　市場取締規則執行心得……六二

正誤表

頁	行目	誤	正
一一九	終リヨリ二	等七條	第七條
一二五	終リヨリ三	開設者	開設者
一二六	六	市場及事務ノ	市場及事務所ノ
同	四	ニ間スル	ニ關スル
一三六	五	膳本	謄本
一四四	四	法例	法令
一四八	二	竣工	竣工
	九	仲買人引參加數	仲買人取引參加者數
一五三	二	群具シ	群具シ
		第五號、第七號、	號第七號第九號
		第九號	
二八〇	一	於チ	於テ
二九二	八及九	屆出	屆出
二九六	終リヨリ四	沙リ	涉リ
表紙		膳寫代用	謄寫代用

五　中央卸賣市場補助金交付規則……一八
六　中央卸賣市場區域……一九
七　京都府令中央卸賣市場法施行細則……二九

二　道府縣食品市場規則

北海道　市場規則……三二
市場規則取扱手續……三九
市場規則施行ニ關スル件通牒……四五

東北

青森縣　市場取締規則……四七
宮城縣　食品市場規則……四九
秋田縣　市場取締規則……五七
市場取締規則執行心得……六二

正誤表

頁	行目	誤	正
目一	終リヨリ二	等七條	第七條
七	六	ヨリ施行ス	ヨリ之ヲ施行ス
一一	八	業務開始ノ期日	業務開始ノ期日前
同	一七	名薄	名簿
一五	一七	毎月取引高	毎月取引高表
二六	一七	和田堀町	和田堀町
二九	六	郎後	道後
同	六	桑原	桑原村
同	終リヨリ七	申請書	申請者
三〇	四	ニ對スル調書ヲ	ニ對スル調査ヲ遂ゲ之カ調書ヲ
三二	終リヨリ四	船着場トノ	船着場等トノ
三四	終リヨリ五	他人ヲシテ	他人ヲシテ
四一	終リヨリ七	定ムベシ	定メシムヘシ
四三	六	付チハ	付テハ
同	同	永メ	求メ
四六	五	屆出	屆出
五〇	一	買賣	賣買
五三	三	非ラズ	在ラス
五八	終リヨリ四	屆出	屆出
五九	二	抵觸	牴觸
七六	六	當該官吏員	當該官吏吏員
七八	一七	覆葺	覆葺
七九	二	適物ノ勾配	適當ノ勾配
九八	四	（市町村字番地）	（市町村字番地）
一〇九	一〇	記載スヘヰ	記載スヘキ
一一六	一七	トシチ	トシテ
一一八	終リヨリ二	納ムモノ	納ムルモノ
一一九	終リヨリ三	開設著	開設者
一二五	六	市場及事務ノ	市場及事務所ノ
一二六	四	ニ間スル	ニ關スル
同	五	謄本	謄本
一三六	四	法例	法令
一四四	二	竣工	竣工
一四八	九	仲買人引參加數	仲買人取引參加者數
一五三	二	祥具シ	詳具シ
一五六	終リヨリ七	市場規定	市場規程
一五九	終リヨリ五	嫌忌スキヘ	嫌忌スヘキ
一六〇	一一	和事	知事
一六二	八	規程	規定
同	終リヨリ四	適要ス	適用ス
一六五	二	ニ關スル意ヲ	ニ關スル意見ヲ
一六六	三	之ヲ廢止スス	之ヲ廢止ス
一八九	一〇	設備ノ面積	用地ノ面積
二〇〇	六	第三十二條	第二十二條
二〇四	五	市場ヲ開設ノ	市場ヲ開設シ
二〇七	終リヨリ四	市場開設者又ハ	市場開設者名又ハ
二〇八	二	謄本	謄本
同	終リヨリ三	市商人	市場商人
二〇九	四	誠認	認可
二一三	終リヨリ六	供同	共同
二一四	一七	帳薄	帳簿
二二一	終リヨリ七	第八條魚業組合聯合會水産會	第八條漁業組合、漁業組合聯合會、水産會
二二七	七	申告書	申請書
二二九	終リヨリ六	競買	競賣
二三四	四	漁揚場	魚揚場
二四〇	五	魚業組合	漁業組合
二五〇	五	即往	既往
二五一	八	左期事項	左記事項
二七四	七	距離	距離
二七七	終リヨリ四	第六條、第三號、第五號、第七號、第九號	第六條第三號第五號第七號第九號
二八〇	一	於チ	於テ
二九二	八及九	屆出	屆出
二九六	終リヨリ四	沙リ	渉リ
表紙		謄寫代用	謄寫代用

山形縣　魚市場取締規則……六三
魚市場取締規則執行手續……六七
福島縣　市場規則……六九
岩手縣　ナシ
關東
茨城縣　ナシ
栃木縣　市場設置手續……七〇
群馬縣　ナシ
埼玉縣　市場規則……七一
千葉縣　市場取締規則……七七
警視廳　食品市場取締規則……八三
神奈川縣　食品市場營業規則……九二
北陸

山形縣　魚市場取締規則……六三
魚市場取締規則執行手續……六七
福島縣　市場規則……六九
岩手縣　ナシ
關東
茨城縣　ナシ
栃木縣　市場設置手續……七〇
群馬縣　ナシ
埼玉縣　市場規則……七一
千葉縣　市場取締規則……七七
警視廳　食品市場取締規則……八三
神奈川縣　食品市場營業規則……九二
北陸

新潟縣　市場取締規則……九八
富山縣　食品市場營業規則……九九
石川縣　市場規則……一〇三
福井縣　市場設立ニ關スル件……一〇五
　　魚市場取締規則……一〇六
　　魚市場取締規則取扱手續……一一〇

中部地方

山梨縣　食品市場取締規則……一一一
長野縣　ナシ
岐阜縣　ナシ
靜岡縣　食品卸賣市場規則……一一四
愛知縣　食品市場規則……一二三
　　食品市場規則取扱手續……一二九

三重縣　ナシ

近畿

滋賀縣　市場取締規則……一三二
京都府　市場規則……一三四
　　市場規則取扱手續……一四一
大阪府　市場取締規則……一四三
　　市場取締規則取扱手續……一五〇
兵庫縣　市場取締規則……一五五
　　市場取締規則執行心得……一六三
奈良縣　市場取締規則……一六七
和歌山縣　魚市場取締規則……一七三
　　魚市場取締規則施行手續……一七九

中國及四國

鳥取縣　市場取締規則……一八一
島根縣　魚市場取締規則……一八四
岡山縣　ナシ
廣島縣　魚市場規則……一八八
山口縣　魚市場規則……一九六
德島縣　市場取締規則……二〇一
香川縣　魚市場取締規則……二一一
愛媛縣　魚市場取締規則施行手續……二一七
高知縣　魚市場取締規則……二一九
福岡縣　食品市場規則……二二五
佐賀縣　魚揚場取締規則……二三四

九州

福岡縣　魚市場規則……二四三
佐賀縣　市場取締規則……二五五
長崎縣　市場取締規則取扱手續……二六一
熊本縣　市場取締規則……二六二
大分縣　市場取締規則施行手續……二七一
宮崎縣　海產物賣買取締規則……二七二
鹿兒島縣　青物及乾物類市場取締規則……二八〇
沖繩縣　水產物委託販賣業取締規則……二八五
　市場取締規則……二九三
　市場取締規則取扱手續……二九八
　魚揚場取締規則……三〇〇
　ナシ

中央卸賣市場關係法規……一〇〇
中央卸賣市場法……一七八
中央卸賣市場法……一七三
中央卸賣市場法……一八五
大分縣……一八〇
熊本縣……一九一
長崎縣……一六二

一　中央卸賣市場關係法規

一　中央卸賣市場法

（大正十二年三月三十日公布法律第三十二號）

第一條　本法ニ於テ中央卸賣市場トハ地方公共團體又ハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ民法第三十四條ノ規定ニ依ル法人カ魚類、肉類、鳥類、卵、蔬菜及果實ノ卸賣ヲ爲ス爲メ主務大臣ノ指定スル都市及其ノ隣接地ニ於テ本法ニ依リ開設スル市場ヲ謂フ

中央卸賣市場ニ於テハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ前項ニ掲クル物品ノ一部ノ卸賣ヲ爲サス又ハ其ノ他ノ日用品ノ卸賣ヲ爲スコトヲ得

第二條　中央卸賣市場ヲ開設セムトスルトキハ業務規程及事業計畫ニ關スル書類ヲ具シ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ中央卸賣市場ノ分場ヲ設置セムトスルトキ亦同シ

第三條　左ニ掲クル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

一　中央卸賣市場ノ取扱品目

二　中央卸賣市場ノ收受スル使用料、保管料及手數料

三　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ收受スル手數料

第四條　業務規程又ハ事業計畫ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五條　主務大臣必要アリト認ムルトキハ第二條ノ規定ニ依ル認可ヲ與フルニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第六條　主務大臣ハ第二條ノ規定ニ依ル認可ヲ與フルトキハ其ノ中央卸賣市場ノ業務ノ開始ニ至ル迄ノ間ニ於テ開設者ノ意見ヲ聞キ其ノ中央卸賣市場ノ取扱品目ニ付當該指定區域内ニ於テ中央卸賣市場類似ノ業務ヲ爲ス市場ノ閉鎖ヲ命スルコトヲ得中央卸賣市場ノ取扱品目ヲ追加スルトキ亦同シ

第七條　開設者ハ前條ノ規定ニ依リ閉鎖ヲ命セラレタル市場ノ開設者及卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ損失ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ當事者ノ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムヘシ地方長官ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ起算シ九十日内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八條　主務大臣ハ開設者ニ對シ命令ノ定ムル設備ニ要スル費用ノ三分ノ一以内ノ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第九條　主務大臣ハ開設者カ法令若ハ補助ニ附シタル條件ニ違反シ又ハ之ニ基キテ爲シタル處分ニ從ハサルトキハ之ニ對シ補助金ノ全部又ハ一部ヲ交付セサルコトヲ得

第十條　地方長官ノ許可ヲ受ケタル者ハ中央卸賣市場ニ於テ卸賣ノ業務ヲ爲スコトヲ得

第十一條　前條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ開設者ニ保證金ヲ納付スヘ

シ

第十二條　開設者ハ中央卸賣市場ノ收受スル使用料、保管料及手數料ニ關シ保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

前項ノ優先權ハ第十三條ノ規定ニ依ル優先權ニ優先ス

第十三條　第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ對シ販賣又ハ販賣ノ委託ヲ爲シタル者ハ販賣又ハ販賣ノ委託ニ因リテ生シタル債權ニ關シ其ノ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第十四條　中央卸賣市場ニ於テ爲ス賣買ニ付テハ糶賣ノ方法ニ依ルヘシ但シ業務規程ノ定ムル特別ノ事情アル場合ニ於テハ此ノ限リニ在ラス

第十五條　第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ開設者ニ對シ賣買値段及取引高ヲ報告スヘシ

第十六條　開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ對シ其ノ業務ヲ停止シ若ハ千圓以下ノ過怠金ヲ課シ又ハ賣買ニ參加スル者ノ入場ヲ停止スルコトヲ得

第十七條　主務大臣必要アリト認ムルトキハ中央卸賣市場ノ構造、設備、業務規程ノ變更、業務又ハ財產狀況ノ報告其ノ他ニ關シ事業ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十八條　主務大臣ハ開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、業務規程ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スルノ廣アリト認ムルトキ

ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一　第二條ノ規定ニ依ル認可ノ取消

二　中央卸賣市場ノ業務ノ停止

三　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ業務許可ノ取消又ハ業務ノ停止

四　第一條ノ法人ノ役員ノ解任

第十九條　主務大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ官吏ヲシテ開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ業務及之ニ關スル帳簿、財産其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第二十條　中央卸賣市場ノ廢止ハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條　主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ依ル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第二十二條　第六條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ第十五條ノ規定ニ基ク報告ヲ爲サス若ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條　第六條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者又ハ第十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲スヘキ義務アル者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ前條ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限リニ在ラス

第二十四條　第六條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者又ハ第十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲スヘキ義務アル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者右命令又ハ義務ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十五條　法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者第六條規定ニ依ル報告ヲ爲スヘキ義務ニ違反シタルトキハ第二十二條ノ罰則ハ之ヲ法人ニ適用ス

第二十六條　第一條ノ法人又ハ第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者第十九條ノ規定ニ依ル檢查ヲ受クル場合ニ於テ職務ノ執行ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタル者又ハ檢查ノ際當該官吏ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　第一條ノ法人ノ役員其ノ職務ニ付賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求シ若ハ約束シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價格ヲ追徵ス

第二十八條　前條第一項ノ者ニ賄賂ヲ交付シ、提供シ約束シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其刑ヲ減輕シ又ハ免除スルコトヲ得

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

二　中央卸賣市場法施行期日ノ件

（大正十二年十一月二十九日公布）
（勅令第四百六十八號）

中央卸賣市場法ハ大正十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

三　中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依ル損失ノ補償ニ關スル件

（大正十二年十月二十九日公布）
（勅令第四百六十九號）

第一條　中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依ル損失ノ補償ハ同法第二條ノ規定ニ依ル認可又ハ取扱品目追加ノ認可アリタル際現ニ當該市場ヲ開設スル者又ハ當該市場ニ於テ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ對シ市場ノ業務又ハ卸賣ノ業務ノ廢止ニ因リ市場ノ閉鎖命令アリタル取扱品目ニ關スル業務上通常受クヘキ損失ニ付之ヲ爲ス但シ市場ノ開設者他ノ業務ヲ兼業スル場合又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者仲買其ノ他ノ業務ヲ兼業スル場合ニ於テハ兼業ニ關スル損失ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ認可アリタル際迄引續キ二年以上當該市場ヲ開設シタルニ非サル者又ハ當該市場ニ於テ卸賣ノ業務ヲ爲シタルニ非サル者ニ對シテハ農商務大臣特別ノ事情アリト認メタル場合ニ非サレハ損失ノ補償ヲ爲サス

前二項ノ規定ノ適用ニ付テハ相續、合併、讓渡其ノ他ノ事由ニ因リ業務ヲ承繼シタル者ノ業務ヲ爲シタル期間ハ其ノ前者ノ業務ヲ爲シタル期間ヲ通算シタルモノトス

第二條　前條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ヲ受クヘキ者カ中央卸賣市場法第十條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタルトキ又ハ其ノ許可ヲ受ケタル法人ノ社員、株主若ハ組合員トナリタルトキハ農商務大臣特別ノ事情アリト認メタル場合ニ非サレハ損失ノ補償ヲ爲サス

第三條　前二條ノ規定ニ依ル損失補償ノ請求ハ農商務大臣ノ定ムル期間內ニ之ヲ爲スヘシ

附　則

本令ハ大正十二年十一月一日ヨリ施行ス

四　中央卸賣市場法施行規則

（大正十二年十月二十九日公布）
（農商務省令臨第十號）

第一條　中央卸賣市場ハ一指定區域內ニ於テ一開設者ニ限リ之ヲ開設スルコトヲ得

第二條　中央卸賣市場ヲ開設セムトスル者ハ認可申請書ニ中央卸賣市場法第二條ニ定ムル書類ノ外左ニ揭クル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

一　中央卸賣市場取扱品目ニ付當該指定區域內ニ於ケル集散及消費ノ狀況

二　中央卸賣市場取扱品目ニ付當該指定區域內ニ於テ現ニ卸賣ヲ爲ス市場ノ狀況

三　開設者カ民法第三十四條ノ規定ニ依ル法人ナルトキハ其ノ定款又ハ寄附行爲竝役員ノ氏名及其ノ履歷

四　中央卸賣市場法第一條第一項ニ揭クル物品ノ一部ノ卸賣ヲ爲サス又ハ其ノ他ノ日用品ノ卸賣ヲ爲サムトスルトキハ之ヲ必要トスル特別ノ事情

第三條　事業計畫ニハ左ニ揭クル事項ヲ定ムヘシ

一　自ラ卸賣ノ業務ヲ爲サムトスルトキハ其ノ旨

二　市場ノ位置及用地ノ面積

三　建物及設備ノ種類及構造

四　市場開設ニ要スル費用竝其ノ財源及償却ニ關スル計畫

事業計畫ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル書類、建物及設備ノ配置及坪數ヲ記入シタル圖面竝市場附近ノ見取圖ヲ添附スヘシ

一　市場取扱品目ニ付取扱見込數量

二　市場ノ收支ノ概算

三　工事着手及竣工ノ見込期日

第四條　開設者自ラ卸賣ノ業務ヲ爲ストキハ業務規程ヲ以テ其ノ取扱品目ヲ定ムヘシ

第五條　開設者分場設置ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ其ノ申請書ニ中央卸賣市場法第二條ニ定ムル書類ノ外分場設置ヲ必要トスル事情及第二條第四號ニ揭クル事情ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

第六條　中央卸賣市場ノ業務ヲ開始セムトスルトキハ開設者ハ業務開始ノ一月前迄ニ其ノ期日ヲ農商務大臣ニ屆出ツヘシ

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ期日ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第七條　中央卸賣市場ノ名稱中ニハ中央卸賣市場ナル文字ヲ用ヰルヘシ

中央卸賣市場ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ中央卸賣市場ナル文字又ハ之ニ類似スル文字ヲ用ヰルコトヲ得ス

第八條　農商務大臣ハ左ニ揭クル事項ヲ告示ス告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

一　中央卸賣市場ノ區域ヲ指定シタルトキハ其ノ區域及指定ノ年月日

二　中央卸賣市場ノ開設又ハ分場ノ設置ヲ認可シタルトキハ開設者、市場ノ名稱、位置、取扱品目及認可ノ年月日

三　中央卸賣市場ノ業務ノ開始ノ屆出アリタルトキハ其ノ旨及開始ノ期日

四　中央卸賣市場ノ廢止ヲ認可シタルトキハ其旨及認可ノ年月日

五　中央卸賣市場ノ開設又ハ分場ノ設置ノ認可ヲ取消シタルトキハ其旨及取消ノ年月日

六　中央卸賣市場ノ業務ノ停止ヲ命シタルトキハ停止シタル業務、停止ノ期間及停止ヲ命シタル年月日

七　中央卸賣市場法第六條ノ規定ニ依リ市場ノ閉鎖ヲ命シタルトキハ市場ノ名稱、位置、區域、取扱品目、閉鎖ノ期日及閉鎖ヲ命シタル年月日

第九條　開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人ハ左ニ揭クル事項ニ付農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一　役員ノ選任及解任
二　收支ノ豫算
三　豫算ニ定メタルモノノ外新ニ義務ヲ負ヒ又ハ權利ヲ失フヘキ行爲
四　財産ノ保管方法

前項ノ役員選任認可申請書ニハ履歷書ヲ添附シ收支豫算認可申請書ハ事業年度開始ノ一月前迄ニ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

中央卸賣市場法第二條ノ規定ニ依ル認可アリタルトキハ役員選任ニ付第一項ノ認可アリタルモノト看做ス

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ中央卸賣市場法第十條ノ規定ニ依ル卸賣ノ業務ヲ爲ス者トナルコトヲ得ス

一　一年以上ノ禁錮又ハ懲役ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ刑ノ執行ノ免除ヲ得タル日ヨリ三年ヲ經過セサル者
二　中央卸賣市場法第十八條ノ規定ニ依リ業務許可ノ取消ヲ受ケ取消ノ日ヨリ三年ヲ經過セサル者
三　破產ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者
四　前三號ノ一ニ該當スル者ヲ無限責任社員又ハ取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員トスル法人
五　信用薄弱ナル者
六　中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ヲ受ケタル者但シ特別ノ事情アリト認ムル者ハ

之ヲ除ク
七　社員、株主又ハ組合員中中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ヲ受ケタル者アル法人

但シ特別ノ事情アリト認ムル者ハ之ヲ除ク

前項第六號但書又ハ第七號但書ニ該當スル者ニ對シ地方長官卸賣ノ業務ノ許可ヲ爲サムトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　卸賣ノ業務ノ許可ハ本分場及業務規程ヲ以テ定ムル取扱品目ノ部類毎ニ之ヲ爲スモノトス

第十二條　開設者ハ業務規程ヲ以テ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ員數ヲ制限スルコトヲ得

第十三條　卸賣ノ業務ノ許可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ第六條ノ規定ニ依ル業務開始ノ期日ニ其ノ申請ヲ爲シタルモノニ對シテハ他ノ申請者ニ優先シテ之ヲ爲スモノトス

一　中央卸賣市場ノ開設認可、分場ノ設置認可又ハ取扱品目追加ノ認可アリタル際當該指定區域內ニ於ケル中央卸賣市場類似ノ業務ヲ爲ス市場ニ於テ業務許可ノ申請ヲ爲シタル部類ノ取扱品目ニ付引續キ二年以上卸賣ノ業務ヲ爲シタル者
二　前號ニ該當スル者ヲ以テ主タル組織者トナス法人

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ相續、合併、讓渡其ノ他ノ事由ニ因リ業務ヲ承繼シタル者ノ業務ヲ爲シタル期間ハ其ノ前者ノ業務ヲ爲シタル期間ヲ通算シタルモノトス

第十四條　卸賣ノ業務ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ申請書ニ法人ニ在リテハ定款又ハ之ニ準スヘキモノ、貸借對照表、財產目錄、社員、株主又ハ組合員ノ名簿及無限責任社員又ハ取締役其ノ他業務

ヲ執行スル役員ノ履歴書ヲ、其ノ他ノモノニ在リテ履歴書及資産調書ヲ添附シ開設者ヲ經由シテ之ヲ地方長官ニ提出スヘシ

開設者ハ前項ノ申請書ニ意見書ヲ添附スヘシ

開設者卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ員數ヲ制限シタルトキハ缺員アル場合ニ非サレハ第一項ノ申請書ヲ地方長官ニ提出スルコトヲ得ス

第十五條　地方長官卸賣ノ業務ノ許可ヲ爲シタルトキハ開設者ヲ經由シテ其旨ヲ本人ニ通知スヘシ

第十六條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者第十條第一號若ハ第三號ニ該當スルニ至リタルトキ又ハ前條ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十五日内ニ保證金ヲ納付セス若ハ一月内ニ其ノ業務ヲ開始セサルトキハ業務許可ハ其ノ效力ヲ失フ

卸賣ノ業務ヲ爲ス者第十條第四號乃至第七號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ又ハ正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上其ノ業務ヲ休止シタルトキハ地方長官ハ其ノ業務許可ヲ取消スコトヲ得

第十七條　地方長官ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ付左ニ揭クル事項ヲ告示スヘシ告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

一　業務許可ヲ爲シタルトキハ其ノ氏名又ハ名稱、營業所、取扱品目ノ部類及許可ノ年月日

二　資格ヲ失ヒタルトキハ其ノ事由、氏名又ハ名稱、營業所、取扱品目ノ部類及資格ヲ失ヒタル年月日

三　業務停止アリタルトキハ其ノ事由、停止ノ期間、氏名又ハ名稱、營業所、取扱品目ノ部類及停止ノ年月日

第十八條　中央卸賣市場法第十一條ノ規定ニ依ル保證金ノ額ハ取扱品目ノ部類毎ニ千圓以上二萬圓以下ノ範圍ニ於テ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事由アル者ニ付テハ農商務大臣ハ別段ノ額ヲ指定スルコトアルヘシ

開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人保證金ヲ受取リタルトキハ遲滯ナク之ヲ供託スヘシ

第十九條　保證金ハ開設者ノ定ムル所ニ依リ有價證券ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ有價證券ノ種類又ハ其ノ代用價格ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第二十條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ當該指定區域内ニ於テハ其ノ業務ヲ行フ市場外ニ於テ自己ノ取扱品目ノ部類ニ屬スル物品ノ卸賣ヲ爲スコトヲ得ス

第二十一條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ業務規程ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外自己ノ計算ヲ以テ取扱物品ノ卸賣ヲ爲スコトヲ得ス

第二十二條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ市場内ニ在ル物品ニ非サレハ其ノ卸賣ヲ爲スコトヲ得ス但シ當該指定區域内ニ於テ開設者ノ指定スル場所ニ在ル物品ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ業務規程ヲ以テ定ムル手數料ヲ除クノ外如何ナル名義ヲ以テスルヲ問ハス其ノ業務ニ關シ報償ヲ受クルコトヲ得ス

第二十四條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ業務規程ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外其ノ業務ヲ行フ市場ニ於テ

自己ノ取扱品目ノ部類ニ屬スル物品ノ賣買ニ參加スルコトヲ得ス

第二十五條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ受託契約ニ關スル準則ヲ定メ開設者ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

開設者前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ準則ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

農商務大臣必要ト認ムルトキハ受託契約ニ關スル準則ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第二十六條　中央卸賣市場法第十五條ノ規定ニ依ル報告ハ開設者ノ定ムル所ニ依リ卸賣ヲ爲シタル物品ニ付品目、種類及産地ヲ區別シテ遲滯ナク之ヲ爲スヘシ

第二十七條　開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ賣買ニ參加スル者ヲシテ保證金ヲ納付セシムルコトヲ得

第十八條第二項及第十九條ノ規定ハ前項ノ保證金ニ付之ヲ準用ス

第二十八條　開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ仲買人ヲシテ賣買ニ參加セシムルコトヲ得

仲買人ノ資格、員數、處分其ノ他ニ關スル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十九條　中央卸賣市場ハ毎日一定ノ時ニ於テ市場ヲ開クヘシ

開市及休業ニ關スル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十條　賣買成立ノ値段ハ金額ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

第三十一條　開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ正當ノ事由ナクシテ販賣ノ委託ノ引受又ハ賣買ノ參加ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十二條　開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者又ハ賣買ニ參加スル者ノ市場ニ於ケル賣買ヲ差止ムルコトヲ得

第三十三條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者其ノ資格ヲ失ヒタルトキ、業務ヲ停止セラレタルトキ又ハ前條ノ規定ニ依リ賣買ヲ差止メラレタルトキハ開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ其ノ者ニ對シ販賣ノ委託ヲ爲ス者ヲシテ卸賣ヲ爲サシムヘシ

第三十四條　本則ニ定ムルモノノ外販賣ノ委託ヲ爲シタル者ニ對スル通知、賣買ノ仕切其ノ他卸賣ノ業務ニ關シ必要ナル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十五條　開設者業務規程ノ施行ニ關スル細則ヲ定メタルトキハ之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ細則ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第三十六條　開設者ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ用ヰルヘキ業務ニ關スル帳簿及賣買仕切書ノ樣式ヲ定ムヘシ

卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ前項ノ規定ニ依ル樣式ト異ナル樣式ノ帳簿及賣買仕切書ヲ用ヰルコトヲ得ス

第三十七條　開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ賣買値段及取引高ヲ毎日市場ニ公示スヘシ

第三十八條　開設者ハ左ノ書類ヲ作成シ遲滯ナク之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

一　毎月賣買値段表

二　毎月取引高

三　毎期收支計算書及事業報告書

開設者ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス法人ノ社員、株主又ハ組合員ノ毎期末日現在名簿ヲ作成シ遲滯ナク之ヲ地方長官ニ提出スヘシ

第三十九條　左ノ場合ニ於テハ開設者ハ遲滯ナク其ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

一　中央卸賣市場法第七條第二項ノ規定ニ依ル協議調ヒタルトキ

二　中央卸賣市場法第十六條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキ

三　中央卸賣市場法第十八條第三號ノ處分ヲ爲スヘキ事由アリト認メタルトキ

四　臨時ニ開市シ又ハ休業シタルトキ

五　第三十二條ノ規定ニ依ル賣買ノ差止ヲ爲シタルトキ

六　開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人ノ役員、卸賣ノ業務ヲ爲ス者又ハ其ノ無限責任社員若ハ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員其ノ職務又ハ業務ニ關シ訴訟ノ當事者トナリタルトキ及其ノ判決アリタルトキ

七　開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人ノ役員ニ退任アリタルトキ

八　開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人ノ役員、卸賣ノ業務ヲ爲ス者又ハ其ノ無限責任社員若ハ取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員犯罪ノ嫌疑ノ爲起訴セラレタルトキ

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ外届出ツヘキ事項ヲ指定スルコトアルヘシ

第四十條　左ノ場合ニ於テハ開設者ハ遲滯ナク其ノ事項ヲ地方長官ニ届出ツヘシ第二號ノ場合ニ於テハ其届書ニ履歷書ヲ添附スヘシ

一　卸賣ノ業務ヲ爲ス者其ノ氏名又ハ名稱ヲ變更シタルトキ

二　卸賣ノ業務ヲ爲ス法人ノ無限責任社員又ハ取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員ニ變更アリタルトキ

三　卸賣ノ業務ヲ爲ス者死亡若ハ解散、廢業又ハ第十六條第一項ノ規定ニ依ル業務許可ノ失效ニ因リ其ノ資格ヲ失ヒタルトキ

四　第十六條第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲スヘキ事由アリト認メタルトキ

地方長官ハ必要ト認ムルトキハ前項ノ外届出ツヘキ事項ヲ指定スルコトヲ得

第四十一條　左ノ場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ事項ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

一　中央卸賣市場法第七條第二項ノ規定ニ依ル決定ノ求アリタルトキ及其ノ決定ヲ爲シタルトキ

二　卸賣ノ業務ノ許可ヲ爲シタルトキ

三　中央卸賣市場法第十八條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲スヘキ事由アリト認メタルトキ

四　第十六條第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキ

五　第四十條第一項第一號乃至第三號ノ届出アリタルトキ

第四十二條　開設者ヨリ農商務大臣ニ提出スル書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

地方長官ハ第二條及第五條ノ認可申請書竝第三十九條第一項第三號ノ場合ニ於ケル届書ニ意見書ヲ添附スヘシ

第四十三條　中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依ル損失補償ノ請求ハ市場ノ閉鎖命令アリタル日ヨリ起算シ九十日内ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ期間經過前ニ第十四條ノ規定ニ依ル申請ヲ爲シタル者ニ付テハ其ノ期間經過後ト雖卸賣ノ業務ノ許可又ハ不許可ノ處分アリタル日ヨリ起算シ三十日内ハ之ヲ爲スコトヲ得

附　則

本則ハ大正十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

五　中央卸賣市場補助金交付規則

（大正十二年十月二十九日公布　農商務省令臨第十一號）

第一條　中央卸賣市場法第八條ノ規定ニ依ル補助金ハ左ニ掲クル設備ニ要スル費用ニ對シ之ヲ交付ス

一　冷藏、製氷及貯氷ノ設備
二　生洲ノ設備
三　繫船岸壁、棧橋及附屬上屋
四　鐵道及軌道引込ノ設備
五　起重機、昇降機、コンヴエーヤー、構内軌道及運搬車、貨物自動車竝運搬船
六　前各號ニ掲クルモノノ外之ニ準スヘキ貯藏及運搬ニ關スル特別ノ設備
七　洗滌、排臭其他衞生ニ關スル特別ノ設備

第二條　開設者補助金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ其ノ申請書ニ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

一　設備ノ要領
二　圖面及仕樣
三　費用ノ豫算
四　工事著手及設備完成ノ見込期日

第三條　開設者補助金交付ノ許可ヲ受ケタルトキハ設備ノ工事ニ付農商務大臣ノ指定シタル時期ニ於テ其ノ指定シタル檢査員ノ檢査ヲ受クヘシ

第四條　開設者設備ノ仕樣ヲ變更セムトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

農商務大臣ハ前項ノ認可ヲ爲スニ際シ補助金額ヲ變更スルコトアルヘシ

第五條　設備完成シタルトキハ開設者ハ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ屆出テ費用精算書ヲ具シ補助金ノ交付ヲ請求スヘシ

附　則

本則ハ大正十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

六　中央卸賣市場區域

大正十二年十二月十三日指定（同月十七日附農商務省告示第二百八十四號）

一　東京市中央卸賣市場區域

東京市

荏原郡　品川町、大崎町、目黒町

北豐島郡　板橋町、南千住町、巢鴨町、高田町、日暮里町、三河島町、尾久町、瀧野川町、西巢鴨町、王子町

豐多摩郡　淀橋町、中野町、大久保町、戸塚町、落合町、代々幡町、千駄ヶ谷町、澁谷町

南葛飾郡　小松川町、寺島町、吾嬬町、龜戸町、大島町、砂町、隅田町

南足立郡　千住町

一　京都市中央卸賣市場區域

京都市

紀伊郡　吉祥院村、上鳥羽村、下鳥羽村、深草村、竹田村、伏見町、堀内村

愛宕郡　修學院村、松ヶ崎村、上賀茂村、大宮村、鷹ヶ峰村

葛野郡　花園村、太秦村、海津村、京極村、西院村、桂村

宇治郡　山科村

一　大阪市中央卸賣市場區域

大阪市

東成郡　一圓

西成郡　一圓

一　横濱市中央卸賣市場區域

横濱市

久良岐郡　屏風浦村、大岡川村、日下村

橘樹郡　保土ヶ谷町、城郷村、大綱村、旭村、鶴見町

一　神戸市中央卸賣市場區域

神戸市

武庫郡　西灘村、西郷町、御影町、住吉村、六甲村、魚崎町ノ內住吉川以西

一　名古屋市中央卸賣市場區域

名古屋市

愛知郡　下之一色町

西春日井郡　萩野村、庄內村、西枇杷島町

昭和四年十月八日指定（同月九日附商工省告示第三十九號）

一　高知市中央卸賣市場區域

高知市

土佐郡　朝倉村、鴨田村、初月村、秦村、一宮村、布師田村

長岡郡　大津村、高須村、五臺山村、三里村
吾川郡　浦戸村、御畳瀬村、長濱村

昭和四年十二月二十三日指定（同月二十六日附商工省告示第五十六號）

一　前橋市中央卸賣市場區域
前橋市
勢多郡　南橘村、桂萱村、木瀬村、上川淵村
群馬郡　東村、元惣社村、惣社町

一　岐阜市中央卸賣市場區域
岐阜市
稲葉郡　加納町、厚見村、北長森村、本荘村、島村、長良村、日野村、南長森村、那加村
茜部村、三里村、市橋村、鏡島村、鷺山村、木田村、則武村、常盤村
羽島郡　八劍村、上羽栗村、下羽栗村、

一　長崎市中央卸賣市場區域
長崎市
西彼杵郡　茂木町、土井首村、小ヶ倉村、深堀村、香燒村、小榊村、福田村、式見村、西浦上村、時津村、長與村、矢上村、喜々津村、日見村、大草村、伊木力村
北高來郡　古賀村

一　佐世保市中央卸賣市場區域
佐世保市
東彼杵郡　早岐町
北松浦郡　柚木村、大野村、皆瀬村、中里村、山口村

一　金澤市中央卸賣市場區域
金澤市
石川郡　三馬村、富樫村、崎浦村、米丸村、戸板村、潟津村、鞍月村、金石町、大野町、野々市町、押野村、内川村ノ内字別所、字三小牛、大野村、粟ヶ崎村
河北郡　川北村、小坂村、大場村、八田村、森本村、淺川村ノ内字鈴見、字下田上、字上田上、字角間、字銚子口、字若松

一　堺市中央卸賣市場區域
堺市
泉北郡　五箇莊村、百舌鳥村、蹉尾村、鳳町、神石村、濱寺町、高石町
南河内郡　金岡村

一　静岡市中央卸賣市場區域
静岡市
安倍郡　千代田村、有度村、大谷村、長田村、服織村、賤機村、麻機村、南藁科村、美和

村、久能村
庵原郡　西奈村、高部村

一　濱松市中央卸賣市場區域
濱松市　濱名郡　曳馬村、蒲村、飯田村、芳川村、白脇村、新津村、可美村、入野村、富塚村、和田村、長上村、河輪村、五島村

一　豊橋市中央卸賣市場區域
豊橋市　渥美郡　牟呂吉田村、高師村、二川町
寶飯郡　下地町、前芝村
八名郡　石巻村、下川村

昭和五年四月十一日指定（同月十四日附商工省告示第十一號）

一　新潟市中央卸賣市場區域
新潟市　中蒲原郡　大形村、石山村、龜田町、曾野木村、鳥屋野村、大江山村
西蒲原郡　坂井輪村、黒崎村ノ内大字寺地、大字立佛、大字鳥原、大字金巻
北蒲原郡　松ヶ崎濱村ノ内字下山

一　德島市中央卸賣市場區域
德島市　名東郡　八万村、加茂名町、加茂村

一　岡山市中央卸賣市場區域
岡山市　上道郡　操陽村、平井村、宇野村、三蟠村、財田村、高島村、幡多村、富山村、沖田村、御津郡　牧石村、横井村、平津村、大野村、今村、芳田村、福濱村

一　廣島市中央卸賣市場區域
廣島市　佐伯郡　五日市町、井口村
安佐郡　長束村、山本村、祇園村、原村
安藝郡　戸坂村、中山村、温品村、府中村、船越村、海田市町

一　呉市中央卸賣市場區域
呉市　安藝郡　音戸町、焼山村、大屋村、本庄村
賀茂郡　廣村、郷原村

一　福岡市中央卸賣場區域

福岡市
糟屋郡　箱崎町、志賀島村、和白村、香椎村、多々良村、大川村、仲原村、志免村
筑紫郡　二日市町、席田村、那珂村、大野村、水城村、春日村、安德村、日佐村、三宅村
岩戸村
早良郡　姪濱町、田隈村、壹岐村、殘島村

一　門司市中央卸賣市場區域
門司市
企救郡　松ヶ江村

一　八幡市中央卸賣市場區域
八幡市
遠賀郡　上津役村、折尾町

昭和五年九月十一日指定（同月十三日附商工省告示第五十號）

一　東京市中央卸賣市場追加指定區域
荏原郡　大森町、羽田町、大井町、入新井町、蒲田町、六鄕町、矢口町、東調布町、池上町、馬込町、荏原町、碑衾町、駒澤町、世田ヶ谷町、玉川村、松澤村
豐多摩郡　野方町、和田掘町、杉並町、高井戸町、井荻町

北豐島郡　岩淵町、志村、上練馬村、赤塚村、石神井村、上板橋村、練馬町、長崎町、中新井村、大泉村
南葛飾郡　新宿町、松江町、瑞江村、葛西村、鹿本村、本田村、龜青村、南綾瀨町、篠崎村
小岩町、金町、水元村、奥戸村
南足立郡　西新井町、江北村、舍人村、淵江村、梅島町、綾瀨村、東淵江村、花畑村、伊興村
北多摩郡　砧村、千歲村

昭和五年十二月二十四日指定（同月二十六日附商工省告示第六十一號）

一　札幌市中央卸賣市場區域
札幌市
札幌郡　豐平町、白石村、札幌村、琴似村、藻岩村

一　小樽市中央卸賣市場區域
小樽市
高島郡　高島町
余市郡　余市町、赤井川村、大江村
忍路郡　鹽谷村
小樽郡　朝里村

一　函館市中央卸賣市場區域
　函館市
　上磯郡　上磯町
　龜田郡　湯ノ川村、龜田村、錢龜澤村、七飯村、大野村
一　宇都宮市中央卸賣市場區域
　宇都宮市
　河内郡　平石村、横川村、雀宮村、姿川村、城山村、豐郷村、瑞穗野村、古里村、國本村
一　熊本市中央卸賣市場區域
　熊本市
　飽託郡　一圓
　菊池郡　西合志村
　玉名郡　小天村
　下益城郡　杉合村
一　鹿兒島市中央卸賣市場區域
　鹿兒島市
　鹿兒島郡　中郡宇村、西武田村、谷山町、伊敷村、西櫻島村、東櫻島村、吉野村

昭和六年一月二十七日指定（同月二十八日附商工省告示第四號）

一　仙臺市中央卸賣市場區域
　仙臺市
　宮城郡　七北田村ノ内大字荒巻、大字北根
一　松山市中央卸賣市場區域
　松山市
　温泉郡　一郎後湯ノ町、三津濱町、新濱村、桑原、味生村

七　京都府令中央卸賣市場法施行細則

（昭和二年十月十四日京都府令第百四十二號）

第一條　中央卸賣市場法施行規則第十四條ノ規定ニ依ル卸賣ノ業務ノ許可申請書ニハ其取扱品目ノ部類營業所及申請書ヵ中央卸賣市場法施行規則第十三條ノ規定ニ依リ他ノ申請書ニ優先シテ許可ヲ受クヘキ者ナルトキハ其事由ヲ記載スヘシ中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ヲ受ケタル者卸賣ノ業務ノ許可申請ヲ爲ストキハ申請書ニ前項ニ規定スル事項ノ外特ニ卸賣ノ業務ノ許可ヲ受ケムトスル特別ノ事情ヲ詳具スヘシ

第二條　中央卸賣市場法施行規則第十四條ニ規定スル許可申請者又ハ役員ノ履歴書ニハ本籍、住所、職業、氏名、生年月日、業務上ノ閲歴及賞罰事項ヲ記載スヘシ

第三條　開設者ヵ中央卸賣市場法施行規則第十四條第二項ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ノ許可申請書ニ添

付スヘキ意見書ニハ許可ノ適否及其ノ理由ノ外申請者カ中央卸賣市場法施行規則第十三條ノ規定ニ依リ他ノ申請者ニ優先シテ許可ヲ受クヘキ者ナルトキハ其事由及中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ヲ受ケタル者ナルトキハ其特別事情ノ正否ニ關スル意見ヲ記載シ當申請者ノ中央卸賣市場法施行規則第十條第一項ニ對スル調書ヲ添付スヘシ

第四條　中央卸賣市場法及同施行規則ニ依リ商工大臣ニ提出スル書類ハ總テ其ノ副本ヲ同時ニ知事ニ提出スヘシ

第五條　卸賣業務ノ許可申請書及資產調書ハ附屬樣式ニ據ルヘシ

（申請書樣式）

中央卸賣市場ニ於ケル卸賣業務許可申請書

一　營業所

一　取扱品目ノ部類

一　中央卸賣市場法施行規則第十三條ニ依リ他ノ申請者ニ優先シテ許可ヲ受クヘキ者ナルトキハ其ノ事由

一　中央卸賣市場法第七條ニ依リ損失ノ補償ヲ受ケタルモノナルトキハ許可ヲ受ケムトスル特別ノ事情

右御許可相成度別紙履歷書資產書相添ヘ此段申請候也

住　所

氏　名　印

年　月　日　（法人ニ在リテハ主タル事務所ノ所在地代表者氏名）

知事　宛

（注意）法人ニ在リテハ當中央卸賣市場法施行規則第十四條ニ規定スル書類添付ヲ要ス

資　產　調　書

一　不動產

土　地　種目反別（坪數）

見積價格

建物（棟數、見積價格）

一　動　產

有價證券（額面、見積價格）

金　員

其他動產（見積價格）

一　負　債

右ノ通ニ候也

年　月　日

氏　名　印

二一 道府縣食品市場規則

北海道 市場規則

（大正十二年八月二十五日廳令第百二十六號）
（昭和三年十一月一日改正廳令第八十號）

第一條　本則ニ於テ市場トハ競賣ノ方法ニ依リ魚類、肉類、鳥類、卵、蔬菜及果實類ノ取引ヲ爲ス爲メノ開設スル市場ヲ謂フ

第二條　市場ヲ開設セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ北海道長官（以下單ニ長官ト稱ス）ノ許可ヲ受クヘシ第三號乃至第九號ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一　開設ヲ要スル理由
二　開設者ノ住所、氏名、生年月日、法人ニ在リテハ其ノ定款及代表者氏名
三　市場ノ名稱
四　市場位置、面積及附近一町以內ノ狀況及停車場又ハ船着場トノ距離ヲ示シタル見取圖
五　市場ノ構造設備ニ關スル仕樣書竝設計圖
六　組織及資本額
七　取引ノ品目
八　開市日時
九　業務規程
十　事業計畫書

第三條　市場ノ位置、構造及設置ハ概ネ左ノ標準ニ據ルヘシ

一　位置ハ社寺、學校、病院、公園等ニ接近セス且取引ニ付利便ナル地點タルコト
二　建物ハ採光換氣ニ適シ且場內ノ秩序整理ニ必要ナル設備ヲ有スルモノタルコト
三　場內土間汚水溝渠及汚水溜ニハ不滲透質ノ材料ヲ以テ築造シ且溝渠及汚水溜ニハ覆蓋ヲ施スコト
四　場內ニ洗滌用水ノ設備ヲ有スルコト
五　倉庫ヲ附設シ冷藏又ハ氷藏ノ設備ヲ有スルコト

前項ノ外長官必要アリト認ムルトキハ特ニ施設ヲ命スルコトアルヘシ

第四條　市場ハ十年以內ノ期間ヲ以テ之ヲ許可ス期間滿了後更ニ之ヲ繼續セムトスル者ハ六十日前ニ出願シ許可ヲ受クヘシ

第五條　同種ノ市場ハ一市街地一箇所トス但シ市ニ於テ特ニ必要アリト認ムル場合ハ二箇所マテ許可スルコトアルヘシ

市町村農會、水產會、漁業組合、產業組合、其ノ他之ニ準スヘキモノニ於テ市場ノ開設ヲ出願シタルトキハ前項ニ不拘許可スルコトアルヘシ

第六條　長官必要アリト認ムルトキハ市場ニ關スル許可ヲ與フルニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ付スコトアルヘシ

第七條　公共團體ニ於テ市場ヲ開設スルトキハ其申請ニヨリ長官ハ必要ト認ムル地區内ニ於ケル既設市場ノ閉鎖ヲ命スルコトアルヘシ

前項ノ申請ヲナシタル公共團體ニ對シ閉鎖ニ因リ受クヘキ損失ヲ補償スヘシ但シ其補償額ハ協議ニ依リテ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ長官ノ選任シタル委員ノ評決ニ付シ之ヲ定ム

前項ノ委員ノ數及評決ノ方法其ノ他必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第八條　市場ハ公共團體ノ廢置分合又ハ相續讓渡若ハ法人ノ合併ニ依リ之ヲ繼承スルコトヲ得但シ讓渡又ハ法人ノ合併ニ依ル繼承ノ場合ニ於テハ連署ヲ以テ出願シ長官ノ許可ヲ受クヘシ

第九條　市場ノ構造、設備竣工シタルトキハ長官ニ届出テ檢査ヲ受クヘシ

第十條　市場ノ開設、閉鎖、繼承又ハ業務停止ハ之ヲ告示ス

第十一條　市場ノ名稱中ニハ市場ナル文字ヲ用フヘシ

前項ノ名稱ハ標柱又ハ標札ニ明記シ適當ノ場所ニ之ヲ公示スヘシ

第十二條　開設者ハ他人ヲシテ市場ノ業務ヲ爲サシムルヿヲ得ス但シ特別ノ事由ニ依リ長官ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

第十三條　市場ノ賣買取引ニハ符牒又ハ暗號ヲ用フルコトヲ得ス

第十四條　市場開設者ハ正當ノ理由ナクシテ其取引ニ係ル物品ノ販賣ヲ委託スル者又ハ市場仲買人其他市場ノ取引ニ參加セムトスル者ヲ拒否スルコトヲ得ス

第十五條　市場ヨリ生スル利益金處分方法ハ長官ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條　市場仲買人タラムトスル者ハ其ノ屬セムトスル市場ヲ經由シテ長官ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ市場仲買人トハ販賣ノ目的ヲ以テ市場ヨリ物品ノ買入ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第十六條ノ二　市場仲買人ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スル事實生シタルトキハ市場開設者ハ遲滯ナク之ヲ長官ニ届出ツヘシ

一　住所氏名ヲ變更シタルトキ

二　市場取引ヲ廢止シタルトキ

三　死亡シタルトキ

第十七條　市場仲買人ニシテ不都合ノ所爲アリト認ムルトキハ其許可ヲ取消スコトアルヘシ

開設者ハ前項ニ該當スル市場仲買人アルトキハ其ノ事由ヲ具シ許可ノ取消ヲ長官ニ申立ツルコトヲ得

第十八條　開設者ハ業務上左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一　名義ノ何タルヲ問ハス委託者ヨリ手數料以外ノ給付ヲ受ケサルコト

二　腐敗其ノ他衞生上危險ノ虞アルモノヲ取引セサルコト

三　市場内ノ秩序ヲ保持スルコト

四　市場内外ノ清潔ヲ保持スルコト

五　委託品處分ノ結果ハ翌日迄ニ之ヲ委託者ニ通報スルコト

六　業務規程ハ市場ニ之ヲ常置シ之カ重ナル事項ハ公衆ノ見易キ場所ニ掲示スルコト

第十九條　開設者ハ其ノ日ノ賣買取引ニ係ル主要品目ノ出來値相場ヲ卽日公表スヘシ

前項ノ公表相場ハ每一箇月分ヲ翌月七日迄ニ長官ニ報告スヘシ

第二十條　左ノ各號ノ事項ハ事實發生後七日以內ニ長官ニ屆出ツヘシ但シ第二號ノ屆出ハ戶籍法ニ依ル屆出義務者之ヲ爲スヘシ

一　業務ノ開始

二　開設者ノ死亡

三　公共團體ノ廢置分合又ハ相續ニ因ル市場ノ繼承

四　市場ノ閉鎖

五　第二條第二號ノ變更

六　市場建物ノ崩壞又ハ燒失シタルトキ

定休日以外ニ於テ業務ヲ休止セムトスルトキハ豫メ關係者ニ告知シ其ノ旨遲滯ナク長官ニ屆出ツヘシ

第二十一條　開設者ハ每年一回二月ニ於テ其ノ前一年間ニ於ケル業務ノ概況ヲ長官ニ報告スヘシ但シ別ニ決算期ノ定メアルモノハ其ノ期ノ翌月ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二十二條　市場ニハ一定ノ帳簿ヲ備ヘ賣買取引ニ關スル事項ヲ其ノ都度之ニ記載スヘシ

第二十三條　長官必要アリト認ムルトキハ當該官吏吏員ヲシテ市場ノ業務及之ニ關スル帳簿、財產其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトアルヘシ

第二十四條　本則ニ基ク願屆書ハ所轄町村役場及支廳又ハ市役所ヲ經由スヘシ

第二十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市場ノ許可ハ當然其ノ效力ヲ失フモノトス但シ特別ノ事由ニヨリ豫メ長官ノ認可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　第二條ニ依リ許可ヲ受ケタル日ヨリ六月以內ニ業務ヲ開始セサルモノ

二　休業三月以上ニ亘リタルモノ

三月以上全ク賣買取引ナキモノ又ハ其ノ額寡少ニ止マルモノハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第二十六條　長官必要アリト認ムルトキハ市場ノ位置、設備、業務規程ノ變更又ハ財產狀況ノ報告其ノ他ニ關シ必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　長官ハ開設者本則若ハ本則ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違背シタルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

一　第二條ノ規程ニ依ル許可ノ取消

二　市場ノ業務ノ停止

三　第十二條但書ニ依ル認可ノ取消

第二十八條　開設者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ科料ニ處ス

一　第十二條但書ノ認可ヲ受ケス他人ヲシテ業務ヲ爲サシメタルトキ

二　許可ヲ受ケスシテ第二條第三號乃至第九號ノ事項ヲ變更シタルトキ

三　業務規程ニ違背シタルトキ
四　第九條、第十一條第二項第十三條乃至第十五條、第十八條ニ違背シタルトキ
五　第十六條ノ二、第十九條乃至第二十二條ノ公表、届出、報告ヲ懈怠シ又ハ虚偽ノ報告若ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタルトキ
六　第二十三條ノ臨檢ヲ忌避シ又ハ其ノ執行ヲ妨ケタルトキ
七　第二十六條ノ命令又ハ處分ニ服セサルトキ
八　第十六條ノ許可ヲ受ケサル仲買人ヲシテ市場ノ取引ニ參加セシメタルトキ

第二十九條　許可ヲ受ケシテ本則第一條ニ該當スル市場ヲ開設シタル者、停止中業務ヲ爲シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金拘留又ハ科料ニ處ス

第三十條　本則ニ依リ適用スヘキ罰則ハ開設者ニシテ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス

開設者ハ其ノ代理人、戸主、家族同居人又ハ雇人其ノ他ノ從業者ノ行爲ニシテ市場ノ業務ニ關シ本則ニ違背シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第三十一條　法人ノ事業ニ關シ其ノ代表者又ハ雇人其ノ他ノ從業者本則ニ違背シタルトキハ本則ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス

第三十二條　法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ被告人トス

第三十三條　故ナク市場ノ取引ヲ妨害シ若クハ市場ノ秩序ヲ紊ルノ行爲アル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第三十四條　第二條、第四條、第六條、第九條、第十八條第二號乃至第四號、第二十條第一項第一號、第二號、第四號及第五號、第二十一條、第二十三條乃至第二十六條、第二十七條第一號及第二號、第二十八條第二號及第七號乃至第三十二條ノ規定ハ市場ノ外每日又ハ定期ニ多衆集合シテ第一條ニ該當スル品目ノ卸賣買ヲ爲ス場所ニ之ヲ準用ス

附　則

第三十五條　本則ハ大正十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年八月北海道廳令第七十號市場取締規則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十六條　從來同一經營者同種ノ市場二箇所ヲ開設シタル市ニ在リテハ必要ト認ムルトキハ第五條但書ノ規定ニ拘ラス尙一箇所許可スルコトアルヘシ

北海道　市場規則取扱手續

（大正十二年十月二十三日北海道臨訓令第七十五號）

第一條　本手續ニ於テ規則トハ市場規則ヲ謂フ

第二條　支廳長、市長、市場ニ關スル願届書ヲ受理シタルトキハ副申ヲ要スルモノハ十四日以内其ノ他ノモノハ三日以内ニ本廳ニ進達スヘシ但シ事ノ簡單ナルモノ若ハ急施ヲ要スルモノハ速ニ進達スヘシ

第三條　左ニ掲クル事項ノ願届書ハ支廳長、市長之ヲ調査シ意見ヲ副申スヘシ

一　規則第二條ノ市場開設又ハ許可事項ノ變更

二　規則第四條ノ市場ノ繼續

三　規則第七條ノ既設市場閉鎖ノ申請

四　規則第八條ノ市場ノ繼承

五　規則第十二條但書ノ申請

六　規則第二十條第二項ノ休業

第四條　規則第二條ノ市場開設ノ願書ニ對スル副申ニハ左ノ事項ヲ記載シタル調書ヲ添付スヘシ

一　開設地及其ノ接續地區内ニ在ル市街地名及其ノ連擔戸數、人口

二　市場ニ於テ取引セムトスル品目ノ其ノ地方ニ於ケル需給ノ狀況竝從來ノ取引方法又ハ慣習

三　市場一年間ノ取扱見込高但シ品目ハ規則第一條ノ種類ニ區分シ數量價格ヲ示スヘシ

四　市場ノ位置、敷地、面積、構造及設備ハ衞生、風致、交通等ニ考察シ支障ナキヤ否又物品ノ運送保管其ノ他荷捌上適當ナリヤ否

五　市場ノ組織竝其ノ資本額（拂込額、固定資本額、運轉資本額ニ區分スヘシ）ハ經營上適當ナリヤ否

六　徴收セムトスル手數料、歩戻ヲ爲スモノニアリテハ其ノ率及方法カ適當ナリヤ否

七　取引ニ參加スヘキ者ノ種類、常時集合ノ見込人員

八　工事着手及竣工期日

九　業務規程不備若ハ不適當ト認ムル事項

十　開設者（公共團體、漁業組合、産業組合等ヲ除ク）又ハ其ノ代表者ノ身分、職業、經歴、素行、資産、信用、前科

十一　開設者カ公共團體、漁業組合、産業組合等ナルトキハ市場開設ニ關スル決議及其ノ會議錄寫

十二　既設市場ノ所在地ニ係ルトキハ之ニ及ホス影響

十三　市場開設ニ對シ地方ノ重ナル荷主及需要者ノ意嚮

十四　其ノ他參考トナルヘキ事項

市場ニ供用スヘキ敷地又ハ建物カ開設者ノ所有ニ屬セサルモノナルトキハ其ノ所有者トノ契約寫ヲ徴シ前項ノ副申ニ添付スヘシ

第五條　左ニ掲クル事項ハ業務規程ヲ以テ定ムヘシ

一　市場開閉ノ時間

二　取引品目

三　手數料、歩戻

四　販賣方法

五　代金受渡方法

六　委託品ノ管理及處分方法

七　違約者處分方法
八　仲買人其ノ他ヨリ保證金ヲ徵スルモノニ在リテハ其ノ金額竝其ノ管理處分ノ方法
九　其ノ他必要ナル事項

第六條　規則第七條ノ申請ヲ受理シタルトキハ其ノ申請ノ適否閉鎖ヲ命スヘキ市場補償額等ニ付調査スヘシ

第七條　規則第八條ニ依ル市場繼承ノ願書ニハ規則第二條第二號及第六號ノ事項ヲ記載セシメ且ツ左ノ事項ニ付調査スヘシ

一　繼承ノ事由
二　第四條第四號及第十號
三　開設者カ荷主又ハ市場仲買人等ニ對シ取引上有スル貸借額竝其ノ內譯
四　繼承ニ關スル當事者間ノ契約又ハ條件

第八條　規則第九條ニ依ル工事ノ檢查ハ特ニ指定スルモノヽ外支廳長、市長、所轄警察官署長ト協議シテ之ヲ爲スヘシ

前項ノ檢查ハ規則第三條及仕樣書竝設計圖ニ依リ之ヲ爲スヘシ前項ノ檢查ノ結果支障ナシト認ムルトキハ工事檢查濟證票ヲ交付スヘシ不都合ノ點アルトキハ直ニ訂正ヲ命スヘシ

第九條　規則第十五條ノ認可申請ニハ其ノ期ノ收支關係ヲ明瞭ナラシムヘキ計算書ヲ添付セシムヘシ

第十條　規則第十六條ノ願書ヲ受理シタルトキハ左ノ事項ヲ調查シ不都合ナシト認ムル者ニ對シ之ヲ許可スヘシ

一　經歷、素行
二　資產、信用
三　曾テ市場仲買人タリシ者ニ付テハ前所屬市場ニ於ケル成績

第十一條　第四條第一項第四號前段ノ事項ニ付テハ支廳長、市長ハ所轄警察官署長ノ意見ヲ永メ之ヲ處理スヘシ

第十二條　規則第十九條第一項ニ依ル主要品目ノ出來値相場ハ最高、最低及其ノ平均ヲ公表セシムヘシ

規則第二十一條ニ依ル業務ノ概況報告ニハ左ノ事項ヲ記載セシムヘシ

一　需給ノ一般狀況
二　取引高及前期トノ增減比較
三　手數料ノ收入額及歩戻額
四　市場仲買人其ノ他取引ニ參加スル者ノ前期末ニ對スル增減

前項ノ報告書ニハ其ノ期ノ貸借對照表、損益計算書、財產目錄、入荷ノ月別狀況、集散ノ方面別狀況及月別平均相場表ヲ添付セシムヘシ

第十三條　規則第二十二條ニ依リ市場ニ備ヘシムヘキ帳簿ノ種類左ノ如シ

一　總勘定元帳
二　日記帳
三　現金出納帳
四　荷受帳
五　賣掛庭帳
六　荷主口座帳
七　仲買人口座帳
八　相場控帳
九　市場仲買人名簿

第十四條　本廳ニハ市場臺帳、支廳、市役所ニハ市場臺帳、市場仲買人臺帳ヲ備ヘ異動アル毎ニ之ヲ整理スヘシ

第十五條　市場又ハ其ノ附近公衆ノ賭易キ箇所ニ掲示場ヲ設ケシメ規則第十九條第一項ノ出來値相場及業務規程中須要ナル事項等ヲ之ニ掲示セシムヘシ

第十六條　市場ヲ檢査セムトスルトキハ市場檢査吏員章ヲ携帶スヘシ

第十七條　支廳長、警察官署長ハ隨時其ノ所轄内ニ於ケル市場ニ付規則違背ノ事實ナキヤ否ヲ査察シ取締上必要ナル處置ヲ執リ事ノ重要ナルモノニ付テハ速ニ其顚末ヲ本廳ニ報告スヘシ

第十八條　支廳長、市長、警察官署長ハ規則第二十五條乃至第二十七條ニ該當スル事實ヲ認知シ之ニ

依ル命令又ハ處分ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ其ノ事實ヲ詳具シ速ニ本廳ニ報告スヘシ

第十九條　本手續ニ依ル帳簿其ノ他ノ樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第二十條　第五條、第十三條及第十九條ノ事項ハ開設者公共團體、漁業組合、産業組合其ノ他之ニ準スヘキモノニシテ別段ノ形式ニ依リ定ムルノ必要アル場合ニ於テハ認可ヲ受ケシムヘシ

附　則

第二十一條　第十三條ニ依リ市場ニ備ヘシムヘキ帳簿ハ規則施行後次ノ決算ノ開始迄從前ノモノヲ襲用セシムルコトヲ妨ケス

北海道　市場規則施行ニ關スル件通牒

（大正十二年十月二十二日　産商第二四四〇號　産業部長通牒　各支廳長各市長宛）

八月二十五日廳令第百二十六號ヲ以テ市場規則ヲ十月二十三日訓令第七十五號ヲ以テ市場規則取扱手續制定發布相成候ニ付テハ本件改正ノ要綱別記御了承ノ上御處理相成度

追テ十月二十日廳令第百五十三號及第百五十四號ヲ以テ市場仲買人ノ許可及取消處分ノ儀貴廳ニ委任相成候條御了知相成度爲念申添候也

記

一　規則第三十六條ニ依リ存續ノ效力ヲ認メラルル可キ市場ハ舊取締規則又ハ漁業組合令産業組合法

等法令ノ規定ニ依リ官廳ノ認可ヲ受ケ經營スル市場或ハ共同販賣所ニシテ之等市場ハ本年十一月一日ヨリ三月以内ニ更ニ業務規程ノ許可ヲ出願スルヲ要スルヲ以テ該當者ニ對シ注意ヲ爲スコト、業務規程ニ付テハ大體ノ要領ヲ示ス可キ見込ナリ

二　規則第三十四條ニ該當スル場所ヲ開設スル者ハ十一月一日ヨリ三月以内ニ第三十八條第二項ノ届出ヲ爲ササレハ將來ニ其ノ存續ノ效力ヲ失フノ結果トナルヲ以テ此際該當者ヲ調査シ夫々注意ヲ爲スコト

三　規則第三十六條ニ該當スル市場ニシテ其名稱中ニ市場ナル文字ヲ用ヒ居ラサルモノニ對シテハ此際速ニ其名稱變更ノ手續ヲ爲サシムルコト

四　規則第三十七條ニ依リ市場仲買人ト看做サルヽ者ハ此際之ヲ調査確定シ速ニ其ノ臺帳ヲ作製スルコト

五　市場ニ關スル帳簿及未決ノ書類ニシテ舊規則ニ依リ警察官署ニ存置セラレアルモノハ此際速ニ之カ引繼ノ授受ヲ了スルコト

六　支廳又ハ市役所ニ備フヘキ臺帳用紙ハ本廳ニテ印刷シ送付スヘキニ依リ其ノ所要枚數ヲ速ニ申出ラルコト

青森縣　市場取締規則

（明治三十三年四月二十四日縣令第三二號）

第一條　魚貝及野菜類ノ市場ヲ開設セントスルトキハ規約書ヲ添ヘ左ノ事項ヲ具シ管理者ヨリ所轄警察官署ヲ經由シテ縣廳ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

一　設立ノ事由
二　位置區域及其略圖
三　商品ノ種類
四　建物ヲ要スルモノハ其構造及圖面

第二條　土地ノ狀況ニヨリ必要ト認ムルトキハ市場設置ノ地域ヲ指定スルコトアルヘシ

第三條　管理者ハ市場一ケ所一人ニ限ル

第四條　管理者ハ其住所氏名ニ異動ヲ生シタルトキハ三日以内ニ所轄警察官署ヲ經由シテ其旨縣廳ニ届出ツヘシ規約ヲ變更セントスルトキハ前項ノ手續ニヨリ届出テ認可ヲ受クヘシ

第五條　市場開設ノ許可ヲ受ケタル後二箇月以内ニ正當ノ事由ナクシテ開場セサルモノハ許可ノ效力ヲ失フモノトス

第六條　廢場シタルトキハ五日以内ニ所轄警察官署ヲ經由シテ縣廳ニ休場シタルトキハ三日以内ニ所

轄警察官署ニ届出ツヘシ

第七條　市場設置ノ許可ヲ受ケタルトキハ其場所ノ區域ニ別紙雛形ノ標本ヲ建設スヘシ

第八條　魚腸其ノ他ノ汚穢物ハ相當ノ容器ニ入レ臭氣ヲ散セサル樣注意スヘシ

第九條　左ノ事項ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

一　市場ノ名稱及其事務所

二　管理者ノ選定及其方法

三　商品ノ種類

四　組合人ノ入退ニ關スルコト

五　組合ノ費用ニ關スルコト

六　規約違犯者處分ニ關スルコト

七　其他組合ニ必要ノ事項

第十條　市場管理者ハ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

一　市場内ヲ不潔又ハ毀壞セシメサルコト

二　荷籠荷車又ハ牛馬ヲ放置シテ通行ヲ妨ケシメサルコト

三　汚物塵芥類ヲ散布シ又ハ溜堆セシメサルコト

四　腐敗不熟其他健康ヲ害スル虞アル物品ヲ販賣セシメサルコト

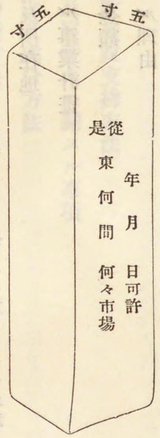
五　閉場後二時間以内ニ警察官吏ノ指揮ニ從ヒ場内ヲ清潔ニ掃除スルコト

第十一條　所轄警察官署ニ於テ必要ト認ムルトキハ管理者ノ改選ヲ命シ若クハ市場許可ノ失效ヲ命スルコトアルヘシ

第十二條　本則第一條、第四條、第六條ヲ犯シタルモノ及第八條、第十條ノ命ヲ受ケ尙之ヲ爲ササルモノハ十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料又ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

一　本則施行ノ區域ハ青森市、弘前市、八戸町、小中野村、黒石町、五所川原町トス但縁日、祭日、盆市、歲市、馬市其他一時限ノモノニ適用セス

二　從來ノ市場ハ三箇月以内ニ本則ニ據リ願出許可ヲ受クヘシ



宮城縣　食品市場規則

（昭和三年六月二十二日宮城縣令第三十二號）

第一條　本令ニ於テ食品市場トハ食用ニ供スル生魚、貝類、鹽干魚類、肉類、鳥及卵類、生野菜及生

果實類ノ買賣取引ヲ爲ス市場ヲ謂フ

鮮魚又ハ鹽干魚類ニ付賣買ノ取次、仲立買付及之等類似ノ營業ヲ爲スモノハ魚市場ト看做シ本令ヲ準用ス

第二條　市場ヲ開設セムトスルモノハ左ノ事項ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

一　開設者ノ住所、氏名、生年月日、法人ニ在リテハ名稱、所在地及代表者ノ住所氏名

二　市場ノ名稱及所在地

三　開設ニ關スル事業計畫

四　組織竝資本金額

五　開設ヲ要スル理由

前項ノ申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

一　定款又ハ規約及業務規程

二　市場ノ收支豫算竝損益計算書

三　市場附近ノ狀況及見取圖

四　市場及附屬建物ノ建坪數用地面積

五　建物及設備ニ付テハ其ノ平面圖、斷面圖及工事仕樣書

六　場內用水ノ種別、給水方法及水質檢査成績書

七　敷地又ハ建物カ開設者ノ所有ニ屬セサル場合ニ於テハ所有者ノ承諾書

八　取扱品目竝取扱見込數量

九　起工及竣工豫定年月日

第三條　左ノ事項ハ業務規程中ニ之ヲ定ムヘシ但シ市場ノ種類ニ依リ該當ノ事項ナキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　市場開閉ノ時刻

二　定休日ニ關スル事項

三　取引品目

四　使用料、保管料、手數料及歩戻金

五　取引方法

六　取引代金ノ收受竝支拂方法

七　委託販賣人及買受人ニ關スル事項

八　委託品ノ管理及處分方法

九　市場整理竝清潔方法

十　其ノ他開設者ニ於テ必要ト認ムル事項

第四條　市場ノ開設許可期間ハ十箇年以內トス

期間滿了後仍繼續セムトスルトキハ滿了前開設期間更新ノ許可ヲ受クヘシ

第五條　卸賣市場ノ開設ハ同一市町村內ニ於テ同一種類ニ付各一開設者ニ限リ之ヲ許可ス但シ公共團

體漁業組合水產會又ハ產業組合ニ於テ開設セムトスルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六條　市町村ニ於テ卸賣市場ヲ開設スル必要アル場合ニ於テ既設市場ノ廢止ニ因ル損失ヲ當該市町村ニ於テ補償スルトキハ第四條ノ期間ニ拘ラス知事ハ同一市町村內ノ既設卸賣市場ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

前項ノ補償額ハ相互ノ協議ニ依ル協議整ハサルトキハ知事之ヲ定ム

第七條　本令ニ依ル市場ハ其ノ名稱中ニ市場ナル文字ヲ用ウヘシ但シ他ノ法令ニ依リ開設スル市場ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　市場ノ構造ハ左ノ各號ニ據ルヘシ

一　土間、汚水溝渠及汚水溜等ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ之ヲ築造シ且溝渠及汚水溜等ニハ覆蓋ヲ施スコト

二　場內ニ洗滌場所及洗滌用水ノ設備ヲ爲スコト

三　日光ノ直射ヲ避クルニ足ル設備ヲ爲スコト

四　蠅族ノ附着シ易キ食品ヲ藏置スル場所ニハ防蠅設備ヲ施設ヲ命スルコトアルヘシ

前項ノ外知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ特ニ施設ヲ命スルコトアルヘシ

第九條　開設者ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一　開設者ハ常ニ市場內ノ清潔ヲ保持シ汚穢ノ物品ハ速ニ市場外ニ搬出スルコト

二　傳染病媒介ノ虞アル食品ハ其ノ虞ナキ方法ヲ施シタルモノニ非サレハ市場ニ於テ販賣スルヲ得

三　市場ニ於テ爲ス賣買ハ現品ニ付之ヲ爲シ且卸賣市場ニ於テハ糶賣ノ方法ニ依ルヘシ但シ業務規程ニ定ムル特別ノ場合ハ此ノ限ニ非ラス

四　開設者ノ受クヘキ手數料ハ賣上高ノ一割以內歩戻高ハ買受高ノ三歩以內トス

第十條　開設者ハ市場內見易キ場所ニ左ノ事項ヲ揭示スヘシ

一　市場ノ名稱

二　市場開閉ノ時刻

三　取扱物品ノ種類

四　料金其ノ他業務規程ニ揭ケタル主ナル事項

五　開設者ノ名稱

六　日日ノ取扱品目ノ單價

第十一條　開設者ハ其ノ事業ニ關シ業務規程ニ定ムルモノノ外何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス料金若ハ物品ヲ收受シ又ハ之ヲ要求スルコトヲ得ス

第十二條　開設者ハ左記帳簿ヲ備ヘ賣買取引ニ關スル事項ヲ其ノ都度明確ニ記錄シ苟モ符牒若ハ暗號ヲ用ウルコトヲ得ス

一　總勘定元帳

二　日記帳

三　荷受帳
四　現金出納簿
五　賣捌庭帳（糶帳）
六　荷主元帳
七　仲買人元帳
八　仲買人名簿
九　相場控帳

前項帳簿ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條　開設者ハ決算期毎ニ其ノ期ノ翌月末日限リ左記事項ヲ知事ニ報告スヘシ但シ決算期ノ定メナキモノハ毎年一回二月末日迄ニ報告スヘシ

一　業務ノ概況
二　賣上數量價格
三　收入額及歩戻金額
四　財産目錄、貸借對照表、損益計算書及積立金竝利益金處分ニ關スル調書

第十四條　開設者ハ當該官吏ノ臨檢又ハ書類帳簿ノ檢閲ヲ拒ムコトヲ得ス

第十五條　知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ開設者ヲシテ其ノ事業ニ關シ報告ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十六條　知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第二條及第四條第二項ノ許可ヲ與フルニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトアルヘシ

第十七條　市場ノ設備竣成シタルトキハ其ノ旨届出テ檢査ヲ受クルニ非サレハ業務ヲ開始スルコトヲ得ス、市場ノ構造ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十八條　市場開設ノ許可ヲ受ケタルモノ正當ノ事由ナクシテ其ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ六箇月以内ニ之ヲ開始セス又ハ開始後三箇月以上引續キ休止シタルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第十九條　市場ヲ廢止セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二十條　開設者其ノ名義ヲ變更セムトスルトキハ双方署名捺印シ名義變更ニ關スル必要ナル書類ヲ添附シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

一　市場ノ位置構造竝名稱
二　定款、規約及業務規程竝事業計畫

第二十二條　左ノ事項ハ遲滯ナク知事ニ届出ツヘシ

一　開設者ノ住所法人ニ在リテハ其ノ所在地及代表者ノ住所氏名ヲ變更シタルトキ
二　每年度收支豫算及事業計畫
三　市場ヲ開始シ又ハ休業セムトスルトキ

第二十三條　許可ノ制限、條件若ハ本令ノ規程ニ違背シタルトキ又ハ衞生上危害ヲ生シ其ノ他公安若

ハ公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ開設者ニ對シ左ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

一　市場開設許可ノ取消又ハ業務ノ停止

二　市場ノ移轉

三　委託販賣人ノ營業停止又ハ除名セシムルコト

四　從業者ヲ解任セシムルコト

五　其ノ他必要ナル處分

第二十四條　市場ニ於ケル賣買取引ヲ妨ケ若ハ市場ノ秩序ヲ紊ス行爲アル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二十五條　開設者ハ其ノ代理人、傭人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ事業ニ關シ本令ニ違背シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十六條　本令ニ基ク罰則ハ法人ニ在リテハ其ノ代表者ニ之ヲ適用ス

第二十七條　本令ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ市場所在地ノ町村役場又ハ市役所ヲ經由スヘシ

附　則

第二十八條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十九條　從前ノ規程ニ依リ許可ヲ受ケタル市場ニ在リテハ本令施行ノ日ヨリ一箇年以內ニ許可ヲ受クヘシ但シ許否ノ指令アル迄從前ノ通開設スルコトヲ得

前項ノ期間內ニ許可ノ出願ヲ爲ササルトキハ從前ノ規則ニ依リ受ケタル許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第三十條　明治二十年十一月縣令第八十一號市場設立願ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

第三十一條　第十二條ニ依リ市場ニ備フヘキ帳簿ハ本令施行當時ノ決算期終了スル迄仍從前ノモノヲ使用スルコトヲ得

秋田縣　市場取締規則

（明治三十二年一月十日縣令第四號）

第一條　本則ニ於テ市場ト稱スルハ定時ニ於テ衆人集合シテ諸物品ヲ賣買スル一定ノ場所ヲ云フ

第二條　市場ヲ分チテ定市場月並市場日限市場夜市場ノ四種トス

定市場月並市場及日限市場ハ日出ヨリ日沒マテ夜市場ハ日沒ヨリ午後十一時マテヲ開設ノ時限トス

第三條　市場ヲ開設セントスルモノハ左ノ事項ヲ具シ地主連署ノ上（官有地ヲ除ク）所轄警察官署ヲ經テ縣廳ニ願出テ免許ヲ受クヘシ

一　開設ノ要旨

二　開設地名位置道幅（道路ニ開設スルトキ）圖面及接續地ノ景況書

三　物品ノ種類

四　市場ノ種別及開設日時

五　汚穢物ノ排泄及其他ノ清潔方法書

六　市場區域內人民諸否ノ書面

七　道路（國縣道ヲ除ク）ニ開設セントスルトキハ其ノ使用ニ關スル市町村ノ許可書

八　建物ヲ設クルトキハ其仕樣書

九　規約ヲ設クルトキハ其規約書

免許ヲ得タル後前項第二乃至第五ノ事項及開設者ヲ變更セントスルトキ又ハ新ニ建物規約ヲ設ケ或ハ變更セントスルトキハ所轄警察官署ヲ經テ縣廳ニ屆出テ認可ヲ受クヘシ但シ一時其ノ定日ヲ變更スルモノハ所轄警察官署ニ屆出ツヘシ

第四條　左ノ場合ニ於テハ市場免許ノ效ヲ失フヘシ

一　正當ノ理由ナク市場免許ノ日ヨリ三ケ月以內ニ開始セサル時

二　六ケ月以上休場

三　開設者死亡シタル時

四　開設者其資格ヲ失ヒタル時

五　開設者失踪又ハ逃亡シタル時

第五條　左ノ場合ニ於テハ所轄警察官署ヲ經テ縣廳ニ屆出ツヘシ

一　市場ヲ開始休場若クハ廢場セントスルトキハ其前日迄

二　開設者轉居、改氏名、死亡又ハ其資格ヲ失ヒタルトキハ五日以內

三　開設者失踪逃亡シタルトキハ之ヲ覺知シタル日ヨリ五日以內

四　死亡失踪逃亡ハ其相續人又ハ家族ヨリ屆出ツヘシ

第六條　市場ヲ開設スル者ハ滿二十歲以上ノ男子ニシテ其市町村ニ本籍ヲ有シ左ノ各項ニ抵觸セサル者タルヘシ

一　白痴、瘋癲者

二　破產ノ宣告又ハ家資分散ノ處分ヲ受ケ復權ヲ得サル者

三　盜罪、詐欺取罪、賭博罪ニ依リ處分ヲ受ケタル者

四　公權剝奪又ハ停止中ノ者

第七條　市場開設者ハ市場設置ノタメ交通及衞生上ノ障害ナカラシムルハ勿論其他市場取締ニ關スル一切ノ責ニ任スヘシ

第八條　定市場及月並市場ハ附錄第一號ノ標示ヲ日限市場ハ同第二號ノ標札ヲ市場ノ兩端ニ建設スヘシ

第九條　開市中ハ市場便宜ノ地ニ出張所ヲ定メ置キ附錄第三號ノ標札ヲ揭ケ開設者出張シテ諸般ノ取締ヲ爲スヘシ若シ開設者事故アルトキハ相當代理者ヲ出張セシムルコトヲ得但シ代理者ノ行爲ニ付テハ開設者其責ニ任ス

第十條　市場ハ開設者ニ於テ物品ニ依リ一定ノ區域ヲ畫シ種類ヲ混淆シテ陳列セシムヘカラス

第十一條　市場ハ開設者ニ於テ中央幅九尺以上ノ通路ヲ設ケ物品ヲ陳列スヘキ箇所ト通路トノ區域ヲ限定シ物品ヲ區域外ニ陳列セシムヘカラス

第十二條　市場ノ假設物ハ堅固ニ建設シ不潔又ハ見苦敷物品ヲ使用スヘカラス

警察官吏ニ於テ街路ノ保存及交通往來ノ障害ト認ムル假設物ハ之ヲ取リ除カシムルコトアルヘシ

第十三條　市場ノ通路ニ車馬其ノ他ノ物件ヲ橫タヘ通行ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第十四條　市場ハ閉市後二時間以內ニ假設物ヲ撤去シ清潔ニ掃除ヲナスヘシ

第十五條　魚腸ノ如キ汚穢ノ物品ハ相當ノ容器ニ入レ臭氣ヲ發散セシメサル樣密閉スヘシ

魚類ヲ陳列シ地盤ヲ汚穢ナラシメタルトキハ掃除ノ際洗滌スヘシ

第十六條　本則ニ違犯シ又ハ衞生若クハ公共ノ安寧ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ其新設ヲ認可セス又ハ左ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

一　市場ノ禁止停止合併又ハ移轉

二　市場營業人ノ營業禁止又ハ停止

第十七條　本則第二條第二項、第五條、第八條、第十五條ニ違背シタル者及無免許ノ市場ヲ開設若クハ之ニ出店シタル者又ハ第九條、第十條、第十一條ノ區域ニ依ラスシテ物品ヲ陳列シ制止ヲ肯ンセサル者ハ一日以上十日以下ノ拘留又ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

附　則

第十八條　既設ノ市場ハ本則施行ノ日ヨリ三ケ月以內ニ第三條ノ手續ニ依リ願出ツヘシ但其期間內ニ免許ヲ受ケサルトキハ市場タルノ效ヲ失フモノトス

第十九條　駒犢驟場ハ從來ノ慣行ニ依ル

附錄　第一號

地上六尺

四寸

從是東何間定市（月並）市場

附錄　第二號

一尺

自何月何日
至何月何日

日限市場

自何時
至何時

五寸

二寸角以上

附錄　第三號

八寸

□市場取締人詰所

二尺八寸

秋田縣　市場取締規則執行心得

（明治三十二年一月十八日　警察部訓令第一號）

第一條　規則第三條ノ願書ヲ受理シタルトキハ左ノ事項ヲ調査シテ許否ニ關スル意見ヲ附シ五日以內ニ進達スヘシ但シ同條第二項ニ係ル場合ニ於テ意見ナキモノハ經由ノ印ヲ捺シテ差出スヘシ

一　規則第三條各號ノ事項ニ相違ノ廉ナキヤ否

二　市場設立ノ要旨

三　開設地域人民故障ノ有無及公共ノ利害

四　市場位置ノ適否

五　魚類陳列ノ區域ト飲料水トノ關係

六　出願人ノ素行經歷財產前科及資格ノ有無

七　其他必要ト認ムル事項

第二條　規則第四條第一號、第二號ニ該當スルモノアルトキハ其事由ヲ報告スヘシ

第三條　規則第五條ノ届書ヲ受理シタルトキハ調査ノ上意見ナキモノハ經由ノ印ヲ捺シ届書ヲ進達スヘシ但シ當日限リノ休場届ヲ受ケタルトキハ郡市役所ニ通知スヘシ

第四條　市場ハ適宜警察官吏ヲ派遣シ市場ノ安寧秩序ニ關シ取締ヲ爲スヘシ

第五條　規則第十六條ノ處分ヲ必要ト認ムルトキハ其事實ヲ調査シ可成斯案ノ資料トナルヘキ證憑書類ヲ添付シ具申スヘシ

第六條　規則第十條ノ種類ト稱スルハ野菜、魚類等ヲ大別指稱シタルモノニ付キ便宜標札等ヲ以テ區別セシムルモ妨ケナシ

第七條　規則第十條ノ假設物ハ可成道路ヲ毀損セシメサル設備ヲ爲サシムヘシ

山形縣　魚市場取締規則

（大正七年四月十八日　山形縣令第三六號）

第一條　本則ニ於テ魚市場ト稱スルハ生魚介ノ類（一鹽物ヲ含ム）ヲ蒐集シ多數人相會シテ賣買取引ヲ爲ス一定ノ場所ヲ謂フ

第二條　魚市場ヲ經營セムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ第三號、第四號及第八號ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一　經營者ノ住所、氏名、生年月、法人又ハ組合ニ在リテハ其ノ名稱、事務所ノ所在地並代表者ノ住所氏名

二　名稱

三　位置並附近ノ見取圖

四　市場ノ構造設計書及圖面
五　資本金額
六　一箇年間取扱フヘキ商品ノ豫想價額
七　市場規程
八　經營者市町村ナルトキハ市町村會ノ市場經營ニ關スル決議書寫其ノ他ノ法人ナルトキハ定款、組合ナルトキハ規約
九　工事ノ着手及竣成期日

第三條　魚市場ノ構造及設備ハ左記各號ニ依ルヘシ
一　賣場及商品置場ハ光線ノ直射ヲ避ケ其ノ地盤ハ不滲透質ノ材料ヲ用ヰ適當ノ勾配附スルコト
二　場内ニ井戸ヲ設ケ又ハ適當ノ給水設備ヲ爲スコト
三　便所ハ屋外ニ設ケ臭氣ノ發散セサル裝置ヲ爲スコト
四　溝渠汚水溜ハ不滲透質材料ヲ用ヒ且覆蓋ヲ設クルコト
五　魚ノ臟腑其ノ他ノ汚物ハ一定ノ容器ニ入レ臭氣ノ發散セサル裝置ヲ爲スコト

第四條　市場規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
一　市場ノ開閉日時
二　使用料
三　魚問屋業者ヨリ身元保證金ヲ徵スルトキハ其ノ金額並管理處分ノ方法

四　賣買ノ符牒
五　前各號ノ外市場經營ニ必要ナル事項

市場規程ハ場内見易キ所ニ揭示スヘシ

第五條　魚市場ノ工場落成シタルトキハ知事ニ届出檢査ヲ受クルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第六條　魚問屋業者ハ魚市場ニ於テスルニ非サレハ營業ヲ爲スコトヲ得ス

魚市場經營者ハ故ナク魚問屋業者ノ營業ヲ拒ムコトヲ得ス

第七條　魚市場經營者ハ決算期毎ニ使用料徵收高及取引ノ狀況ヲ具シ翌月末日迄知事ニ届出ッヘシ

第八條　魚市場經營者ハ第二條一號、第二號、第九號ノ事項ニ變更アリタルトキハ三日以内ニ市場ヲ廢止若ハ休業セムトスルトキハ知事ニ届出ッヘシ

第九條　魚市場ヲ相續シ又ハ讓受ケムトスルトキハ第二條第一號ノ事項ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

但シ讓受ノ場合ニアリテハ讓渡人ノ連署ヲ要ス

第十條　魚問屋業ヲ爲サムトスル者ハ住所、氏名、生年月及營業ヲ爲サムトスル市場名ヲ具シ所轄警察官署ニ届出ッヘシ

第十一條　魚問屋業者、仲買業者又ハ小賣業者ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス魚市場外ニ於テ市場ニ紛シキ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條　魚市場ハ常ニ清潔ヲ保チ掃除ヲ怠ルヘカラス

第十三條　左ノ場合ニ於テハ知事ハ魚市場經營ノ許可ヲ取消シ又ハ休場ヲ命シ其ノ他必要ナル命令ヲ

發スルコトアルヘシ

一　衞生上危害ヲ生シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキ

二　許可後一箇年以内ニ市場ノ開設ヲ爲サス又ハ六箇月以上休業シタルトキ

三　本則ノ規定ニ違背シタルトキ

第十四條　本則ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ所轄警察官署ヲ經由スヘシ

第十五條　第二條、第六條、第十一條ノ規定ニ違背シ又ハ第十三條ノ命令ニ從ハサル者ハ拘留又ハ科料ニ處シ第四條第二項、第五條、第七條乃至第十條及第十二條ノ規定ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス

第十六條　魚市場經營者ハ其ノ從業者ニシテ本則ニ違背シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルヽコトヲ得ス

第十七條　法人又ハ組合ノ代表者其ノ業務ニ關シ本則ノ規定ニ違背シタル場合ニ於テハ本則ニ規定シタル罰則ヲ法人又ハ組合ニ適用ス

法人又ハ組合ヲ罰スヘキ場合ニ於テハ其ノ代表者ヲ以テ被告人トス

附　則

本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年六月縣令第四十號魚市場取締規則ハ之ヲ廢止ス

從前ノ規定ニ依リ現ニ魚市場ヲ開設スル者ハ本則施行後三箇月間假營業ヲ爲スコトヲ得

山形縣　魚市場取締規則執行手續

（大正七年四月十九日訓令第二〇號）

第一條　魚市場ヲ經營シ又ハ相續シ若ハ讓受ケムトスル出願アリタルトキハ左ノ事項ヲ調査シ意見ヲ附シテ進達スヘシ

一　願書ノ成立正當ナルヤ否ヤ

二　位置ハ衞生上差支ナキ個所ナルヤ否ヤ

三　構造設備ハ規則第三條ノ制限ニ適合スルヤ否ヤ

四　前各號ノ外必要ナル事項

第二條　魚市場工事落成ノ届出アリタルトキハ速ニ檢査ヲ遂ケ意見ヲ附シテ進達スヘシ

第三條　所轄警察官署ハ隨時警察官吏ヲ魚市場ニ派遣シ清潔保持ノ狀況ヲ視察セシムヘシ

第四條　所轄警察官署ハ規則第十三條ノ處分ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ其ノ事由ヲ詳具シ知事ニ報告スヘシ

第五條　所轄警察官署ハ第一號樣式ノ魚市場臺帳及第二號樣式ノ魚問屋業者臺帳ヲ調製シ異動アル毎ニ整理スヘシ

第一號樣式(用紙美濃紙)

名稱	許可年月日	位置	法人又ハ組合ニ在リテハ其ノ事務所所在地	資本金額	存續期間	備考
		魚市場經營者ノ住所氏名生年月	法人又ハ組合ニ在リテハ其ノ代表者ノ住所氏名			

第二號樣式(用紙美濃紙)

開設年月日	營業市場名	住所氏名生年月	備考

福島縣市場規則

(明治三十年八月縣令第六三號)

第一條　本規則ニ市場ト稱スルモノハ公ニ開キタル馬市駒糶庭生糸其他ノモノヲ賣買取引スルヲ云フ日ヲ定メ店舖其他ノ場所ニ商號ヲ附シタル旗標ヲ揭示シ若クハ旗標ヲ揭ホセサルモ多人數相集マリ商品ヲ取引賣買スルトキハ市場ト看做ス

第二條　從來ノ慣行ニヨリ又ハ二年以上故障ナク同種類ノモノヲ引續キ賣買取引シタル市場ハ尙存續スルコトヲ得

第三條　市場ヲ變更若クハ新設セント欲スルトキハ左ノ事項ヲ具シ當廳ニ出願許可ヲ受クヘシ

一　市場ニ供セントスル地種地目及近接シタル人家其他ノ實況ヲ模寫シ地主並ニ關係人民五名以上

開設年月日	營業市場名	住所氏名生年月	備考

連署シタル圖面

二　市場開閉年月日時及開場日數

三　定期、臨時ノ區別

四　賣買取引ノ方法及其物名但市場ニ主タル商人ト住民トノ間ニ取結ヒタル規約アルトキハ其寫、

市日ヲ變更セントスルトキモ亦同シ

第四條　第三條ニ違背シ市場ヲ開設シタルモノハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第五條　神佛ノ例祭其他年始歲暮ニ際シ露店ヲ開キ玩弄品若クハ需用品ヲ賣買スルモノ、類ハ市ノ唱アルト否トニ拘ラス總テ本規則ニ依ルノ限ニアラス

此規則ハ明治二十年八月本縣令甲第百七號街路取締規則及同月本縣令甲第百十一號ノ施行ヲ妨ケス

明治二十二年四月本縣令甲第四十五號ハ此規則施行ノ日ヨリ廢止ス

栃木縣　市場設置手續

（明治二十年八月縣令第六六號）

市場ヲ設置スルトキハ左記項目中第一款ハ設置ノ日ヨリ五日以內ニ第二款ハ至一ケ月分翌月五日限リ關係者ヨリ届出ツヘシ

但市場既設ノモノモ本文ニ準シ届出ツヘシ

一　市場ノ名稱

一　市場ノ位置

一　取引物品ノ種類

一　開市日

一　市場ノ組織

一　市場費ノ額

一　出荷高（類別）

一　取引高（同上）

一　取引金高（同上）

一　價格（同上）

一　無市ノ景況

埼玉縣　市場規則

（昭和四年一月十一日埼玉縣令第二號）

第一條　本則ニ於テ市場ト稱スルハ常時又ハ定期ニ多數當業者集會シ蔬菜、果實、魚類、肉類、鳥類

鷄卵其ノ他食料品ノ取引ヲ行フ爲開設スル市場ヲ謂フ

第二條　市場ヲ開設セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ニ業務規程、建物ノ名稱及構造、設備並坪數ヲ記入シタル圖面及市場附近ノ見取圖ヲ添付シ知事ニ差出シ許可ヲ受クヘシ

一　開設ヲ要スル理由
二　市場ノ名稱
三　市場ノ位置
四　資本金額
五　收支計算ノ見込
六　取扱品ノ種類及一年間ノ取引豫想高
七　工事ノ着手及竣工期日

市場開設者法人若クハ組合ナルトキ前項書類ノ外其ノ定款若クハ規約ヲ添付スヘシ

第三條　業務規程ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　開市日開閉時刻及休業ニ關スル事項
二　取扱品ノ種類及其ノ取引方法
三　取扱品及代金ノ受渡方法
四　市場ニ於テ徵收スル料金及其ノ種類並徵收方法
五　歩戻金又ハ奬勵金等ヲ交付スルモノニ在リテハ其ノ歩合及支拂方法

六　買受人ヨリ保證金ヲ徵スルモノニ在リテハ其ノ金額並其ノ保管方法
七　違約ニ關スル事項
八　其ノ他業務ニ關シ必要ナル事項

第四條　市場ノ位置構造及設備ハ概ネ左ノ標準ニ據ルヘシ

一　位置ハ社寺、學校、圖書館、病院、公園、官公署等ニ接近セス且衞生上害ナキ箇所タルコト
二　構造ハ採光換氣ニ適シ不燃質物ヲ以テ葺覆スルコト
三　場内ノ洗滌用水ハ飲料ニ適スルモノタルコト
四　場内ニハ汚物容器及汚水溝若クハ汚水溜ヲ設ケ其ノ構造ハ不滲透質ノ材料ヲ用キ且覆蓋ヲ施スコト
五　魚類ヲ取扱フ市場ニ在リテハ其取扱場所ハ不滲透質ノ材料ヲ用ヒ且陳列臺ヲ設クルコト
六　市場ニ出入スル運搬用具置場ヲ設クルコト

第五條　市場ハ十年以内ノ期間ヲ以テ之ヲ許可ス期間滿了後更ニ之ヲ繼續セムトスルトキハ期間滿了三月前迄ニ出願シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第六條　市場ヲ相續讓渡又ハ法人ノ合併ニ依リ繼承セントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第七條　市場開設ノ許可ヲ受ケタル者市場ノ名稱、位置、資本金額、業務規程及市場ノ構造設備ヲ變更セントスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第八條　市場ニハ其ノ名稱ヲ記載シタル標柱ヲ建テ又ハ標札ヲ掲クヘシ

第九條　業務規程ハ市場内公衆ノ見易キ箇所ニ掲示スヘシ

第十條　市場ノ設備竣工シタルトキハ知事ニ届出テ檢査ヲ受クヘシ檢査前ニ於テハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十一條　市場ノ定休日以外ニ於テ臨時休業セントスルトキハ豫メ市場ニ其ノ旨ヲ掲示スヘシ

第十二條　市場開設者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一　名義ノ何タルヲ問ハス業務規程ニ定ムル手數料又ハ使用料以外ノ給付ヲ受ケサルコト

二　正當ノ事由ナクシテ取引ヲ拒絶制限又ハ強制セサルコト

三　業務規程ニ定メタル取扱品ノ外取引ヲ爲ササルコト

四　市場ノ内外ハ常ニ掃除ヲ怠ラス清潔ヲ保持スルコト

五　委託品處分ノ結果ハ翌日迄ニ之ヲ委託者ニ通報スルコト

第十三條　市場ノ取引ニハ符牒又ハ暗號ヲ用フルコトヲ得ス

第十四條　取引品ハ市場ニ於テ授受ヲ完了スヘシ

第十五條　市場開設者ハ他ノ者ヲシテ市場ノ業務ヲ營マシムルコトヲ得ス但シ特別ノ事由ニ依リ知事ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　市場開設者ハ其ノ取引品目ノ出來値相場ヲ卽日公表スヘシ

第十七條　市場開設者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ五日以内ニ知事ニ届出ツヘシ但シ第三號ノ届出ハ戸籍法第百十七條ニ依ル届出義務者若クハ清算人之ヲ爲スヘシ

一　市場ヲ開始シタルトキ

二　業務規程以外ノ諸規程ヲ制定シ又ハ之ヲ變更シタルトキ

三　開設者死亡法人若クハ組合解散シタルトキ

四　開設者其ノ住所氏名ヲ變更シタルトキ法人若クハ組合其ノ名稱、定款若クハ規約並代表者ヲ變更シタルトキ

第十八條　市場開設者ハ一定ノ帳簿ヲ備ヘ毎日取引品ノ種類、數量、價格及取引者ヲ記載スヘシ

第十九條　市場開設者ハ毎年一月末日迄ニ其ノ前一年間ニ於ケル取引品目ノ種類別價格、手數料又ハ使用料及收支決算書ヲ知事ニ届出ツヘシ但シ收支決算期ハ決算書アルモノハ其ノ翌月末日迄ニ届出ツヘシ

第二十條　知事公益上必要アリト認ムルトキハ市場ノ位置、構造、設備又ハ業務規程ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ市場開設許可ハ其ノ效力ヲ失フ但シ特別ノ事由ニ依リ豫メ知事ノ認可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　第二條第七號ノ竣工期日ヨリ三日以内ニ業務ヲ開始セサルトキ

二　引續キ休業六月ニ及フトキ

第二十二條　市場ノ廢止ハ理由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條　市場開設者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ業務ノ停止ヲ命シ又ハ許可ヲ取消スコトアル

ヘシ

一　本則若クハ本則ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

二　業務規程ニ違反シタルトキ

三　公益ヲ害シ若クハ害スル虞レアルトキ

第二十四條　本則ニ依リ提出スル書類ハ市町村長及所轄警察署長ヲ經由スヘシ

第二十五條　知事必要アリト認ムルトキハ當該官吏員ヲシテ市場ノ業務及之ニ關スル帳簿財產其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトアルヘシ

第二十六條　許可ヲ受ケシテ本則第一條ニ該當スル市場ヲ開設シタル者又ハ第二十三條ニ依ル停止期間中業務ヲ營ミタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

一　業務規程ニ違反シタル者

二　第七條及第十條乃至第十五條ニ違反シタル者

三　第十六條乃至第十九條ノ公表屆出ヲ懈怠シ又ハ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者

四　第二十條ノ命令又ハ處分ニ服セサル者

五　第二十五條ノ檢查ヲ拒ミ又ハ其ノ執行ヲ妨ケタル者

第二十八條　本則ノ罰則ハ市場開設者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ法定代理人ニ法人ニ在リテハ其ノ代表者ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラ

ス

第二十九條　市場開設者ハ戶主、家族、同居人、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本則ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

附　則

本則ハ昭和四年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際現ニ市場ヲ開設スル者ハ本則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但シ其ノ效力ハ昭和六年一月末日迄トス

前項ノ市場本則施行ノ日ヨリ三月以內ニ第二條ニ準シ知事ニ屆出ツルニ非ラサレハ將來ニ其ノ效力ヲ失フ

市場ノ位置構造及設備ニ付テハ地方ノ狀況又ハ取引品目ノ種類ニ依リ當分ノ間知事ノ許可ヲ得テ第四條ノ標準ニ據ラサルコトヲ得

千葉縣　市場取締規則

（明治四十四年七月七日千葉縣令第四六號）

第一條　本則ニ於テ市場ト稱スルハ物品賣買營業者カ定期又ハ臨時ニ集合シ魚介、鳥獸肉、蔬菜、果物、海藻、菌茸、乾物等ヲ賣買、交換スル一定ノ場所ヲ謂フ

第二條　本則ハ家畜市場法又ハ古物商取締法細則若クハ道路取締規則ニ依リ開設スル市場ニ之ヲ適用セス

第三條　市場ヲ開設セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ所轄警察官署ノ許可ヲ受クヘシ但シ第三號、第五號ノ事項ヲ變更シ又ハ第四號ノ敷地ノ坪數ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一　開設者ノ住所、氏名、生年月日但シ法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所所在地及代表者ノ氏名

二　商品ノ種類

三　開設ノ場所

四　敷地ノ坪數及其周圍ノ地形、人家等ヲ記シタル平面圖

五　建物其ノ他ノ工作物ヲ設クルモノニ在リテハ其ノ構造仕樣書

六　開市期日及其ノ開閉ノ時間

七　商品ヲ運搬スル時間牛馬、諸車等ノ置場

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ開市前所轄警察官署ニ建物等ノ構造、設備ノ檢査ヲ受クヘシ其ノ構造ヲ變更シタルトキ亦同シ

第四條　前條ノ許可申請者ニシテ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ノ連署ヲ要ス

第五條　市場ハ官廳、公署、學校、病院ヲ距ル百二十間以上ノ地ニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス

第六條　市場ノ建物等ノ構造、設備ハ左ニ揭クル制限ニ從フヘシ

一　建物ノ屋根ハ瓦、金屬其ノ他不燃質物ヲ以テ覆葺スルコト

二　建物ハ光線ノ射入、空氣ノ流通ニ適當ナル構造ヲ爲スコト

三　建物內部ノ地盤ハ石敷又ハ厚板等ヲ以テ築造シ適物ノ勾配ヲ附シ汚水ハ汚水溝及汚水溜ニ流入セシムル構造ヲ爲スコト

四　汚水溝、汚水溜ハ石、陶磁器其ノ他不滲透質物ヲ以テ構造シ且臭氣ノ發散セサル樣適當ナル覆蓋ヲ設クルコト

五　適當箇數ノ痰壺ヲ備フルコト

六　便所ハ井戶ニ對シ相當ノ距離ヲ有スル場所ニ設クルコト

七　便所ハ公衆ニ對シ臭氣ノ及ハサル樣相當ノ距離ヲ有スル場所ニ之ヲ設クルコト

八　便所ニ於テル「キンカクシ」及朝顏ハ陶磁器ヲ用ユルコト

九　便所ニ於テル屎尿溜及其ノ周圍ハ石、陶磁器其ノ他不滲透質物ヲ以テ構造スルコト

十　便所ニハ適當ナル手洗器ヲ備フルコト

第七條　市場ノ開設者ハ左ニ揭クル場合ニ於テ五日以內所轄警察官署ニ屆出ツヘシ

一　市場ノ廢止

二　商品ノ種類ノ變更

三　開市期日及其開閉ノ時間ノ變更

四　商品ヲ運搬スル牛馬、諸車馬ノ置場ノ變更

五　開設者又ハ法定代理人ノ住所、氏名ノ變更但シ法人ニ在リテハ其ノ代表者氏名ノ變更

六　法人代表者又ハ法定代理人ノ變更

市場ヲ買受ケ、讓受ケ又ハ其ノ持主死亡シ若ハ所在不明トナリタルニ依リ新ニ其ノ持主トナリタル者ハ前項ニ依リ之ヲ届出ツヘシ但シ其ノ買受ケ、讓受ケノ場合ニ於テハ舊持主ノ連署ヲ要スヘシ

第八條　市場ノ開設者ハ左ニ掲クル事項ヲ遵守スヘシ

一　市場ノ入口ニハ其ノ名稱、商品ノ種類及開設者ノ氏名ヲ標記スルコト

二　市場ニ於ケル風紀ヲ維持スルコト

三　火防取締規則及明治三十七年内務省令第一號肺結核豫防ニ關スル件並ニ肺結核豫防規程ノ當該條項ヲ遵守スルコト

四　市場ヲ閉鎖シタルトキハ直ニ掃除ヲ爲シ之ヲ清潔ナラシムルコト

五　便所ノ手洗水ハ常ニ清潔ナラシムルコト

六　便所ニハ共用手拭ヲ備ヘサルコト

七　下水溝ハ時々浚渫シ汚水溜ハ充溢セサル樣之ヲ汲ミ取リ清潔ナラシムルコト

第九條　市場ニ於ケル物品賣買營業者ハ左ニ掲クル事項ヲ遵守スヘシ

一　種々ノ手段ヲ以テ强テ持込人ヲ誘引セサルコト

二　場内ニ現在スル商品ノ外賣買、交換ヲ爲ササルコト

三　火防取締規則ノ當該條項ヲ遵守スルコト

四　不熟又ハ腐敗ニ傾キタル食用品ヲ賣買、交換セサルコト

第十條　市場ノ開設者ハ市場ニ於ケル建物等ノ構造、設備ニシテ破損セルモノハ速ニ改造又ハ修繕スヘシ

第十一條　警察官署ハ市場ニ於ケル建物等ノ構造、設備ノ檢査ヲ爲シ必要アリト認メタルトキハ市場ノ開設者ニ對シ之カ改造、修繕、設備又ハ掃除ヲ命スルコトアルヘシ

第十二條　警察官署ハ市場ニ於ケル商品等ニシテ衞生上危害ヲ生スルノ虞アリト認メタルトキハ該營業者ニ對シ其ノ物品ノ販賣、授受ヲ禁止シ又ハ所有者若ハ所持者ヲシテ其ノ物品ヲ廢棄セシメ又ハ直接之ヲ廢棄スルコトアルヘシ但シ所有者若ハ所持者ニ於テ衞生上危害ヲ生スルノ虞ナキ方法ニ依リ之ヲ處置セムコトヲ請フ者アルトキハ警察官署ハ之ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ物品ニ對シ警察官署ニ於テ必要アリト認メタルトキハ明治三十三年二月法律第十五號第二條ノ職權ヲ行フコトアルヘシ

第十三條　警察官署ハ市場ノ開設者ニシテ本則ニ違反シ又ハ公安、風俗ヲ害シ若ハ他人ニ名儀ヲ假スノ事實アリト認メタルトキハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ市場ノ開設ヲ停止スルコトアルヘシ

第十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス

一　第三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ市場ヲ開設シタルモノ

二　第三條第二項ノ檢査ヲ受ケス又ハ之ニ合格セサル建物等ヲ使用シテ市場ヲ開キタル者

三　第八條第二號、第九條第一號、第二號ニ違反シタル者

四　第十三條ノ停止中市場ヲ開キタル者

第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二十日以下ノ拘留又ハ十五圓以下ノ科料ニ處ス

一　第八條第五號、第六號ニ違反シタル者

二　第十一條ノ建物等ノ構造、設備ノ檢査ヲ拒ミ又ハ其ノ改造、修繕、設備ノ命ニ從ハサル者

第十六條　第七條又ハ第八條第一號ニ違反シタル者ハ五圓以下ノ科料ニ處ス

第十七條　市場ノ開設者又ハ營業者カ十四歲未滿ノ者若ハ禁治產者ナルトキハ前三條ノ刑ハ之ヲ其ノ法定代理人ニ科ス

市場ノ開設者又ハ物品賣買業者カ法人ナルトキハ前項ノ刑ハ之ヲ其ノ代表者ニ科ス

第十八條　市場ノ開設者又ハ物品賣買業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者カ本則ニ違反シタル場合ト雖自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルヽコトヲ得ス

第十九條　本則ニ規定シタル違反行爲ヲ敎唆シ又ハ幇助シタル者ハ各本條ニ照シ之ヲ罰ス但シ情狀ニ依リ其ノ刑ヲ免除スルコトヲ得

附　則

第二十條　從前ノ市場開設者ニシテ本則施行後引續キ之ヲ開設セムトスル者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以內ニ第三條第一項、第四條ノ事項ヲ具シ所轄警察署ニ屆出ツヘシ

前項ノ屆出テヲ爲シタル者ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第二十一條　前條第一項ノ屆出テヲ爲シタル者ニシテ本則施行前ノ建物其ノ他ノ工作物ヲ襲用スル場合ニ於テハ該屆出テノ日ヨリ三十日以內ニ所轄警察官署ノ檢查ヲ受クヘシ

前項ノ建物等ノ構造、設備ニシテ第五條又ハ第六條第一號乃至第四號、第六號、第七號、第九號ノ制限ニ適合セサルモノハ改築若ハ大修繕ヲ爲スニ至ル迄其ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

第一項ノ建物等ノ構造、設備ニシテ第六條第八號、第十號ノ制限ニ適合セサルモノハ明治四十四年十二月三十一日迄ニ之ヲ設備シ所轄警察官署ノ檢查ヲ受クヘシ

第二十二條　明治十八年六月甲第七十五號ハ之ヲ廢止ス

警視廳　食品市場取締規則

（昭和三年七月十四日警視廳令第二九號）

第一條　本令ニ於テ食品市場ト稱スルハ生產者又ハ營業者集合シテ魚、鳥、獸肉、蔬菜及果實類ヲ相互ニ賣買取引スル爲開設スル市場ヲ謂フ

第二條　本令ニ依リ警視廳ニ提出スル願屆書ハ食品市場（以下單ニ市場ト稱ス）所在地所轄警察署ヲ經由スヘシ

第三條　本令ニ依ル願屆書ハ願屆人ニシテ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ法定代理人、準禁治產者ナルトキハ保佐人、妻ナルトキハ夫ノ連署ヲ要ス

第四條　市場ヲ開設セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ警視廳ニ願出テ許可ヲ受クヘシ第二號法人又ハ組合ノ代表者、定款又ハ規約、第六號乃至第十號及第十三號ノ事項ヲ變更シ若ハ市場ノ移轉、增設

改設、修繕其ノ他ノ變更ヲ爲サムトスルトキ亦同シ但シ出願ニ關係ナキ事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得

一　開設者ノ本籍、住所、氏名及生年月日
二　開設者公共團體ナルトキハ其ノ團體名、其ノ他ノ法人又ハ組合ナルトキハ其ノ代表者ノ本籍、住所、氏名、生年月日及定款寫又ハ組合規約寫
三　開設ヲ要スル事由
四　市場ノ名稱
五　市場及事務所所在地
六　業務規程
七　敷地面積
八　建築物ノ種別及各階面積
九　建築物ノ構造、種別、高、軒高及階數
十　左ノ圖面及設計書

イ　敷地附近ノ略圖（附近交通上ノ連絡關係及附近重要建築物トノ關係ヲ記入スヘシ）
ロ　建築物及附屬設備ノ配置圖（縮尺百分ノ一又ハ二百分ノ一）各階平面圖（縮尺五十分ノ一又ハ百分ノ一）及主要部分ノ斷面圖（縮尺二十分ノ一、五十分ノ一）
ハ　建築物及附屬設備ノ設計書

十一　既設ノ同種市場トノ距離
十二　商品集散ノ地域、生產者又ハ營業者ノ集合豫定人員及一箇月平均取扱見込數量
十三　市場ノ竣功期日
十四　市場ノ敷地又ハ建築物ニシテ他人ノ所有ニ係ルトキハ其ノ所有者ノ住所及氏名
前項ノ願書ハ市場ノ所在地市街地建築物法適用區域內ナルトキハ同法令ニ依ル圖書ヲ併セ提出スヘシ但シ前項各號ノ事項ニシテ重複スルモノハ之ヲ省略スルコトヲ得

第五條　業務規程ニハ左ニ揭クル事項ヲ定ムヘシ

一　商品ノ主ナル種類
二　市場開閉ノ日時及休日ニ關スル事項
三　賣買取引ニ關スル事項
四　市場內取締ニ關スル事項
五　市場內清潔方法ニ關スル事項
六　業務規程違反者ニ關スル事項
七　其ノ他市場開設上必要ナル事項

第六條　市場ノ構造設備ハ左ノ制限ニ從フヘシ

一　建築物ノ屋根ハ瓦、金屬其ノ他不燃質物ヲ以テ覆葺スルコト
二　商品賣場及置場ニハ其ノ床ノ面積ニ應シ商品置臺ヲ備フルコト

三　場内ニハ専用ノ水道ヲ敷設スルコト但シ水道ノ敷設ナキ場所ニ在リテハ汚水ノ滲透又ハ汚物ノ投入ヲ防止スルニ足ルヘキ適當ナル裝置ヲ爲シタル井戸ヲ設クルコト

四　場内ニ適當ノ車置場、大小便所及取外シ自由ノ覆蓋アル排水溝ヲ設クルコト

五　商品ノ賣場、置場及便所ノ床竝排水溝ハ「コンクリート」其ノ他耐水材料ヲ以テ構造シ床ハ相當ノ勾配ヲ附スルコト

第七條　蔬菜、果實類市場ノ構造設備ハ前條ノ規定ニ依ルノ外適當ノ商品洗場、牛馬繫留所及牛馬糞尿溜ヲ設ケ其ノ構造ハ前條第五號ノ規定ニ準スヘシ

第八條　魚、鳥、獸肉類市場ノ構造設備ハ第六條ノ規定ニ依ルノ外左ノ制限ニ從フヘシ

一　建築物ニハ屋上ニ適當ナル空氣拔ヲ設クルコト

二　商品賣場及置場ノ内壁ハ床面ヨリ高一、二米以上「コンクリート」其ノ他耐水材料ヲ以テ構造シ又ハ腰張ヲ爲スコト

三　商品賣場ニハ適當箇數ノ水栓ヲ設備スルコト

四　冷藏庫ヲ設備スルコト

五　場内排水溝ノ汚水ハ場外適當ノ場所ヘ流出スルニ必要ナル設備ヲ爲スコト

第九條　前三條ニ規定スル制限ハ土地ノ狀況若ハ構造設備ノ種類ニ依リ特ニ之ヲ斟酌シ又ハ該制限ノ外別段ノ事項ヲ命スルコトアルヘシ

第十條　市場ノ構造設備竣功シタルトキハ警視廳ニ届出テ使用認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十一條　市場ノ開設ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場所ニ在リテハ之ヲ許可セス

一　學校、病院、公園等ニ接近スルトキ

二　保安、衞生上ノ危害其ノ他ノ公害ヲ生スルノ虞アリト認ムルトキ

三　開設者不適當ト認ムルトキ

四　土地ノ狀況ニ依リ其ノ必要ヲ認メサルトキ

第十二條　市場ニ於テ問屋業又ハ仲買業ヲ營マムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ市場開設者連署ノ上市場所在地所轄警察署ニ願出テ許可ヲ受クヘシ第五號ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一　問屋業者又ハ仲買業者（法人ナルトキハ其ノ代表者）ノ本籍、住所、氏名及生年月日

二　店舗ノ番號及名稱

三　業務ノ種別

四　商品ノ種類

五　法人ニ在リテハ定款寫

第十三條　市場又ハ問屋業若ハ仲買業ヲ承繼セムトスルトキハ被承繼人連署ノ上第四條又ハ前條ノ規定ニ準シ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ被承繼人ノ連署ヲ受クルコトヲ得サル正當ノ事由アルトキハ其ノ旨附記スヘシ

第十四條　市場ノ開設者、問屋業者又ハ仲買業者ニシテ組合ヲ設ケタルトキハ組合規約書寫ヲ添ヘ組

合代表者ヨリ警視廳ニ届出ツヘシ其ノ組合規約ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十五條　市場ニハ其ノ名稱ヲ記載シタル看板ヲ掲クヘシ

第十六條　市場ノ開設者、問屋業者及仲買業者ハ閉市後直ニ場内ヲ清潔ニ掃除シ塵芥、汚物等ハ適當ニ之ヲ排除シ又ハ處分スヘシ

第十七條　市場内通路ニハ濫ニ車馬其ノ他ノ物件ヲ放置スヘカラス

第十八條　市場ノ開設者ハ一箇月間ニ於ケル賣買取引高及其ノ數量ヲ翌月十日迄ニ警視廳ニ届出ツヘシ

第十九條　市場ノ開設者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ旨十日内ニ警視廳ニ届出ツヘシ

一　第三條ノ法定代理人、保佐人又ハ夫ニ異動ヲ生シ又ハ其ノ氏名ニ變更アリタルトキ

二　第四條第一號、第二號法人又ハ組合代表者ノ本籍、住所、氏名竝第四號及第五號ノ事項ニ變更アリタルトキ

三　第四條第十四號市場ノ敷地又ハ建築物所有者ニ異動ヲ生シ又ハ其ノ住所、氏名ニ變更アリタルトキ

四　廢場シタルトキ

市場ノ開設者死亡シ又ハ所在不明ト爲リタルトキハ其ノ相續人又ハ戸主、同居ノ家族ヨリ開設者タル法人又ハ組合解散シタルトキハ清算人ヨリ其ノ旨前項ニ準シ届出ツヘシ

第二十條　市場ニ於ケル問屋業者又ハ仲買業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ旨市場開設者連署ノ上十日内ニ所轄警察署ニ届出ツヘシ

一　第十二條第一號乃至第四號ノ事項ニ變更アリタルトキ

二　廢業シタルトキ

問屋業者又ハ仲買業者死亡シ又ハ所在不明ト爲リタルトキハ其ノ相續人又ハ戸主、同居ノ家族ヨリ問屋業者又ハ仲買業者タル法人解散シタルトキハ清算人ヨリ其ノ旨前項ニ準シ届出ツヘシ

第二十一條　市場ノ開設者、問屋業者及仲買業者ハ當該官吏市場ニ臨檢シ書類、帳簿其ノ他ノ檢查ヲ爲サムトスルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十二條　警視廳ハ保安、衞生其ノ他取締上必要アリト認メタルトキハ左ノ事項ヲ命スルコトアルヘシ

一　市場移轉、增設、改設、修繕又ハ變更

二　市場ノ廢止

三　法人ノ定款、組合ノ規約若ハ役員又ハ業務規程ノ變更

四　其ノ他取締上必要ナル事項

第二十三條　市場ノ開設者、問屋業者又ハ仲買業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ警視廳ニ於テ其ノ業務ヲ停止シ又ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一　市場ノ竣功期日ヲ經過シ竣功セサルトキ

二　市場使用ノ認可ヲ受ケタル日ヨリ六箇月内ニ開場セス又ハ六箇月以上休場シタルトキ

三　他人ニ名義ヲ假スノ事實アリト認メタルトキ
四　法定代理人、保佐人ノ同意又ハ夫ノ許可ヲ取消サレタルトキ
五　六箇月以上所在不明ト爲リタルトキ
六　本令又ハ本令ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ
七　大正十五年十二月警視廳令第五十二號食肉營業取締規則又ハ同令ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ
八　保安、衞生上ノ危害其ノ他ノ公害ヲ生スルノ虞アリト認メタルトキ
九　業務規程ニ違反シ市場ノ經營ヲ阻害スト認メタルトキ
十　其ノ他就業上不適當ト認メタルトキ

第二十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ拘留又ハ科料ニ處ス
一　第四條第一項、第十條、第十二條乃至第二十一條ノ規定ニ違反シタルトキ
二　第二十二條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ
三　第二十三條ノ規定ニ依ル業務停止ノ處分ヲ受ケ其ノ期間中業務ヲ營ミタルトキ

第二十五條　市場ノ開設者、問屋業者又ハ仲買業者ニシテ未成年者、禁治產者ナルトキハ本令ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ未成年者其ノ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　市場ノ開設者、問屋業者又ハ仲買業者ニシテ法人又ハ組合ナルトキハ本令ノ罰則ハ之ヲ

法人又ハ組合ノ代表者ニ適用ス

第二十七條　市場ノ開設者、問屋業者又ハ仲買業者ハ其ノ業務ニ關シ戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十八條　本令ハ大正十二年三月法律第三十二號中央卸賣市場法ニ依リ認可ヲ受ケ開設又ハ設置シタル中央卸賣市場、同分場及其ノ開設者竝同市場內卸賣業者及仲買人ニハ之ヲ適用セス

附　則

第二十九條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十條　明治二十九年十一月警視廳令第四十八號食品市場取締規則ハ之ヲ廢止ス

第三十一條　前條ノ食品市場取締規則ニ依リ許可ヲ受ケ現ニ開設中ノ食品市場及同市場ノ組合規約ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタル食品市場及業務規程ト看做ス但シ市場ノ構造設備ニ關シテハ南多摩郡、北多摩郡、西多摩郡所在食品市場ハ昭和五年九月三十日迄ニ其ノ他ノ市場ハ昭和七年九月三十日迄ニ本令ニ依ルヘシ

第三十二條　前條ノ市場內ニ於テ現ニ問屋業又ハ仲買業ヲ營ム者ハ昭和三年九月三十日迄ニ第十二條各號ノ事項ヲ所轄警察署ニ届出ツヘシ

前項ノ規定ニ依リ届出テタル者ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

神奈川縣　食品市場營業規則

（大正十年七月二十九日神奈川縣令第九二號）

第一條　本令ニ於テ食品ト稱スルハ魚、鳥、獸、青物（青物トハ一切ノ蔬菜、果實ヲ含ム）ヲ謂ヒ左ノ各號ニ該當スルモノハ如何ナル名稱ヲ用フルヲ問ハス市場トス

一　毎日又ハ定期ニ多衆集合シテ食品ヲ賣買スル場所

二　多數ノ營業者又ハ生產者カ主トシテ食品ヲ販賣若ハ購買シ又ハ之カ配分ヲ行ヒ若ハ受クル場所

前項各號ノ場所ニ於テ同時ニ食品以外ノ物品ヲ賣買、配分若ハ競賣ヲ行フモノハ本令ノ適用ヲ受クルモノトス

第二條　食品市場ヲ開設セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ第三號、第四號、第六號乃至第八號ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一　開設者ノ住所、氏名、生年月日、開設者法人ナルトキハ其ノ名稱、事務所所在地並ニ代表者ノ氏名

二　市場ノ名稱

三　市場ノ位置並ニ其附近ノ狀況及圖面

四　市場ノ構造及設備ノ設計書

五　工事ノ着手並ニ竣工期日

六　市場ニ於テ取引セムトスル食品ノ種類及一ケ年ノ集散豫想高

七　會市規程

八　開設者市町村ナルトキハ其ノ市町村會ノ市場經營ニ關スル決議書其ノ他ノ法人ナルトキハ其ノ定款

九　市場ノ敷地又ハ建物カ他人ノ所有ニ屬スルトキハ其ノ所有者ノ承諾書

第三條　會市規程ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　市場ノ名稱及位置

二　事務所ノ位置

三　食品ノ種類並ニ其ノ取引方法

四　賣買手數料又ハ使用料ヲ徵收セムトスルトキハ其ノ率並ニ徵收方法

五　委託ヲ受ケ販賣ヲナス場合ニハ委託者ニ對スル代金支拂方法其ノ他委託者ニ關スル事項

六　市場開閉ノ時限及休業日ニ關スル事項

七　違約者ノ處分ニ關スル事項

八　前各號ノ外營業ニ關シ必要ナル事項

第四條　市場ノ構造及設備ハ概ネ左ノ各號ニ據ルヘシ

一　建物ハナルヘク屋蓋ヲ高クシテ空氣ノ流通並ニ採光ニ便ニシ小賣商品ニハ必ス陳列臺ヲ設ケ且食品及其ノ置場ハ光線ノ直射ヲ避ケ吹拔ノ場合ニハ周圍三尺以上ノ腰板ヲ張ルコト

二　魚市場ニアリテハ其ノ地盤ハ不滲透質ノ材料ヲ用ヒ適當ノ勾配ヲ附スルコト

三　市場內ニハ塵芥箱ヲ備付ケ魚、鳥類ノ臟腑、青物類ノ殘滓其ノ他汚穢物ヲ容レ相當防臭裝置ヲ施シ且會市後遲滯ナク取拾ツルコト

四　市場內ニ水道、井戶其ノ他適當ナル給水設備ヲナシ食品、食品容器及陳列臺ノ洗滌ハ水道水又ハ試驗ヲ受ケタル飮用適水ヲ使用スルコト

五　市場內ニ適當ナル通路ヲ設クルコト

六　汚水ヲ排泄スヘキ溝渠及汚水溜ヲ設ケ其ノ構造ハ釉藥ヲ施シタル陶器其ノ他不滲透質ノ材料ヲ用ヒ且適當ナル覆蓋ヲ設クルコト

七　市場內ニ適當數ノ便所ヲ設ケ防臭裝置ヲ施スコト

第五條　市場開設ノ許可期間ハ十年以內ニ於テ之ヲ定ム但シ期間更新ノ出願ヲナスコトヲ得

前項ノ規定ハ市町村ニ於テ經營スル市場ニ付テハ之ヲ適用セス

第六條　市場ノ設備竣工シタルトキハ其旨ヲ屆出テ檢查ヲ受クルニアラサレハ使用スルコトヲ得ス

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五日以內ニ知事ニ屆出ツヘシ

一　市場ヲ開始シタルトキ

二　市場ヲ廢止シタルトキ

三　第二條第一號又ハ第二號ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキ

四　市場開設者死亡シタルトキ

前項第四號ノ屆出ハ法定ノ屆出義務者之ヲ爲スヘシ

第三號第六號ノ休業日以外ニ於テ營業ヲ休止スルトキハ豫メ市場ニ其ノ事實ヲ揭示シ且ツ事由ヲ具シテ遲滯ナク知事ニ屆出ツヘシ

第八條　知事ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ市場ノ構造設備又ハ會市規程ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

市場建物朽廢破損シ又ハ其ノ虞アリト認ムルトキハ改築又ハ修繕ヲ命スルコトアルヘシ

第九條　左ノ場合ニ於テハ市場開設許可ノ取消營業ノ停止又ハ市場ノ移轉若クハ合併ヲ命スルコトアルヘシ

一　第二條第五號ノ竣工期日ヲ經過シ尙竣工セサルトキ

二　竣工後三月以內ニ市場ヲ開始セス又ハ六月以上休業シタルトキ

三　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ許可ニ附シタル條件ニ違背シタルトキ

四　會市規程ニ違背シタル行爲アリタルトキ

五　其ノ他公益上必要アリト認ムルトキ

第十條　市場開設者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス定額以上ノ手數料又ハ使用料ヲ徵收スルコトヲ得ス

二　正當ノ事由ナクシテ取引ヲ拒絶強制又ハ制限スルコトヲ得ス

三　取引商品ノ新鮮純良ヲ期スヘシ

四　市場ノ內外ハ常ニ掃除ヲ怠ラス清潔ヲ保持スヘシ

五　會市中ハ場內ノ秩序ヲ保チ取引ノ安全ヲ圖ルヘシ

第十一條　市場ニハ一定ノ帳簿ヲ備ヘ毎日其ノ取引ニ係ル食品ノ種類、數量並ニ金額等ヲ記載スヘシ

第十二條　市場開設者ハ毎年一月末日迄ニ前一ケ年間ニ於ケル取引食品ノ種類、數量、價格、手數料若ハ使用料及取引狀況ヲ記載シ尙收支計算書ヲ添ヘ知事ニ屆出ツヘシ但シ決算期アルモノハ其ノ決算ノ翌月末日迄ニ屆出ツヘシ

知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ臨時屆出ヲ命スルコトアルヘシ

第十三條　當該官吏又ハ警察官ニ於テ衞生上有害ナリト認メタルトキハ其ノ物品ノ取引ヲ禁止シ且廢棄ヲ命スルコトアルヘシ

第十四條　當該官吏又ハ警察官ハ市場ニ臨檢シ營業ニ關スル書類、帳簿等ヲ檢査シ且必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十五條　第二條ノ許可ヲ受ケスシテ市場ヲ開設シタルモノアル場合ニ於テハ當該官吏又ハ警察官ハ其ノ廢止ヲ命シ其ノ他必要ナル措置ヲナスコトヲ得

第十六條　第二條ニヨリ許可ヲ受ケタル食品市場ハ相續ニヨリ其ノ營業ヲ繼承スルコトヲ得此場合ニ於テハ相續人ヨリ戶籍謄本ヲ添ヘ遲滯ナク知事ニ屆出ツヘシ

第十七條　市場ヲ讓渡サムトスルトキハ讓渡人讓受人連署シテ出願シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第十八條　第二條、第十條、第十七條ニ違背シ又ハ第八條、第九條、第十二條乃至第十五條ノ命令ニ違反シタルトキハ「五拾圓以下ノ罰金又ハ拘留」ニ處ス第十一條ノ帳簿ニ虛僞ノ記載ヲナシ第十四條ノ臨檢若クハ檢查ヲ拒ミ又ハ不實ノ申立ヲナシタルトキ亦同シ

第十九條　第六條、第七條、第十二條、第十六條ニ違背シ又ハ虛僞ノ屆出ヲナシタルトキハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二十條　市場開設者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ノ規定ニヨリ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限リニ在ラス

第二十一條　市場開設者ハ其ノ代理人戶主、家族、同居人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサル故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十二條　法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ其ノ代表者ヲ以テ被告人トス

新潟縣　市場取締規則

（明治四十二年三月二十六日縣令第一九號）

第一條　道路ニ市場ヲ開業セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ所轄警察官署ノ許可ヲ受クヘシ變更ヲ爲サムトスル場合亦同シ

一　市場ヲ開設スヘキ位置（市町村字番地）道幅竝商品ヲ陳列スヘキ地域等ヲ示シタル平面圖

二　商品ノ種目

三　市場開閉ノ月日時間

四　市場ノ規約

五　所轄市町村長ノ承諾書

六　國縣道ニシテ小屋掛ヲ爲スモノハ土地使用認可書

七　市場管理人ノ住所、氏名、年齡

第二條　市場管理人ハ開市中現場ニ臨ミ市場ノ整理ニ從事スヘシ

第三條　警察官署ニ於テ交通其ノ他ニ害アリト認ムルトキハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ商品ノ配列其ノ他ニ關シ制限ヲ命スルコトアルヘシ

第四條　本則第一條ノ許可ヲ受ケスシテ市場ヲ開設シ第三條ノ命ニ從ハス又ハ第二條ニ違背シ警察官

吏ノ命アルモ仍ホ遵守セサル者ハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス但シ警察犯處罰令ニ規定アルモノハ其ノ規定ニ從フ

富山縣　食品市場營業規則

（明治三十八年五月縣令第二二號）

沿革（明治四十四年縣令第四十五號改正）（明治十九年二月甲第十二號布達ハ之ヲ廢止ス）

第一條　本則ニ於テ食品市場ト稱スルハ一定ノ日時場所ニ於テ公ニ魚鳥、獸、乾物、青物（青物トハ一切ノ蔬菜果實類ヲ云フ）類ノ食品ヲ賣買取引スル所ヲ謂フ

第二條　食品市場ヲ開設セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

一　市場ノ設立ヲ要スル事由

二　市場ニ於テ賣買取引セントスル食品及其ノ集散ノ狀況

三　市場ノ場所、構造及圖面

四　市場規程

三　設立者、會社又ハ組合ナルトキハ前四號ノ外定款若ハ規約書

前項第二號乃至第四號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

會社定款又ハ組合規約ヲ變更シタルトキハ其ノ旨ヲ知事ニ屆出ッヘシ

第三條　市場規程ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　市場ノ名稱及位置

二　事務所ノ位置

三　賣買食品ノ種類並ニ賣買ノ方法

四　賣買代金及物品受渡ノ方法

五　賣買手數料及其徵收方法

六　市場開閉日時及休廢業ニ關スル事項

七　違約者ノ處分ニ關スル事項

八　其ノ他市場ニ必要トスル事項

前項第三號中ニハ市場カ取扱フ食品ヲ營業トスル者ハ總テ其市場ニ就キ買入タルヲ得ル旨ヲ規定スヘシ但シ必要ナル制限ヲ設クルコトヲ妨ケス

第四條　食品市場ハ存立時期ヲ限リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第五條　食品市場ハ左記各號ニ準據シ設備スヘシ

一　建物ハ空氣ノ流通及光線ノ透入ヲ圖ルコト

二　市場內ニハ適當ノ通路ヲ設クルコト

三　市場內ニハ汚水ヲ排泄スヘキ溝渠及汚水溜ヲ設クルコト

溝渠及汚水溜ハ不滲透質材料ヲ用キ且適當ノ覆蓋ヲ設クルコト

四　魚類市場ニ就テハ地盤ハ不滲透質材料ヲ用ヒ適當ノ勾配ヲ設クルコト

前各號ニ依リ難キ事情アル場合ハ知事ノ認可ヲ受ケ之ニ依ラサルコトヲ得

第六條　食品市場開設者住所氏名ヲ變更シ又ハ死亡シタルトキハ本人又ハ戶籍法上ノ届出義務者ヨリ七日以內ニ知事ニ届出ツヘシ

第七條　食品市場開設ノ許可ヲ得タル者會社又ハ組合ナルトキハ取締役又ハ業務執行者中本則ノ責ニ任スヘキ者ヲ定メ許可ヲ受ケタル日ヨリ七日以內ニ知事ニ届出ツヘシ代表者住所氏名ヲ變更シ又ハ代表者ヲ變更シタルトキ亦同シ

第八條　食品市場ハ知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス

相續ノ場合ニハ家督相續者又ハ其ノ法定代理人ヨリ相續ノ事實ヲ證明スルニ足ル書面ヲ添ヘ一ケ月以內繼續若クハ廢業ヲ届出ツヘシ

第九條　食品市場ノ開始ハ三日前ニ廢業ハ三日以內ニ所轄警察署ヲ經テ知事ニ届出ツヘシ

第十條　衞生上有害ナルヘキ物品ヲ賣買取引スルコトヲ得ス

當該官吏又ハ警察官ニ於テ衞生上有害ト認メタルトキハ其ノ物品ノ賣買ノ禁止若ハ廢棄ヲ命スルコトアルヘシ

第十一條　食品市場ハ當該官吏又ハ警察官ノ臨檢ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條　食品市場開設者ハ其ノ場內ノ秩序ヲ保チ取締ヲ爲スヘシ

第十三條　本則及市場規程ハ衆人ノ見易キ所ニ之ヲ揭示スヘシ

第十四條　市場ノ內外ハ當ニ汚物ヲ撤去シ清潔ニ掃除スヘシ

第十五條　食品市場開設者ハ毎年一月七月ノ二回ニ前六ケ月間ノ商況、賣買食品ノ數量、價格ヲ知事ニ屆出ツヘシ

第十六條　食品市場ハ開設ノ許可ヲ得タル日ヨリ三ケ月以內ニ開始セス又ハ六ケ月以上休業スルトキハ許可ノ効力ヲ失フモノトス

第十七條　食品市場ハ市場ノ位置、土地ノ狀況、營業ノ方法、其ノ他公益上必要ト認ムルトキハ移轉合併又ハ規程ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第十八條　市場建物破損シ又ハ破損ノ虞アリト認ムルトキハ改築又ハ補修ヲ命スルコトアルヘシ

第十九條　本則ノ規程ニ反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ公衆ノ安寧ニ妨害アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

一　營業停止又ハ許可ノ取消

二　多數商人會合ノ禁止又ハ停止

第二十條　本則ニ定ムル營業行爲ニ從事スル家族、雇人等ノ所爲ハ總テ營業者其責ニ任スルモノトス

第二十一條　本則第二條及第五條乃至第九條、第十一條、第十二條、第十四條、第十五條ニ違背スル者若ハ第十條、第十三條、第十八條ノ命令ニ從ハサル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

附　則

第二十二條　本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十三條　從前許可ヲ得タル魚、鳥、獸、乾物、青物市場ハ本則施行ノ日ヨリ三ケ月以內ニ本則ニ依リ更ニ市場規程ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケサルモノハ廢業シタルモノト看做ス

第二十四條　前條第一項ノ市場ニシテ本則第五條ノ規定ニ適合セサルモノハ本則施行ノ日ヨリ一ケ年以內ニ補修又ハ改造スヘシ

但シ特別ノ事由ニ依リ延期ヲ要スルモノハ本則施行ノ日ヨリ三ケ月以內ニ知事ノ許可ヲ受クヘシ

石川縣　市場規則

（明治三十七年四月二十七日縣令第三四號）

第一條　本則ニ於テ市場ト稱スルハ法令ニ規定アルモノノ外定時又ハ臨時ニ多衆集合シ諸物品ヲ賣買スル一定ノ場所ヲ謂フ

第二條　市場ヲ開設セントスル者ハ族籍、住所、職業、氏名ヲ記載シタル願書ニ左ノ事項ヲ具シ地主連署ノ上知事ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

一　名稱

二　位置

三　賣買物件

四　市場開閉ノ日時
五　賣買及物件引渡ノ方法
六　賣買者ヨリ徵スル手數料ノ額
七　事務所ノ組織竝ニ維持ノ方法
八　仲間加入ニ要スル資格及加入ノ手續
九　建物ヲ設クルトキハ其ノ仕樣書
十　市場區域並ニ隣接境界ヲ明カニシタル實測圖面
十一　規約ヲ設ケタルトキハ其ノ寫

第三條　許可ヲ受ケタル後前條第一號乃至第九號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ旨願出テ許可ヲ受クヘシ

第四條　市場區域ニハ其ノ境界ヲ明カニスヘキ標柱又ハ標札ヲ建設スヘシ

第五條　所轄警察官署ハ公安、風俗及衞生上必要ナル事項ヲ指示スルコトアルヘシ

第六條　從來開設ノ市場ニシテ繼續營業セントスル者ハ本年六月三十日迄ニ本則ニ依リ願出テ許可ヲ受クヘシ

第七條　本則ニ依リ提出スヘキ書類ハ所轄郡市役所及警察官署ヲ經由スヘシ

第八條　第二條、第三條ニ違背シタル者又ハ警察官署ノ指示ニ從ハサル者ハ科料ニ處ス

福井縣　市場設立ニ關スル件

（明治十八年十一月　甲第一一八號）

自今市場ヲ設立セント欲スルモノハ左ノ事項ニ據リ當廳ヘ出願許可ヲ受クヘシ此旨布達候事

一　仲買人ノミヘ販賣スル市場ハ其仲買人中總代人ヲ選定シ市場主ト共ニ規約ヲ結ヒ該規約書二通相添ヘ出願スヘシ

一　仲買人ト需用者トヲ問ハス販賣スル市場ハ其市場主自ラ規則ヲ設ケ其規則書相添ヘ出願スヘシ

一　各自持寄集合販賣セント欲スルモノハ總代表人ヲ選定シ取締規則ヲ設ケ其規則書相添ヘ出願スヘシ

一　一定ノ場所ヲ設ケス臨時開場セントスルモノハ其ノ日數及賣買品名ヲ記シ出願スヘシ

一　家屋外ニ於テ開設スルモノハ總テ願書ニ地係リ町村若ハ關係者ノ連署ヲ受ケ且ツ其區域圖面ヲ添付スヘシ

一　渾テ市場開設ヲ出願スルトキハ所轄警察署ヲ（分署部內ノモノハ同署ヲモ）經由スヘシ

福井縣　魚市場取締規則

（大正三年三月縣令第一一號）

第一條　本則ニ於テ魚市場ト稱スルハ水產物（製造品ヲ除ク）ヲ競賣又ハ委託販賣スル一定ノ場所ヲ謂フ

第二條　市場ヲ開設セントスル者ハ左ノ各號ヲ具シ知事ニ出願許可ヲ受クヘシ

一　資本金額（固定資本ト流通資本トヲ區別シテ記載スルコト）

二　一箇年ノ販賣見込額

三　建設物ノ構造及面積並ニ汚水排泄溝ノ位置ヲ記載シタル圖面

四　市場ノ周圍六十間以內ノ見取圖

五　市場業務規程

前項ノ外開設者カ法人ナルトキハ定款二人以上ナルトキハ相互ノ契約書ヲ添附スヘシ

第三條　市場業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一　市場ノ名稱位置

二　取引物ノ種類

三　取引相手方及販賣ノ方法

四　市場開閉ノ日時及休業日

五　市場ニ於テ徵收スル手數料及其ノ徵收方法

六　仲買人ニ對シ歩戻ヲナスモノニ在リテハ其ノ歩合及之カ支拂ノ方法

七　賣買代金ノ受渡方法

八　設備スヘキ帳簿ノ種類

九　買受人ヨリ保證金ヲ徵スルモノニ在リテハ其ノ金額及保管並處分ノ方法

十　清潔施行方法

十一　前各號ノ外必要ト認ムル事項

第四條　市場開設許可ノ期限ハ十ケ年以內ニ於テ之ヲ定ム但シ滿期前一ケ年以內ニ於テ更ニ營業ノ繼續ヲ願出ツル者ニ對シテハ許可スルコトアルヘシ

第五條　市場業務規程、建物ノ構造、面積、汚水排泄溝ノ位置ヲ變更セムトスルトキ又ハ既設市場ノ營業ヲ繼承セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

資本金額及定款、契約書ニ異動又ハ變更ヲ來シタルトキ亦同シ

第六條　市場建設物ノ構造カ竣工シタルトキハ其ノ使用前所轄警察官署ニ屆出テ之カ檢查ヲ受クヘシ

其ノ構造ヲ變更又ハ改築シタルトキ亦同シ

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ市場ノ開設ヲ許可セス

一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレ滿期若ハ赦免後三ケ年ヲ經過セサル者

二　本則ニヨリ市場開設許可ノ取消處分ヲ受ケタルモノ

三　刑ノ言渡ヲ受ケ其ノ執行猶豫中ノ者

第八條　市場ノ營業ヲ廢止シタルトキハ五日以内ニ又ハ之ヲ休止シタルトキハ速ニ其ノ旨知事ニ届出ツヘシ

第九條　市場主ハ水産物ノ仲買又ハ魚商ヲ兼ヌルコトヲ得ス但シ地方ノ情況ニ依リ知事ノ認可ヲ得タル者ハ此ノ限リニ在ラス

第十條　市場主ハ販賣委託者ニ對シ自己ノ外他人ト水産物ノ賣買取引ヲナスコトヲ得サル意思ノ契約ヲナスコトヲ得ス

第十一條　市場ニ備フヘキ帳簿ニハ其ノ取扱物品及販賣代金並手數料等ノ受拂ヲ其ノ事實ノ發生シタル都度之ヲ記載スヘシ

第十一條ノ二　市場主ハ其ノ日ノ市場相場ヲ取引魚類ノ種類別ニ量目ニ依リ最高最低普通ニ區別シ市場ノ見易キ場所ニ掲示スヘシ

第十一條ノ三　法人タル市場主ハ決算期毎ニ遲滯ナク貸借對照表、損益計算書、事業成績書及剩餘金處分方法ヲ知事ニ届出ツヘシ

法人ニ非サル市場主ハ毎年一月ヨリ六月マテノ分ヲ其ノ年七月二十日迄ニ七月ヨリ十二月マテノ分ヲ翌年一月二十日迄ニ損益計算書及事業成績書ヲ知事ニ届出ツヘシ

第十二條　取締上必要アルトキハ知事ハ本令ノ外別ニ命令ヲ發シ又ハ監督員ヲシテ市場ニ臨檢セシメ帳簿其ノ他ノ文書ヲ檢査セシムルコトアルヘシ

第十三條　市場主ノ行爲カ左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ其ノ事業ヲ停止シ又ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一　本令又本令ニ基キテ發シタル命令ニ違背シタルトキ

二　公益ヲ害シ又ハ害スルノ虞アルトキ

市場主ニシテ第七條第一號又ハ第三號ニ該當シタルトキハ第二條ノ許可ハ其ノ効力ヲ失フ

第十四條　第二條、第五條第一項、第九條、第十條、第十一條ノ二ノ規定ニ違背シ若ハ第十二條ノ命令ニ違背シ又ハ檢査ヲ拒ミタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條第二項、第六條、第八條、第十一條ノ三ノ規定ニ違背シ若ハ第十一條、第十一條ノ三ノ帳簿書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス若ハ虚僞ノ記載ヲナシタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス第十一條ノ二ノ掲示ニ虚僞ノ記載ヲナシタル者亦同シ

前二項ノ罰則ハ法人ニ之ヲ適用ス

第十五條　市場主ハ代理人使用人其ノ他ノ從事者ニシテ本則ニ違背シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第十六條　本令ニ依リ知事ニ提出スヘキ書類ハ所轄町村役場及市役所ヲ經由スヘシ

附　則

第十七條　本令施行前知事ノ許可ヲ得テ市場ヲ開設シ現ニ其ノ營業ヲナス者ハ本令施行ノ日ヨリ一ケ

年間ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト同一ノ効力ヲ有ス
前項ノ期間經過後仍チ其ノ業務ヲ繼續セントスル者ハ其ノ期間滿了前本令ニ依リ知事ノ許可ヲ受ク
ヘシ
第十八條　本令ハ漁業組合及産業組合ニ於テ共同販賣ヲナスモノニハ之ヲ適用セス

福井縣　魚市場取締規則取扱手續

（大正三年三月訓令第四號）

第一條　郡市長ニ於テ魚市場取締規則第二條及第五條ニ依ル書類ヲ受理シタルトキハ縣廳ニ進達前之ヲ所轄警察署長又ハ分署長ヘ回送スヘシ
第二條　所轄警察署長又ハ分署長ニ於テ前條ノ書類ヲ受理シタルトキハ左ノ事項ヲ調査シ知事宛ノ調査書ヲ付シ之ヲ郡市長ヘ返送スヘシ
一　魚市場取締規則第七條第一號及第三號ノ事項
二　交通又ハ衞生上ニ於ケル障碍ノ有無
三　建設物ノ構造ニシテ危險又ハ公安ヲ害スルノ虞ナキヤ否ヤ
第三條　郡市長ハ左ノ事項ヲ調査シ其ノ意見ヲ副申スヘシ
一　魚市場取締規則第三條第三號、第五號、第六號、第七號、第九號ニ掲ケタル事項

二　魚市場ヲ設置スヘキ位置ノ適否
三　市場ヲ設置セントスル必要ナル理由設置ニ伴フ其ノ市町村及附近市町村ニ於ケル既設市場トノ利害關係
四　魚市場取締規則第九條ニ牴觸ノ有無
第四條　魚市場取締規則第六條ニ依リ檢査ヲ終リタルトキハ其ノ狀況ヲ具シ縣廳ニ報告スヘシ
第五條　郡市長ハ魚市場取締規則第八條ニ依ル屆書ヲ受理シタルトキハ事由ヲ具シテ進達スヘシ

山梨縣　食品市場取締規則

（明治三十年一月縣令第四號）

第一條　本縣ニ於テ食品市場（以下市場ト單稱スル）ト稱スルハ營業者申合セ一定ノ日時場所ニ於テ公ニ魚、鳥、獸肉並ニ蔬菜果物類ヲ賣買取引スル所ヲ云フ
第二條　市場ヲ設立セムトスルトキハ發起人又ハ總代人ヨリ左ノ事項ヲ具シ所轄警察官署ヲ經テ縣廳ヘ願出允許ヲ受クヘシ
一　市場設立ヲ要スル事由
二　市場位置及圖面
三　商品ノ種類

四　建物ヲ要スルモノハ其構造仕様書及圖面

五　市場組合規約書

第三條　允許ヲ得タル後前條第二號乃至第五號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ前項ノ手續ニ依リ願出
允許ヲ受クヘシ

第四條　市場組合規約書ニハ左ノ事項ヲ揭載スヘシ

一　市場ノ名稱並市場及事務所ノ位置

二　商品ノ種類

三　賣買取引ノ方法

四　市場開閉ノ日時及休廢ニ關スル事項

五　組合入退者ニ關スル事項

六　會議ニ關スル事項

七　組合役員ノ選擧及其任期並ニ權限ニ關スル事項

八　市場經營ニ關スル事項

九　違約者ニ關スル事項

十　其他市場組合ニ於テ必要トスル事項

第五條　市場設立ノ允許ヲ得タル日ヨリ正當ノ理由ナクシテ三ケ月以內ニ開始セス又ハ開始スルモ六
ケ月以上休場スルトキハ其ノ期限經過ノ日ヲ以テ允許ノ効ヲ失フモノトス

第六條　市場ヲ開始休場若ハ廢場セムトスル時ハ其ノ前日迄ニ所轄警察官署ヲ經テ縣廳ニ屆出ツヘ
シ

第七條　市場組合ニ於テ役員ヲ選擧シ又ハ改選シタルトキハ五日以內ニ所轄警察官署ヲ經テ縣廳ニ屆
出ツヘシ

第八條　市場ハ一ケ年間組合員ノ取扱ヒタル商品ノ種類、數量、價額表及組合經費ノ收支決算書ヲ調
製シ翌年一月限リ所轄警察官署ヲ經テ縣廳ニ差出スヘシ

第九條　市場ハ閉市後二時間以內ニ假設物ヲ撤去シ淸潔ニ掃除スヘシ

第十條　市場ハ場外ニ人ヲ出シ出品ノ强要ヲ爲スヘカラス

第十一條　市場ハ物品製作人又ハ物品所有者ノ行商ヲ妨害シ又ハ妨害セントスルノ行爲ヲ爲スヘカラ
ス

第十二條　市場ノ通路ニ車馬其他ノ物件ヲ橫ヘ又ハ商品ヲ羅列シ交通ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第十三條　魚腸等ノ如キ汚穢ノ物品ハ相當ノ容器ニ入レ臭氣ヲ發散セシメサル樣密閉スヘシ

第十四條　市場ニ於テ不熟又ハ腐敗ニ傾キタル物品ヲ賣買取引スヘカラス

第十五條　警察官吏ニ於テ前條ニ該當スル物品ナリト認メタルトキハ其賣買取引ヲ差止メ且ツ棄却ヲ
命スルコトアルヘシ

第十六條　市場ハ不正品ノ疑アル物品ト認メタル時ハ直ニ警察官吏ニ申告スヘシ

第十七條　本則ニ違反シ又ハ公共ノ安寧ヲ妨害スルノ虞アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲ス事アルヘシ

一　市場ノ禁止、停止又ハ移轉
二　市場役員ノ改選又ハ組合規約ノ變更
三　市場營業人ノ營業禁止又ハ停止

第十八條　第十二條、第十三條、第十四條ヲ犯シタルトキハ其營業者第二條、第六條、第七條、第九條第十條、第十一條、第十六條ヲ犯シタルトキハ市場組合代表者ヲ一日以上十日以下ノ拘留又ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十九條　既設ノ食品市場ハ本則施行ノ日ヨリ二ケ月以內ニ第二條ノ手續ニ依リ願出認可ヲ受クヘシ但シ其期間內ニ認可ヲ願出テサルトキハ市場タルノ効ヲ失フモノトス

靜岡縣　食品卸賣市場規則

（昭和四年三月十六日靜岡縣令第二一號）

第一條　本令ニ於テ市場ト稱スルハ魚類、肉類、鳥類、卵、蔬菜及果實ノ卸賣ヲナス爲開設スル市場ヲ謂フ

第二條　市場ヲ開設セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ分場ヲ設置セントスルトキ亦同シ

一　開設ヲ必要トスル理由
二　業務規程
三　事業計畫
四　取扱品目ニ付地方ニ於ケル集散及消費ノ狀況
五　開設者ノ住所、氏名及生年月日、法人ニ在リテハ其ノ定款及役員ノ住所氏名

第三條　左ニ揭クル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

一　市場ノ名稱
二　事務所ノ位置
三　取扱品目及其取扱方法
四　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ資格、員數其ノ他ノ制限
五　仲買人ノ資格、員數其ノ他ノ制限
六　市場ノ收受スル使用料、手數料及保管料竝ニ其ノ徵收方法
七　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ收受スル手數料及其ノ徵收方法
八　販賣ノ受託事務ノ處理方法ニ關スル事項
九　卸賣ノ業務ヲ爲ス者、仲買人又ハ賣買ニ參加スル者ヨリ徵スル保證金ニ關スル事項
十　開市ノ日、時限及定休日
十一　其ノ他業務上ニ必要ナル事項

市場ノ名稱中ニハ取扱品種ヲ示スヘキ文字ヲ使用スヘシ

第四條　事業計畫ニハ左ニ揭クル事項ヲ定ムヘシ

一　自ラ卸賣ノ業務ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨

二　市場ノ位置及用地ノ面積

三　建物及設備ノ種類、構造竝ニ汚物ノ處理方法

四　市場開設ニ要スル費用竝ニ其ノ財源及償却ニ關スル計畫

五　事務開始期日

事業計畫ニハ左ニ揭クル事項ヲ記載シタル書類、建物、設備ノ配置及坪數ヲ記入シタル圖面竝ニ市場附近ノ見取圖ヲ添附スヘシ

一　市場取扱品目ニ付一ケ年間ニ於ケル取扱見込數量

二　市場ノ收支概算

三　工事ノ着手及竣工ノ豫定期日

第五條　市場ノ位置及設備ハ概ネ左ノ標準ニ據ルヘシ

一　位置ハ御用邸、社寺、官公署、學校、病院又ハ公園ニ接近セス衞生上害ナク市場ノ取引上便利ナル場所ヲ撰フコト

二　建物ニハ適當ナル採光換氣ノ設備ヲ爲スコト

三　場内ニ洗滌用トシテ飮料ニ適スル水ヲ備フルコト

四　汚物容器及汚水溝渠又ハ汚水溜ヲ設ケ其ノ構造ハ不滲透質ノ材料ヲ用ヒ且覆蓋ヲ施スコト

五　魚市場ニアリテハ特ニ知事ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外場内ニ土間ヲ設ケ其ノ構造ハ不滲透質ノ材料ヲ用ヒ厚サ五センチメートル以上トシ適當ノ勾配ヲ附スルコト尙土間ニハ陳列臺ヲ設ケ各臺ノ間ニハ通路ヲ設クルコト

六　蠅ノ驅除其ノ他衞生上適當ナル設備ヲナスコト

七　交通上適當ナル設備ヲナスコト

八　道路交通ノ妨害トナラサル樣一定ノ諸車置場ヲ設置スルコト

知事公益上必要アリト認ムルトキハ前項ノ外特ニ施設ヲ命シ又ハ既設設備ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第六條　知事公益上必要アリト認ムルトキハ市場ノ位置ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第七條　市場ニ關スル許可其ノ他ノ處分ハ相續人又ハ合併後存續スル法人若ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ニ對シ効力ヲ有ス知事ノ認可ヲ得タル讓受人ニ對シ亦同シ

第八條　市場ノ設備ハ竣工後知事ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第九條　開設者ニ在ラスシテ卸賣ノ業務ヲ爲サントスル者ハ開設者ノ同意書ヲ添ヘ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第十條　市場ニ於テ爲ス賣買ニ付テハ糶賣ノ方法ニ依ルヘシ但シ業務規程ノ定ムル特別ノ事情アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

市場ノ賣買取引ニハ市場出入者ノ了解シ得サルカ如キ暗號ヲ用フルコトヲ得ス

第十一條　開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ正當ノ事由ナクシテ販賣ノ委託ノ引受又ハ購買ノ參加ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ市場內又ハ其ノ附屬地ニ在ル物ニ非サレハ市場ニ於テ賣買ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムル場合ヲ除クノ外其ノ業務ヲ行フ市場ニ於テ自己ノ取扱品目ノ部類ニ屬スル物ノ購買ニ參加スルコトヲ得ス

第十四條　開設者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一　業務規程ヲ以テ定ムル使用料及保管料ヲ除クノ外如何ナル名義ヲ以テスルモ其ノ業務ニ關シ報償ヲ受ケサルコト

二　市場內外ノ淸潔ヲ保持スルコト

第十五條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一　業務規程ヲ以テ定ムル手數料及保管料ヲ除クノ外如何ナル名義ヲ以テスルモ其ノ業務ニ關シ報償ヲ受ケサルコト

二　腐敗シタル物又ハ衞生上危險ノ虞アル物ヲ取引セサルコト

三　魚類ハ容器ニ納ムモノヲ除クノ外直接土間ニ置キ又ハ陳列臺以外ノ場所ニ於テ之ヲ取扱ハサルコト但シ知事ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

四　業務ヲ營ム場所ノ淸潔ヲ保持スルコト

五　委託品處分ノ結果ハ直ニ之ヲ委託者ニ通報スルコト

第十六條　開設者ハ取引ノ都度品目毎ニ賣買價格及其ノ取引高ヲ次ノ取引ノ開始ニ至ル迄ノ間揭示スヘシ

第十七條　開設者ハ業務規程中取引ニ關スル事項ヲ市場內公衆ノ見易キ場所ニ揭示スヘシ

第十八條　左ニ揭クル事項ハ事實發生後十四日以內ニ知事ニ屆出ツヘシ

一　業務ノ開始

二　開設者ノ死亡又ハ法人ニ在リテハ其ノ解散

三　法人ノ定款及役員ノ變更

四　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ死亡又ハ廢業

五　相續又ハ法人ノ合併ニ因ル市場ノ繼承

六　市場ノ閉鎖

前項第二號ノ法人ノ解散ノ屆出ハ其ノ淸算人之ヲ爲シ第二號又ハ第四號中死亡ノ屆出ハ戶籍法ニ依ル屆出義務者又ハ開設者之ヲ爲スヘシ

第十九條　定休日以外ニ於テ業務ヲ休止セントスルトキハ開設者ハ豫メ理由ヲ附シ知事ニ屆出テ同時ニ關係者ニ告知スヘシ

第二十條　開設者ハ每年一年間ニ於ケル左ノ事項ヲ翌年二月末日迄ニ知事ニ屆出ツヘシ但シ別ニ決算

期ノ定メアルモノハ其ノ期間終了後二月内ニ之ヲ爲スヘシ

一　財産目錄、貸借對照表、損益計算書

二　事業成績

第二十一條　市場ニハ左ノ帳簿ヲ備ヘ賣買取引ニ關スル事項ヲ其ノ都度之ニ記載スヘシ

一　總勘定元帳

二　日記帳

三　現金出納簿

四　荷受帳

五　賣掛庭帳

六　荷主口座帳

七　仲買人口座帳

八　相場控帳

九　市場仲買人名簿

第二十二條　本令ニ基ク申請報告又ハ届ハ書面ヲ以テ之ヲ爲シ市役所又ハ町村役場ヲ經由スヘシ

等二十三條　知事必要アリト認ムルトキハ當該官吏又ハ吏員ヲシテ開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ業務及之ニ關スル帳簿、財産其ノ他監督上必要ナル檢査ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第二十四條　知事公益上必要アリト認ムルトキハ業務規程ノ變更ヲ命シ又ハ業務執行ニ關シ監督上必

要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ知事ハ市場開設ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一　業務開始ノ期日ヲ過クルモ業務ヲ開始セサルトキ

二　休業六月以上ニ及ヒタルトキ

三　三月以上全ク賣買取引ナキトキ

四　賣買取引ノ額寡少ニシテ市場開設ノ價値ナシト認ムルトキ

五　本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ニシテ情重キトキ

六　業務規程ニ違反シタルトキ

七　公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキ

第二十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ知事ハ卸賣業務ノ許可ヲ取消シ又ハ停止スルコトアルヘシ

一　本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ニシテ情重キトキ

二　業務規程ニ違反シタルトキ

三　公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキ

第二十七條　開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ科料ニ處ス

一　第二條第二項ニ違反シタルトキ

二　業務規程ニ違反シタルトキ

三　第八條又ハ第十條乃至第十五條ニ違反シタルトキ

四　第十七條乃至第二十一條ノ掲示、届出告知又ハ記載ヲ怠リ又ハ僞リタルトキ

五　第二十三條ノ規程ニ依ル檢査ヲ受クル場合ニ於テ職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ忌避シタル者又ハ檢査ノ際當該官吏吏員ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚僞ノ陳述ヲ爲シタルトキ

第二十八條　許可ヲ受ケスシテ市場ヲ開設シ若ハ卸賣ノ業務ヲ營ミタル者又ハ業務ノ停止中業務ヲ爲シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條　本令ニ規定スル罰則ハ開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居人又ハ使用人ノ行爲ニシテ市場業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第三十條　法人ノ事業ニ關シ其ノ代表者又ハ使用人本令ニ違反シタルトキハ本令ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス

第三十一條　故ナク市場ノ取引ヲ妨害シ若ハ市場ノ秩序ヲ紊ルノ行爲アリタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第三十二條　產業組合ノ組合員ニシテ當該組合ノ開設スル市場ニ於テ卸賣ノ業務ヲ爲ストキハ第九條第十五條第五號、第十六條、第十八條第一項第三號、第四號、第二十一條及第二十六條ヲ適用セス

附　則

第三十三條　本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十四條　本令施行ノ際現ニ市場ヲ開設スル者ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但シ其ノ效力ハ本令施行ノ日ヨリ三年トス

前項但書ノ期間ハ申請ニ依リ之ヲ更新許可スルコトヲ得

第一項ノ市場ハ本令施行ノ日ヨリ三月以內ニ業務規程ノ許可ヲ出願スルニ非サレハ將來ニ其ノ效力ヲ失フ

第一項ノ市場ニシテ第五條第一項ノ標準ニ適合セサルトキハ第一項ノ期間內ニ適合セシムヘシ但シ其ノ期間內ト雖第五條第二項及第六條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第三十五條　本令施行ノ際前條第一項ノ市場ニ於テ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但シ其ノ效力ハ本令施行ノ日ヨリ一年トス

前項ノ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ三ケ月以內ニ開設者ノ同意書ヲ添付シ其ノ住所氏名ヲ知事ニ届出ッヘシ

愛知縣　食品市場規則

（大正十五年三月三日縣令第三八號）
（大正十五年七月縣令第百三一號改正）

第一條　本則ニ於テ市場ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ但シ他ノ法令ニ依ル市場又ハ

緣日夜店其他之ニ類スルモノハ之ヲ包含セス

一　一定ノ日時ニ當業者同時ニ集合シ競賣若ハ相對賣ノ方法ニ依リ食料品ノ取引ヲ爲ス市場

二　販賣人集合シ正札其ノ他ノ方法ニ依リ豫メ定メタル價額ヲ以テ公衆ニ對シ主トシテ食料品ノ販賣ヲ爲ス市場

第二條　市場ヲ開設セントスルモノハ左ノ事項ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

一　開設ヲ要スル理由

二　開設者ノ住所、氏名、生年月日、法人又ハ組合ニ在リテハ其ノ名稱、定款又ハ規約竝代表者ノ住所氏名、生年月日

三　市場ノ位置、面積及附近二十町以內ノ略圖

四　業務規程

五　市場ノ構造、設備ニ關スル仕樣書竝設計圖

六　市場竣工期限及存立期間

七　事業目論見書及資本額

八　市場ノ敷地又ハ建物カ他人ノ所有ナルトキハ其所有者ノ承諾書

九　開設者法人又ハ組合ナルトキハ決議ヲ證スル書類

第三條　市場開設ノ許可ヲ受ケタルモノ前條第三號乃至第六號ノ事項ヲ變更セムトスル時ハ許可ヲ受ケ又前條第二號、第七條第八號ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ五日以內ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ開設者法人又ハ組合ナルトキハ決議ヲ證スル書類ヲ添付スヘシ

第四條　市場ハ十ケ年以內ノ期間ヲ以テ之ヲ許可ス期間滿了後更ニ之ヲ繼續セムトスルトキハ期間滿了六十日前ニ出願シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第五條　業務規程ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　市場ノ名稱

二　市場及事務ノ位置

三　市場ノ開閉日時及休場ニ關スル事項

四　取扱商品ノ種類

五　商品ノ取扱方法

六　商品ノ取引方法

七　代金及商品ノ受渡方法

八　手數料又ハ使用料ノ定額及徵收方法

九　歩戻金、奬勵金等ヲ交付スルモノニ在リテハ其ノ歩合及支拂方法

十　買受人ヨリ保證金ヲ徵スルモノニ在リテハ其ノ金額及保管竝處分ノ方法

十一　市場內ノ秩序維持及清潔保持ノ方法

十二　以上ノ外市場ニ必要ナル事項

第六條　市場ノ名稱中ニハ市場ナル文字ヲ用フヘシ

第七條　市場ニハ其ノ名稱ヲ記載シタル標柱又ハ標札ヲ設クヘシ

第八條　市場ニ關スル設備竣工シタルトキハ知事ニ届出檢査ヲ受クヘシ檢査前ニ於テハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第九條　市場開設ニ關スル權利ハ他人ニ讓渡若ハ貸與スルコトヲ得ス家督相續ニ依リ相續人市場開設ニ關スル權利ヲ繼承セムトスルトキハ戸籍謄本ヲ添ヘ繼承ノ許可ヲ受クヘシ

第十條　共同經營ノ市場ニ於ケル開設中ノ異動ハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　市場開設者及市場開設者タル法人又ハ組合ノ代表者自ラ其ノ市場ヲ管理セサル場合ハ別ニ管理人ヲ定メ知事ニ届出ツヘシ其ノ變更シタルトキ亦同シ

第十二條　市場ニ於テハ業務規程ニ定メタル品種ノ外賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條　業務規程ハ市場内公衆ノ見易キ場所ニ掲示スヘシ

第十四條　第一條第二號ニ該當スル市場ニ於テ販賣スル商品ニハ正札其ノ他適當ノ方法ヲ以テ必ス價格ヲ表示スヘシ

第十五條　市場閉市シタルトキハ假設物ヲ撤去シ清潔ニ掃除シ汚穢物ハ相當ノ容器ニ入レ臭氣ヲ發散セシメサル樣密閉スヘシ

第十六條　市場ノ管理ヲ爲スヘキ者ハ毎開市日ニ出場シテ總テノ取締ニ任スヘシ

第十七條　左ノ各號ノ事項ハ事實發生後五日以内ニ知事ニ届出ツヘシ但シ第三號ノ場合ニハ戸籍法ニ依ル届出義務者又ハ清算人ヨリ届出ツヘシ

一　業務ノ開始

二　業務規程以外ノ諸規程ノ制定及變更

三　開設者ノ死亡、失踪宣告又ハ組合若ハ法人ノ解散

第十八條　市場開設者ハ毎年二月末日迄ニ前一年間ニ於ケル業務ノ概況ヲ知事ニ報告スヘシ

第一條第二號ニ該當スル市場ノ開設者ハ前項ノ外毎月十日迄ニ前月中販賣シタル商品ノ數量、價額ヲ知事ニ報告スヘシ會社組織ニ依ル市場ノ開設者ハ前二項ノ報告ノ外毎期ノ營業報告書ヲ知事ニ提出スヘシ

第十九條　知事必要アリト認ムルトキハ命令ヲ發シ又ハ當該官吏吏員ヲシテ臨檢ヲ爲シ商品及營業用帳簿其ノ他ノ物件ヲ檢閲セシムルコトアルヘシ

第二十條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市場開設許可ノ效力ヲ失フモノトス但シ特別ノ事由ニ依リ豫メ知事ノ認可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニアラス

一　第二條第六號ノ竣工期限ヨリ六箇月以内ニ業務ヲ開始セサルトキ

二　休場一箇年ニ及フトキ

第二十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市場ヲ停止シ又ハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一　本則又ハ本則ニ基キテ發シタル命令若ハ許可ニ附シタル條件ニ違背シタルトキ

二　業務規程ニ違背シタルトキ

三　久シキニ亘リ休場シ又ハ賣買取引額寡少ナルトキ

四　公安又ハ衞生ヲ害スル虞アリト認メタルトキ

第二十二條　市場取扱商品ニシテ六箇月以上全ク賣買取引ナキモノ又ハ其ノ額寡少ナルモノニ對シテハ其ノ取扱ヲ廢止セシムルコトアルヘシ

第二十三條　市場ニ於テ賣買ニ參加スル者ハ業務規程ニ定ムル事項ヲ遵守スヘシ

第二十四條　市場ニ於テ賣買取引ニ參加スル當業者ニシテ本則及本則ニ基キテ發シタル命令ニ違背シ又ハ業務規程ニ從ハサルトキハ所轄警察官署長ハ市場內ニ於テ營業ヲ爲スコトヲ停止シ若ハ退場ヲ命スルコトアルヘシ

第二十五條　市場ヲ廢止セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二十六條　本則ニ依リ提出スル書類ハ總テ町村役場又ハ市役所及所轄警察官署ヲ經由スヘシ

第二十七條　許可ナクシテ市場ヲ開設シ又ハ停止中業務ヲ爲シタルモノハ拘留又ハ科料ニ處ス

第三十八條　第三條、第十條ニ違背シ又ハ第十九條ニ基ク命令處分ニ違背シ若ハ臨檢檢閱ヲ拒ミタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第七條、第八條、第十一條乃至第十八條、第二十五條ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス

第二十九條　市場開設者未成年者又ハ法人ナルトキハ本則又ハ本則ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人又ハ法人ノ代表者ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限リニアラス

第三十條　市場開設者ハ從業者同居ノ戶主家族又ハ雇人ニシテ其ノ業務ニ關シ本則又ハ本則ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第三十一條　本則ハ大正十五年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十二條　明治四十二年九月縣令第五十八號市場取締規則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十三條　本則施行ノ際明治四十二年九月縣令第五十八號市場取締規則ニ依リ許可ヲ受ケ現ニ第一條ニ該當スル市場ヲ開設スル者ハ本則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

前項市場ハ本則施行ニヨリ其ノ存立期間ヲ變更セス但シ其ノ存立期間ハ本則施行ノ日ヨリ十年ヲ超過スルモノニ在リテハ本則施行ノ日ヨリ十年間トス

愛知縣　食品市場規則取扱手續

（大正十五年七月一日訓令第六五號）

第一條　本手續ニ於テ規則ト稱スルハ食品市場規則ヲ謂フ

第二條　市町村長及警察官署長ハ左ニ掲クル願届報告ヲ受理シタルトキハ之ヲ調査シ意見ヲ副申スヘシ

一　規則第二條乃至第四條及第九條ノ許可願

二　規則第十條、第二十條但書及第二十五條ノ認可願
三　規則第三條、第十一條ノ届及第十八條第一項ノ報告
第三條　規則第二條ノ願ニ對スル副申ニハ左ノ事項ヲ具スヘシ
市町村長
一　市場ニ於テ取扱ハムトスル品目ノ其ノ地方ニ於ケル需給並集散狀況
二　開設セムトスル市町村ノ現住戸數及人口
三　市場一箇年ノ商品取扱見込高（種類別數量及價額）
四　市場ノ組織竝其ノ資本金額ハ經營上適當ナリヤ否ヤ
五　市場開設ノ許否ニ關スル意見
六　其ノ他詮議上參考トナルヘキ事項
警察官署長
一　最寄既設市場トノ距離竝關係
二　市場ノ位置、敷地、面積、構造ハ交通衞生風敎上支障ナキヤ否ヤ
三　附近居住者ハ市場開設ニ對シ異議ナキヤ否ヤ異議アルトキハ其ノ適否
四　開設者、開設者法人又ハ組合ナルトキハ其ノ代表者ノ職業、素行、資產、信用、前科及適否
五　市場開設ノ許否ニ關スル意見
六　其ノ他詮議上參考トナルヘキ事項

第四條　市場ノ設備ハ概ネ左ノ標準ニ依ラシムヘシ
一　建物ハ採光換氣ニ適シ且ツ非常時ニ對スル避難裝置竝場內ノ秩序整理ニ必要ナル設備ヲ有スルコト
二　場內土間、汚水溝渠及汚水溜等ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ築造シ且ツ覆蓋ヲ施スコト
三　便所及塵芥場ヨリ相當ノ距離ヲ置キ適當ノ區劃ヲ施スコト
四　市場建物ト道路境界線トノ間ハ九尺ノ間隔ヲ置クコト
第五條　警察官署長規則第八條ニ依ル届書ヲ受理シタルトキハ檢查ヲ爲シ支障ナシト認ムルトキハ使用ヲ許シ其ノ旨書類進達ト同時ニ報告スヘシ
第六條　第十八條第一項ニ依ル業務概況報告ハ第一號樣式ニ同條第二項ニ依ル販賣高報告ハ第二號樣式ニ據ラシムヘシ
第七條　市町村長及警察官署長ハ隨時其ノ管內ニ於ケル市場ニ付規則違背ノ事實ナキヤ否ヤヲ查察シ取締上必要ナル處理ヲ爲シ重要ナル事項ニ付テハ速ニ其ノ顚末ヲ報告スヘシ
第八條　市町村長及警察官署長ニ於テ規則第二十條、第二十一條及第二十二條ニ該當スル事實ヲ認知シ又ハ第十九條ニ依ル命令ヲ爲ス必要アリト認ムルトキハ其ノ事實ヲ詳具シ速ニ報告スヘシ第二十四條ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ亦同シ
第九條　町村役場市役所及警察官署ニ於テハ第三號樣式ニ依ル市場臺帳ヲ備ヘ異動アル毎ニ之ヲ整理スヘシ

附　則

第十條　本手續ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條　大正十五年三月三日訓令第九號食品市場取扱手續ハ本手續施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス（様式略）

滋賀縣　市場取締規則

（明治十九年一月甲第三號）

第一條　市場ヲ分ケテ左ノ三種トス

第一種　常ニ日時及場所ヲ定メ賣買主ノ中間ニ立チ物品ノ競賣ヲ爲スモノ

第二種　常ニ日時及場所ヲ定メ物品ノ出賣ヲ爲スモノ

第三種　臨時前二種ノ市場ヲ開設スルモノ

但シ營業ニアラサル自家ノ物品ヲ一時競賣スルモノハ此限ニアラス

第二條　第一種ノ市場ヲ開設セントスルモノハ左ノ各項ニ據リ規程ヲ定メ縣廳ノ許可ヲ受クヘシ但シ規程ヲ變更セントスルトキハ縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

一　賣品ノ種類及取扱手續

一　開市ノ日時並ニ市場ノ位置

一　物品受渡順序

一　口錢其他手數料等ノ定額

一　賣上金ノ收入及荷主ヘ勘定ノ手續

一　前各項ノ外市場ニ關スル規程

第三條　第二種ノ市場ヲ開設セントスルモノハ前條第一項、第二項、第四項（若シアラハ）第六項ニ據リ規程ヲ定メ縣廳ヘ願出許可ヲ受クヘシ

第四條　第三種ノ市場ヲ開設セントスルモノハ其位置及開市ノ時日並ニ賣品ノ種類等ヲ詳記シタル書面ヲ以テ所轄警察署又ハ分署ヘ願出許可ヲ受クヘシ

第五條　第一種及第二種ノ市場開設ノ許可ヲ得又ハ廢業シタル時ハ其旨所轄警察署又ハ分署ヘ届出ツヘシ

第六條　同町村及隣接町村ニ於テ同性質ノ市場ヲ開設スルモノニシテ營業上保護ニ必要ト認ムルトキハ特ニ免許區域ヲ指定シ又ハ双方ヘ規約ノ締結ヲ命スルコトアルヘシ若シ其ノ命ヲ拒ミ又ハ遲延スルトキハ其一方若クハ双方ノ市場ヲ停止スヘシ

第七條　第二種ノ市場開設スルニ多人數組合若クハ數町村組合スル時ハ相當ノ役員ヲ定メ市場ニ關スル取締ノ責ニ任セシメ且其住所氏名ハ縣廳及所管警察署又ハ分署ヘ届出ツヘシ

第八條　第一種ノ市場ヲ開設スルモノハ毎年一月中其前年分市場ノ景況及賣上金高、口錢手數料等ノ明細表ヲ作製シ縣廳ヘ報告スヘシ

第九條　第一種、第二種ノ市場ヲ廢業シタルトキハ其旨縣廳ヘ届出ツヘシ

第十條　此規則第二條、第三條、第四條、第五條ニ違背シタルモノハ三十日未滿ノ拘留又ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス

京都府市場規則

（昭和三年七月二十八日京都府令第八八號）

第一條　本令ニ於テ市場ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ但シ緣日夜店其ノ他之ニ類スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　一定ノ日時ニ當業者同時ニ集合シ競賣若ハ相對賣ノ方法ニ依リ主トシテ食品ノ取引ヲ爲ス場所

二　販賣人集合シ公衆ニ對シ主トシテ食品ノ販賣ヲ爲ス場所

第二條　市場ヲ開設セムトスル者ハ左ニ揭クル事項ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

一　名稱

二　位置竝面積及附近二百米突以內ノ圖面

三　設備構造仕樣書及圖面

四　市場ノ竣工期限

五　一ケ年間ニ取扱フヘキ商品ノ種類及其ノ豫想數量竝價額

六　業務規程

七　設置ノ理由

八　開設者ノ住所氏名、生年月日及納稅額ヲ證明スル書面（法人又ハ組合ニ在リテハ其ノ名稱、定款寫又ハ規約ノ寫竝代表者ノ住所氏名、生年月日及市場開設ニ關スル決議ヲ證スル書面）

九　市場ノ敷地又ハ建物カ他人ノ所有ニ係ルトキハ其ノ所有者ノ承諾書

十　市場管理者ノ住所氏名及生年月日

第三條　左ニ揭クル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

一　市場ノ名稱、位置及事務所ノ所在地

二　市場開閉ノ日時及休業日

三　取扱品目

四　取引方法

五　手數料、使用料、保管料及保證金等ノ金額竝其ノ徵收管理及處分方法

六　商品ノ管理及處分方法

七　代金受渡方法

八　市場管理者ノ資格權限及其ノ選任、解任ニ關スル規定

九　市場內ノ秩序維持及清潔保持ノ方法

十　其ノ他必要ナル事項

第四條　市場開設ノ許可ヲ受ケタル者市場ノ位置、面積、設備構造、竣工期限、業務規程又ハ市場管理者ヲ變更セントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第五條　市場ノ位置、構造及設備ハ法例ニ別段ノ規定アルモノヽ外左ニ掲クル制限ニ依ルヘシ

一　位置ハ衞生及交通上支障ナキ場所ニシテ商品ノ需給ニ便ナル地點タルコト

二　建築物ノ軒先又ハ突出部及墻壁其他ノ工作物ハ道路敷地ノ境界線ヨリ三米突以上後退セシムルコト

三　建築物ハ屋蓋ヲ高クシ二重屋根ト爲シ空氣ノ流通及採光ニ便ニシ小賣商品ニハ陳列臺ヲ設ケ且食品及其ノ置場ハ光線ノ直射ヲ避ケシムルコト

四　場内通路ノ幅員ハ三米突以上ト爲シ屋蓋ヲ設クルコト

五　場内ノ床、通路、汚水溝渠及汚水溜等ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ築造シ床及溝渠ニハ適當ノ勾配ヲ附シ溝渠、汚水溜ニハ常ニ取外シ得ヘキ金屬製ノ覆蓋ヲ施シ且汚水ヲ場外一定ノ場所ニ流出シ得ル設備タルコト

六　魚市場、魚類賣場及蔬菜賣場等ニ在リテハ其ノ腰ヲ床面ヨリ高サ一米突以上不滲透質ノ材料ヲ以テ築造シ又ハ「モルタル」等ノ耐水材料ヲ以テ被覆スルコト

七　水道、井戸其ノ他適當ナル給水設備ヲ爲スコト

八　防火器ノ設備ヲ爲スコト

九　第一條第一號ノ市場ニ在リテハ倉庫ヲ附設シ冷藏ノ設備ヲ爲スコト

十　商品ノ搬入搬出ニ使用セラルヽ諸車ノ置場又ハ牛馬ノ繫留場ヲ設クルコト

十一　適當數ノ便所ヲ賣場ヨリ四米以上ノ距離ニ別棟トシテ設置シ之ニ防臭防蠅ノ設備ヲ施スコト

但シ水槽便所ト爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ規定スル制限ノ外構造及設備ニ關シ必要アリト認ムルトキハ別段ノ施設ヲ命スルコトアルヘシ

第六條　市場ノ設備竣工シタルトキハ其ノ旨届出テ知事ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ開設者ハ直ニ之ヲ知事ニ届出ツヘシ

一　市場ヲ開始シタルトキ

二　市場ヲ廢止シタルトキ

三　第二號、第八號ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキ

市場開設者死亡シタルトキハ法定届出義務者ニ於テ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

臨時開市又ハ休業セムトスルトキハ豫メ市場ニ其ノ旨ヲ掲示シ且事由ヲ具シテ知事ニ届出ツヘシ

第八條　知事ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ市場ノ移轉、改築修繕又ハ設備構造若ハ業務規程ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市場開設ノ許可ヲ取消シ又ハ業務ノ停止ヲ命スルコトアルヘ

シ

一　竣工後三ケ月内ニ市場ヲ開始セス又ハ引續キ六ケ月以上休業シタルトキ

二　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ許可ノ條件ニ違背シタルトキ

三　業務規程ニ違背スル行爲アリタルトキ

四　其ノ他公益上必要アリト認ムルトキ

第十條　市場管理者ハ左ノ各號ノ事項ヲ遵守スヘシ

一　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス定額以上ノ手數料又ハ使用料ヲ徵收セサルコト

二　正當ノ事由ナクシテ取引ヲ拒絶、强制又ハ制限セサルコト

三　取引商品ノ新鮮純良ヲ期スルコト

四　市場ノ内外ハ常ニ掃除シ清潔ヲ保持スルコト

五　第一條第二號ノ市場ニ於テハ度量衡器ヲ常置シ購買者ノ自由使用ニ供セシムルコト

六　第一條第一號ノ市場ニ在リテハ其ノ日ノ賣買取引ニ係ル主要品目ノ出來相場ヲ卽日市場内見易キ場所ニ掲示スルコト

七　食品ノ販賣業者ニハ服裝ヲ清潔ニ保持セシムルコト

八　市場内ニ存スル建物ハ監視用ニ供スルモノヲ除クノ外之ヲ住居ノ用ニ供セシメサルコト

九　食品、食品容器及陳列臺ノ洗滌ニハ水道水又ハ試驗ヲ受ケタル飮用適水ヲ使用セシムルコト

十　汚物ハ一定ノ容器ニ入レ臭氣ノ發散セサル裝置ヲ爲シ每日市場閉鎖後遲滯ナク取捨ツルコト

第十一條　市場管理者ハ一定ノ帳簿ヲ備ヘ販賣人ノ住所氏名其ノ取扱品目竝每日其ノ取引ニ係ル商品ノ種類、數量及價額ヲ記載スヘシ

第十二條　市場管理者ハ每年一月末日迄ニ前一ケ年間ニ於ケル取扱商品ノ種類、數量、價額、手數料使用料額、取引狀況及收支計算書並一月末日現在ニ於ケル仲買人取引參加者數又ハ販賣業者數調書ヲ添ヘ知事ニ届出ツヘシ但シ決算期アルモノハ其ノ決算翌月末日迄ニ届出ツルコトヲ得

第十三條　當該官吏ハ市場ニ臨檢シ營業ニ關スル書類、帳簿等ヲ檢査スルコトアルヘシ

第十四條　第二條ニ依リ許可ヲ受ケタル市場ハ相續ニ因リ營業ヲ繼承スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ相續人ヨリ戸籍謄本ヲ添ヘ遲滯ナク知事ニ届出ツヘシ

第十五條　市場ニ於テ賣買取引ニ參加スル者及販賣業者ハ業務規程ニ定ムル事項ヲ遵守スヘシ

第十六條　本令ニ依リ提出スル書類ハ總テ市場所在地ノ所轄警察署ヲ經由スヘシ

第十七條　市場ニ於テ賣買取引ニ參加スル者及販賣業者ニシテ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違背シ又ハ業務規程ニ從ハサルトキハ所轄警察署長ハ市場内ニ於テ營業ヲ爲スコトヲ禁止若ハ停止シ又ハ退場ヲ命スルコトアルヘシ

第十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

一　許可ヲ受ケスシテ市場ヲ開設シタル者

二　第十三條ノ臨檢ヲ拒ミタル者

三　第九條又ハ第十七條ノ處分ニ違背シタル者

第十九條　第四條、第六條、第七條、第十條乃至第十二條、第十四條及第十五條ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス

第二十條　市場開設者及市場管理者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本令ノ罰則ハ之ヲ其ノ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　市場開設者法人又ハ組合ナルトキハ本令ノ罰則ハ之ヲ其ノ代表者ニ適用ス

第二十二條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十三條　本令施行ノ際現ニ業務ヲ行フ市場ニシテ第一條第二號ニ該當スルモノニ付テハ其ノ開設者ハ本令施行ノ日ヨリ二ケ月內ニ第二條第一號乃至第三號、第五號乃至第八號及第十號ノ事項ヲ屆出ツヘシ

前項ノ屆出アリタルトキハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第二十四條　本令施行ノ際現ニ業務ヲ行フ市場ニシテ第一條第一號ニ該當スルモノニ付テハ其ノ開設ハ本令施行ノ日ヨリ一ケ月內ニ第二條第一號乃至第三號、第五號乃至第八號及第十號ノ事項ヲ具シ

京都府　市場規則取扱手續

（昭和三年七月二十八日京都府訓令第二六號）

第一條　本手續ニ於テ規則ト稱スルハ市場規則ヲ謂フ

第二條　警察署長ハ規則第二條、第四條及第二十四條ノ願書ヲ受理シタルトキハ意見ヲ副申スヘシ

第三條　規則第二條ノ願ニ對スル副申ニハ左ノ事項ヲ具スヘシ

一　市場ニ於テ取扱ハムトスル品目ノ其ノ地方ニ於ケル需給竝集散狀況

二　開設セムトスル市町村ノ現住戶數及人口

三　市場一ケ年ノ商品取扱見込高（種類別數量及價額）

四　市場ノ組織竝資本金額ハ經營上適當ナリヤ否ヤ

五　最寄既設市場トノ距離

六　市場ノ位置、敷地、面積、構造ハ交通、衞生、風敎上支障ナキヤ否ヤ

七　附近居住者ハ市場開設ニ對シ異議ナキヤ否ヤ異議アルトキハ其ノ適否

八　開設者（開設者法人又ハ組合ナルトキハ其ノ代表者）ノ職業、素行、資產、信用、前科ノ有無及適否

九　市場開設ノ許否ニ關スル意見

十　其ノ他詮議上參考トナルヘキ事項

第四條　警察署長規則第六條ノ認可申請ヲ受理シタルトキハ意見ヲ附シ直ニ進達スヘシ

第五條　警察署長ハ隨時其管内ニ於ケル市場ニ付規則違反ノ事實ナキヤ否ヤヲ査察シ取締上必要ナル處理ヲ爲シ重要ナル事項ニ付テハ速ニ其ノ顚末ヲ報告スヘシ

第六條　警察署ニ於テハ左ノ様式ノ市場臺帳ヲ備ヘ異動アル毎ニ之ヲ整理スヘシ

（様式）市場臺帳

市場ノ名稱						
市場幷事務所ノ位置						
開設許可年月日						
開設者ノ住所氏名生年月日						
市場管理者ノ住所氏名、生年月日						
取扱品目						
手數料金額						
其ノ他						

備考　業務規程ヲ添付スヘシ

大阪府　市場取締規則

（改正　昭和二年五月二十三日大阪府令第五十八號
昭和五年六月三十日大阪府令第三十七號）

第一條　本令ニ於テ市場ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ

一　場屋ヲ設ケ又ハ場屋ヲ設ケサルモ區劃シタル地域ニ於テ毎日又ハ定期ニ多數ノ需要者及供給者來集シテ商品ノ賣買交換ヲ行フ場所

二　十人以上ノ營業者一場屋又ハ區劃シタル地域ニ於テ主トシテ穀物食糧品ノ販賣ヲ行フ場所但シ營業者十人未滿ナル場合ト雖モ十店舗以上存スルトキハ十人以上ノ營業者アルモノト看做ス

第二條　市場ヲ開設セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

一　名稱

二　位置及附近五丁以内ノ圖面

三　面積

四　設備構造仕様書及圖面

五　取引商品ノ種類

六　開市日休業日及市場ノ開閉時刻

七　市場規則又ハ市場規約

八　一箇年間ニ取扱フヘキ商品ノ豫想數量及價格
九　市場竣工期限及存立期間
十　設置ノ理由
十一　市場管理者ノ住所氏名年齡

第三條　市場規則又ハ市場規約ニハ第一條第一號ノ市場ニ在リテハ左記第一號乃至第十三號ノ事項第一條第二項ノ市場ニ在リテハ第一號乃至第三號、第五號、第八號乃至第十三號ノ事項ヲ記載スヘシ

一　市場ノ名稱竝市場及事務所ノ所在地
二　市場開閉日時及定休日
三　取扱商品ノ名稱
四　商品ノ取扱方法
五　手數料、使用料、保管料及保證金等ノ金額並其ノ徵收管理及處分方法
六　商品ノ管理及處分方法
七　代金受渡方法
八　市場內ノ秩序維持及淸潔維持ノ方法
九　加入及脫退ニ關スル規定
十　違約者處分ニ關スル規定
十一　會議ニ關スル規定
十二　市場管理者ノ資格權限及其ノ選任竝解任ニ關スル規定
十三　規則又ハ規約變更ニ關スル規定

二　個人經營ニ係ルモノハ前項第九號以下ヲ除ク

第三條ノ二　市場ノ開設ハ左ノ場合之ヲ許可セス

一　開設者不適當ト認メタルトキ
二　位置不適當ト認メタルトキ
三　土地ノ狀況ニヨリ其ノ必要ヲ認メサルトキ但特別ノ事情アルトキハ此限リニ在ラス
四　既設市場トノ距離五丁以內ナルトキ

五　其ノ他公益ヲ害スル虞アリト認メタルトキ

第四條　市場開設ノ許可ヲ受ケタル者第二條第一號乃至第七號及第十一號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ理由ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第五條　市場ノ位置構造及設備ハ左ノ標準ニ據ルヘシ

一　位置ハ衞生、交通等ノ支障ナキ場所ニシテ商品ノ需給ニ至便ナル地點タルコト
二　道路ニ面シテ販賣口ヲ有スルモノハ道路境界ヨリ九尺以上後退シテ建築スルコト但幅員六尺以上ノ廊下ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス
三　建物ハ成ル可ク屋蓋ヲ高クシテ空氣ノ流通及採光ニ便ニシ小賣商品ニハ必ス陳列臺ヲ設ケ且食品及其ノ置場ハ光線ノ直射ヲ避クルコト

四　魚市場及魚類販賣店ニ在リテハ其ノ地盤ハ不滲透質ノ材料ヲ用ヒ適當ノ勾配ヲ附スルコト

五　場内通路ハ之ヲ二間以上トシ交通往來ニ支障ナカラシムルコト

六　市場内ニハ水道井戸其ノ他適當ナル給水設備ヲナシ食品、食品容器及陳列臺ノ洗滌ニハ水道水又ハ試驗ヲ受ケタル飲用水ヲ使用スルコト

七　場内土間汚水溝渠及汚水溜等ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ築造シ溝渠汚水溜ニハ常ニ覆蓋ヲ施シ且場外一定ノ場所ニ排除スルコト

八　汚物ハ一定ノ容器ニ入レ臭氣ノ發散セサル裝置ヲナシ且毎日市場閉鎖後遲滯ナク取捨ツルコト

九　第一條第一號ノ市場ニ在リテハ倉庫ヲ附設シ冷藏又ハ氷藏ノ設備ヲナスコト

十　市場ニ於テ取扱フ商品ノ搬入搬出ニ使用セラルヽ諸車ノ駐場又ハ牛馬ノ繫留場ヲ設クルコト

十一　市場内ニ適當數ノ便所ヲ設ケ防臭防蠅設備ヲ施スコト

第六條　市場ノ設備竣工シタルトキハ其ノ旨ヲ届出テ檢査ヲ受クルニ非サレハ使用スルコトヲ得ス

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ第四號ノ場合ヲ除キ其ノ前日迄ニ知事ニ届出ツヘシ

一　市場ヲ開始スルトキ

二　市場ヲ廢止スルトキ

三　（削除）

四　市場開設者死亡シタルトキ

五　定期休業日以外ニ於テ休業スルトキ

前項第四號ノ届出ハ法定ノ届出義務者之ヲ爲スヘシ

第八條　知事ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ市場ノ移轉構造設備ノ變更又ハ市場規則若ハ規約ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

市場建物朽廢破損シ又ハ其ノ虞アリト認ムルトキハ改築又ハ修繕ヲ命スルコトアルヘシ

第九條　左ノ場合ニ於テハ市場開設許可ノ取消又ハ營業ノ停止ヲ命スルコトアルヘシ

一　第二條第九號ノ竣工期日ヲ經過シ尚竣工セサルトキ

二　竣工後三箇月以内ニ市場ヲ開始セス又ハ六ケ月以上休業シタルトキ

三　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ許可ニ附シタル條件ニ違背シタルトキ

四　市場規則又ハ規約ニ違反シタル行爲アリタルトキ

五　其ノ他公益上必要アリト認ムルトキ

第十條　市場管理者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス定額以上ノ手數料又ハ使用料ヲ徵收スルコトヲ得ス

二　正當ノ事由ナクシテ取引ヲ拒絶強制又ハ制限スルコトヲ得ス

三　取引商品ノ新鮮純良ヲ期スヘシ

四　市場ノ内外ハ常ニ掃除ヲ怠ラス清潔ヲ保持スヘシ

五　第一條第二號ノ市場ニ於テハ計量器ヲ常備シ購買者ノ自由使用ニ供セシムヘシ

六　第一條第一號ノ市場ノ業務ヲナス者ハ其ノ日ノ賣買取引ニ依ル主要品目ノ出來相場ヲ即日公表

スヘシ

第一條第二號ノ市場ノ管理者ハ重要ナル食糧品ニ對スル價格ヲ市場内見易キ場所ニ掲示スヘシ

前項ノ價格ハ市場管理者ニ於テ之ヲ定ムヘシ

七　食糧品ノ販賣業者ニハ服裝ヲ清潔ニ保持セシムヘシ

八　道路ニ於テ取引又ハ商品ノ陳列ヲ爲サシムヘカラス

九　市場内ニ存スル建物ハ監視用ニ供スルモノヲ除キ之ヲ住居ノ用ニ供セシムヘカラス

第十一條　市場ニハ一定ノ帳簿ヲ備ヘ毎日其ノ取引ニ係ル商品ノ種類及金額等ヲ記入スヘシ

第十二條　市場管理者ハ毎年一月末現在ニ於ケル仲買人、引參加數又ハ販賣業者數、使用料額及取引狀況ヲ記入シ尚收支計算書及一月末現在ニ於ケル仲買人、引參加數又ハ販賣業者數調書ヲ添ヘ知事ニ届出ツヘシ但シ決算期アルモノハ其ノ決算ノ翌月末日迄ニ届出ヘシ

知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ臨時届出ヲ命スルコトアルヘシ

第十三條　當該官吏又ハ警察官ニ於テ衞生上有害ナリト認メタルトキハ其ノ物品ノ取引ヲ禁止スルコトアルヘシ

第十四條　當該官吏又ハ警察官ハ市場ニ臨檢シ營業ニ關スル書類帳簿等ヲ檢査シ且必要ナル命令ヲナスコトアルヘシ

第十五條　第二條ノ許可ヲ受ケスシテ市場ヲ開設シタル者アル場合ニ於テハ當該官吏又ハ警察官ハ其ノ廢止ヲ命シ其ノ他必要ナル措置ヲナスコトヲ得

第十六條　第二條ニ依リ許可ヲ受ケタル市場ハ相續ニヨリ其ノ營業ヲ繼承スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ相續人ヨリ戸籍謄本ヲ添ヘ遲滯ナク知事ニ届出ツヘシ

第十六條ノ二　市場ヲ讓渡セムトスルトキハ其理由ヲ具シ讓渡人讓受人連署ヲ以テ知事ノ許可ヲ受クヘシ

左ノ場合ハ讓渡ヲ許可セス

一　讓受人不適當ト認メタルトキ

二　許可ヲ受ケ未タ營業ヲ開始セサルトキ但シ特別ノ事情アルモノハ此ノ限ニ在ラス

三　其ノ他公益ヲ害スル虞アリト認メタルトキ

第十七條　市場ニ於テ賣買交換ニ參加スル者及販賣業者ハ市場規則又ハ規約ニ定ムル事項ヲ遵守スヘシ

第十八條　本令ニ依リ提出スル書類ハ總テ所轄警察署及市町村長ヲ經由スヘシ

第十九條　市場ニ於テ賣買交換ニ參加スル者及販賣業者ニシテ本令若ハ本令ニ基キテ發シタル命令ニ違反シ又ハ市場規則若ハ規約ニ從ハサルトキハ所轄警察署長ハ市場内ニ於テ營業ヲ爲スコトヲ禁止シ又ハ停止シ若ハ退場ヲ命スルコトアルヘシ

第二十條　許可ナクシテ市場ヲ開設シ或ハ讓渡シ又ハ停止中業務ヲ爲シタル者若クハ第十四條ノ規定ニ依ル臨檢ヲ拒ミタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス第四條、第六條及第十條ニ違反シタルモノハ科料ニ處ス

第二十一條　市場開設者市場管理者及販賣業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居人又ハ從業者カ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

附　則

第二十二條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十三條　明治四十四年三月大阪府令第十四號市場取締規則ハ之ヲ廢止ス

第二十四條　本令施行前設立ノ市場ニシテ既ニ許可ヲ受ケタルモノ又ハ本令第一條第二號ニ該當スルモノハ本令施行ノ日ヨリ一ケ月以内ニ第二條各號ノ事項ヲ届出テタルトキハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第二十五條　本令施行前設立シタル市場ハ本令第五條ノ構造設備ニ關シテハ同條第二號ヲ除キ昭和七年二月末日迄ニ之ニ準據シテ改修スヘシ

大阪府　市場取締規則取扱手續

第一條　本手續ニ於テ規則トハ市場取締規則ヲ謂フ

第二條　市町村長規則第十八條ニ依リ先ニ書類ヲ受理シタルトキハ副申ヲ要スルモノハ二週間以内其他ノモノハ五日以内ニ所轄警察署長ニ之ヲ廻送スヘシ警察署長ハ前項ニ準シ之ヲ市町村長ニ廻送スヘシ

後ニ受理シタル官公署ハ其ノ受理シタルトキヨリ第一項ノ期間内ニ之ヲ知事ニ進達スヘシ

第三條　規則第二條ノ市場開設ノ願書ヲ受理シタルトキハ所轄警察署長及市町村長ハ之ヲ調査シ意見ヲ副申スヘシ

前項ノ副申ニハ左ノ事項ヲ記載シタル調書ヲ添付スヘシ

警察署長

一　市場ノ位置、敷地、面積、構造及設備ハ交通、衞生、保安上支障ナキヤ否ヤ

二　開設者及管理者(開設者法人又ハ組合ナルトキハ其ノ代表者)ノ職業、經歷、資産、信用、前科及適否

三　最寄既設市場トノ距離及之ニ及ホス影響

四　附近居住者ニ於テ市場開設ニ對シ異議ナキヤ否ヤ異議アルトキハ其ノ可否

五　市場開設ノ許否ニ關スル意見

市町村長

一　開設セントスル市町村及市場ノ接續地區五丁以内ニ於ケル現在戸數人口

二　市場ノ位置、敷地、面積、構造及設備ハ物品ノ運送保管其ノ他荷捌上適當ナリヤ否ヤ

三　市場ニ於テ取扱ハムトスル商品ノ其ノ地方ニ於ケル需要竝ニ集散狀況及從來ノ取引方法又ハ慣

習

四　市場ノ開設カ其ノ地方産業ニ及ホス影響

五　市場ノ組織及其ノ資産金額ハ經營上適當ナリヤ否ヤ

六　市場敷地ハ開設者ノ所有ナリヤ否ヤ若シ他人ノ所有ナルトキハ借用契約締結ノ有無

七　市場開設ノ許否ニ關スル意見

八　其他參考トナルヘキ事項

第四條　規則第四條ニ依ル事項變更ノ許可申請アリタルトキハ第三條各號ヲ準用シ之ヲ調査シテ意見ヲ副申スヘシ

第五條　所轄警察署長規則第六條ニ依ル屆書ヲ受理シタルトキハ市町村長ト協議シテ現場ヲ檢査シ支障ナシト認ムルトキハ使用ヲ許可シ其ノ旨知事ニ報告スヘシ

第六條　警察署長左ノ措置命令ヲ發シタルトキハ速ニ其ノ顚末ヲ知事ニ報告スヘシ

一　規則第十三條ニ依ル物品ノ取引ヲ禁止シタルトキ

二　規則第十四條ニ依ル臨檢ノ結果命令ヲ爲シタルトキ

三　規則第十五條ニ依ル市場ノ廢止ヲ命シ必要ナル措置ヲナシタルトキ

四　規則第十九條ニ依リ營業禁止若クハ停止又ハ退場ヲ命シタルトキ

第七條　所轄警察署及市役所又ハ町村役場ニハ左記様式ニ依リ市場臺帳ヲ備ヘ異動アル毎ニ之ヲ整理スヘシ

第八條　市町村長又ハ警察署長規則第八條及第九條ニ該當スル事實ヲ認知シ之ニ依ル命令又ハ處分ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ其ノ事實ヲ祥具シ知事ニ報告スヘシ

附　則

本手續ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二年五月三十日公布大阪府訓令第十七號）

市場臺帳様式

| 名稱 | | |

品目	資本額			取扱高								備考
	資本額	拂込資本金	建物 坪數	敷地 坪數	期間 自昭和年月日 至昭和年月日	數量	金額	本棚ニハ主トシテ開設後ノ願屆其ノ他取締上ニ關スル事項ヲ記載スヘシ	市場出入者數	荷主	仲買人	販賣人	取引人	其他

兵庫縣　市場取締規則

（昭和二年九月十五日兵庫縣令第四六號）

第一條　本令ニ於テ市場ト稱スルハ場屋ヲ設ケ又ハ之ヲ設ケサルモ區劃シタル地域ニ於テ毎日又ハ定期ニ多數ノ需要者及供給者集合シ食料品ノ賣買交換ヲ行フ場所ヲ謂フ

第二條　市場ヲ開設セムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ知事ニ願出許可ヲ受クヘシ

一　本籍、住所、氏名、年齢（法人又ハ組合ニアリテハ其ノ名稱事務所々在地代表者ノ住所氏名定款又ハ組合規約）

二　名稱

三　位置

四　一ケ年間ニ於ケル取扱商品ノ豫想數量及價格

五　敷地及建物ノ坪數

六　消防ニ關スル設備

七　周圍五丁以内ノ見取圖（人家道路其他ノ地物ヲ表示シ且其距離ヲ記入スルコト）

八　建物配置圖（水道防火栓ヲ設クルモノニアリテハ其位置ヲ表示スルコト）同平面圖同斷面圖同正面圖同側面圖同背面圖小屋及床伏圖（以上縮尺百分ノ一）構造上緊要ナル各部ノ詳細圖（縮

尺二十分ノ一又ハ現圖）及仕樣書但シ規模小ナルモノニアリテハ正面圖以下ノ圖面ヲ省略スルコト

九　燈火ノ種類

十　市場規程

十一　落成期日

十二　存續期間

十三　出願者公法人ナルトキハ市場開設ニ關スル決議書寫

十四　市場ノ敷地又ハ建物ニシテ他人ノ所有ナルトキハ其所有者ノ承諾書

前項第三號第五號第六號第八號乃至第十二號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ又ハ建物ノ改築增築修繕若ハ變更ヲ爲サムトスルトキハ關係事項ヲ具シ知事ニ願出許可ヲ受クヘシ

第三條　前條第十號ノ市場規定ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一　市場名稱、事務所々在地

二　市場開閉日時定休日アルモノハ其ノ期日

三　取引スヘキ商品ノ種類

四　商品取引ノ方法

五　商品取扱ノ方法

六　手數料、使用料、保證金、加入金等ノ額並其徵收管理處分ノ方法

七　歩合金奬勵金割戻日錢等アルモノハ其額並支給方法

八　市場內ノ淸潔維持災害豫防其他一般取締ニ關スル事項

九　加入及脫退ニ關スル事項

十　違約者處分ニ關スル事項

十一　會議ニ關スル事項

十二　市場管理者ノ資格、權限及其選任並解任ニ關スル事項

十三　其他市場經營ニ必要ナル事項

第四條　知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ市場ノ許可ニ當リ制限又ハ條件ヲ附スルコトアルヘシ

第五條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市場ノ開設ハ之ヲ許可セス

一　位置不適當ト認ムルトキ

二　公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキ

三　開設者不適當ト認ムルトキ

四　既設市場ヲ去ル四丁以內ニ開設セントスルトキ（昭和四年九月十八日改正）

第六條　市場ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ許可ノ取消又ハ使用ノ停止ヲ命スルコトアルヘシ

一　許可ノ日ヨリ六十日以內ニ工事ニ着手セサルトキ

二　落成期日ヲ經過シ尙落成セサルトキ

三　竣工後九十日以內ニ開場セス又ハ休場百八十日以上ニ亘ルトキ

四　市場規程ニ違反スルノ行爲アリタルトキ
五　市場ノ經營カ公益ヲ害スト認ムルニ至リタルトキ
六　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ
第七條　市場ニシテ休場一ケ年以上ニ及フトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ
第八條　市場ノ工事ニ付キ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其都度知事ニ届出ツヘシ
一　起工シタルトキ
二　上棟ヲ爲シタルトキ
三　工事落成シタルトキ
四　前各號ノ外特ニ指示シタルトキ
第九條　工事落成シタルトキハ認可ヲ受クルニ非サレハ使用スルコトヲ得ス
第十條　讓受又ハ相續其他ノ事由ニ依リ市場ノ經營ヲ承繼セムトスルトキハ其ノ事實ヲ證スルニ足ルヘキ證憑書類ヲ添ヘ關係者連署（連署ヲ爲シ得サル場合ハ其事由）ノ上知事ニ願出許可ヲ受クヘシ
第十一條　知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ市場建物ノ改築修繕、移轉又ハ市場規程ノ變更其他ノ施設ヲ命スルコトアルヘシ
第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ五日以內ニ届出ツヘシ
一　第二條第一號ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキ
二　市場ヲ開始シタルトキ
三　定休日以外ニ休場セムトスルトキ
四　市場ヲ廢止シタルトキ
五　市場經營者死亡シ又ハ一ケ月以上行衞不明トナリタルトキ及法人若クハ組合ヲ解散シタルトキ
前項第五號ノ届出ハ戶主又ハ家族若ハ淸算人ニ於テ之ヲ爲シ其他ハ本人之ヲ爲スヘシ
第十三條　市場ハ許可ヲ受ケタルモノ自ラ經營ヲ爲ス場合ノ外市場管理人ヲ定メ知事ニ届出ツヘシ其ノ之レヲ變更シタルトキ亦同シ
第十四條　市場經營者又ハ市場管理者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ
一　何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス定額以外ノ料金ヲ徵セサルコト
二　正當ノ理由ナクシテ取引ヲ拒絕强制又ハ制限セサルコト
三　取引商品ノ新鮮純良ヲ期スルコト
四　小賣商品ハ正札ニ依リ價格ヲ明記スルコト
五　市場業務ニ干與スル從業者、仲買人、出店者其ノ他ノ取引參加者中傳染性疾患アル者又ハ客ノ嫌忌スキヘ者ヲシテ業務ニ干與セシメサルコト
六　市場內外及各店舖ハ每日閉場後直チニ假設物ヲ撤去シ塵芥、汚水其ノ他ノ不潔物ヲ適當ニ處置スルコト
第十五條　市場經營者又ハ市場管理者ハ每年一月末日迄ニ前一ケ年間ニ於ケル取引商品ノ種類、數量價格、手數料若クハ使用料其他市場ノ收入トナリタル金額及取引狀況ヲ記載シ知事ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ニハ收支計算書及毎年一月末現在ニ於ケル仲買人、出店者ノ住所、氏名ヲ添附スヘシ

前二項ノ届出ニシテ決算期アルモノハ其ノ決算期ノ翌月末日迄ニ提出スヘシ

知事ニ於テ必要アリト認ムトキハ臨時届出ヲ命スルコトアルヘシ

第十六條　當該官吏警察官吏ハ取引ニ關スル書類簿冊ノ提出ヲ命シ且臨時必要ナル命令ヲ爲スコトアヘシ

第十七條　市場ニ於テ業務ニ干與スル從業者、仲買人、出店者其ノ他ノ取引參加者ハ市場規程ヲ遵守スルコト

第十八條　市場ニ於テ業務ニ干與スル從業者、仲買人、出店者其他取引參加者ニシテ前條ニ違反シ其他本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ所轄警察署長ニ於テ就業ノ禁止又ハ停止若ハ退場ヲ命スルコトアルヘシ

第十九條　本令ニ依リ和事ニ提出スル書類ハ所轄警察署ヲ經由スヘシ

第二十條　本令ニ依ル願出人ニシテ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ所轄警察署ヲ經由スヘシ

キハ保佐人妻ナルトキハ夫ノ連署ヲ要ス

第二十一條　市場ノ構造設備ハ左ノ標準ニ據ルヘシ

一　敷地ハ二方面ニ於テ幅員三間以上ノ道路ニ接シ之レニ適當ナル出入口ヲ設クルコト

二　道路ニ面シテ販賣口ヲ有スルモノハ道路境界ヨリ三尺以上後退シテ建築スルコト

三　建築面積ハ二百坪以下タルコト但シ適當ナル防火設備ヲ爲ストキハ此ノ限ニアラス

四　場内通路ノ有効幅員ハ九尺以上トシ且路面ノ鋪裝ハ耐水材料ヲ用ヒ適當ノ勾配ヲ附シ常ニ鋪裝ヲ完全ナラシムルコト

五　屋上ハ不燃材料ヲ以テ覆葺スルコト

六　敷地内ニ於ケル雨水、汚水ヲ排泄又ハ處理スヘキ適當ナル設備ヲ爲スコト

七　場内土間、溝渠及汚水溜等ハ耐水材料ニテ築造シ溝渠、汚水溜ニハ常ニ完全ナル覆蓋ヲ施スコト

八　場内適當ノ箇所ニ塵芥溜ヲ設ケ且ツ臭氣ノ發散セサル裝置スルコト

九　商品運搬ニ要スル諸車容箱類ノ置場ヲ敷地内適當ノ場所ニ設クルコト

十　場内ニ適當數ノ共同便所ヲ設ケ防臭設備ヲ完全ナラシメ且男女ノ區別ヲ爲スコト

十一　非常口ノ高及幅ハ各内法六尺以上トシ外開キ爲スコト

十二　生魚類ヲ販賣スル場所ニ於テハ別ニ汚物溜ヲ設ケ常時水ヲ使用スル場所並其周壁ハ（床面一尺五寸以上）ハ耐水材料ヲ以テ築造スルコト

十三　場内ニハ適當ナル採光換氣ノ裝置ヲ爲スコト

十四　室内天井ノ高ハ路面ヨリ十尺以上通路部分ノ天井ノ高ハ十三尺以上ト爲スコト

十五　場内ニハ水道防火栓又ハ輕便消火器ヲ備付クルコト

十六　場内ニハ水道、井戸其他適當ナル給水設備ヲ爲シ食品、食品容器及陳列臺等ノ洗滌ニハ水道水又ハ水質試驗ニ合格セル飲料水ヲ使用スルコト

第二十二條　前條ノ規定ハ建物又ハ周圍ノ狀況ニ依リ特ニ斟酌スルコトアルヘシ

第二十三條　場屋ヲ設ケ又ハ之レヲ設ケサルモ區劃シタル地域ニ於テ臨時ニ多數ノ需要者及供給者集合シ食料品ノ賣買交換ヲ行フ場所（臨時市場）ヲ開設セムトスル者ハ其ノ日時期間場所商品ノ種類取引ノ方法、手數料又ハ使用料等料金ヲ徵スルモノハ其料金額、場內秩序及清潔維持ニ關スル事項建物及設備ノ構造仕樣書、附近三町以內ノ見取圖ヲ具シ所轄警察署ニ願出許可ヲ受クヘシ

第二十四條　前條ニ依リ許可ヲ受ケタル臨時市場ニアリテハ閉場後五日以內ニ取引商品ノ種類數量價格取引參加人員ノ調査書ヲ作リ所轄警察署ニ屆出ツヘシ

第二十五條　第四條乃至第六條、第十四條、第二十條及第二十七條ノ規程及之カ罰則ハ臨時市場ニ準用ス

第二十六條　第二條、第九條、第十條、第十四條、第二十三條ニ違反シ又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シ若ハ第十六條ノ提出ヲ拒ミタルトキハ拘留又ハ科料ニ處ス

第八條、第十二條、第十三條、第十五條、第十七條及第二十四條ニ違反シタルトキハ科料ニ處ス

第二十七條　前條ノ罰則ハ法人ニアリテハ其ノ代表者、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其法定代理人ニ之ヲ適要ス但其業務ニ關シ成年者ト同一能力ヲ有スル未成年者ニアリテハ此限ニ在ラス

第二十八條　市場經營者、市場管理人仲買人出店者ハ家族雇人其他從業者其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ責ヲ免ルヽコトヲ得ス

附　則

第二十九條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十條　明治四十三年七月兵庫縣令第三十六號食料品市場取締規則ハ之ヲ廢止ス

第三十一條　本令施行前明治四十三年七月兵庫縣令第三十六號食料品市場取締規則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノ及明治四十三年三月兵庫縣令第二十三號勸商場取締規則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノニシテ本令第一條ニ該當スルモノハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

前項ノ市場ハ本令第三條ニ依ル市場規程ヲ昭和二年十二月三十一日迄ニ知事ニ提出スヘシ

第三十二條　本令施行前開設シ現ニ存在スル市場ニシテ前條ニ該當セサルモノハ昭和三年六月三十日迄ニ本令第二條及第十三條ノ事項ヲ具シ知事ニ屆出ツヘシ

前項ノ屆出ヲナシタルモノハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第三十三條　前條ノ市場ニシテ本令第二十一條ノ構造設備ニ適合セサルモノハ昭和七年十二月三十一日迄ニ本令ニ準據シテ改修スヘシ

兵庫縣　市場取締規則執行心得

（昭和二年十月四日　兵庫縣訓令乙第四一六號）

第一條　市場取締規則（以下單ニ規則ト稱ス）第三條第一項ノ願書ヲ受理シタルトキハ左記事項ヲ調

査シ尚所轄市町村長ニ對シ當該市場ノ開設必要ノ有無ヲ照會シ其回答書ヲ添ヘ意見ヲ附シテ進達スヘシ

一　出願人（法人又ハ組合ナルトキハ其ノ代表者）ノ職業、經歷、素行、資產、信用、前科ノ有無幷ニ市場經營者トシテノ適否

二　市場設置必要ノ有無

三　位置、敷地、面積ノ道路及空地關係ノ實地ト相違ノ有無幷ニ交通、衞生、保安上支障ノ有無

四　社寺、學校、病院及官公署、兵營、公園等トノ距離及ヒ之レニ及ホス影響

五　既設市場、漁業組合共同販賣所及ヒ勸商場アルトキハ是レトノ距離（管內略圖ニヨリ表示スルコト）幷ニ之ニ及ホス影響

六　市場ヲ設置セムトスル地ノ戶口（市ニアリテハ周圍五町以內其ノ他ニアリテハ町村戶口）

七　市場ニ於テ取扱ハムトスル商品ノ其地方ニ於ケル需要幷ニ集散狀況（競賣ヲ目的トスル市場ニアリテハ商品ノ種類每ニ仕入地及仕向地、別ニ其ノ數量幷ニ價格ノ豫想數ヲ記載スルコト）及ヒ從來ノ取引又ハ販賣ノ方法ニ關スル慣習

八　市場ノ設置カ地方產業ニ及ホス影響幷ニ之レニ對スル住民ノ意嚮

九　市場規程ノ內容適當ナリヤ若シ變更追加ヲ要スル事項アラハ其ノ事項

一〇　其他處理上參考トナルヘキ事項

第二條　規則第二條第二項ノ願出アリタルトキハ前條ニ準シ調査ヲナシ進達スヘシ

第三條　規則第八條ノ屆出アリタルトキハ一應事實ヲ調査シ進達スヘシ

第四條　規程第十條ノ願出アリタルトキハ本心得第一條第一項第一號ノ事項ヲ調査シ許否ニ關スル意ヲ附シテ進達スヘシ

第五條　規則第十二條及第十三條ノ屆出アリタルトキハ事實ヲ調査シ進達スヘシ

第六條　規則第六條、第七條及第十一條所定ノ事項ヲ生スルニ至リタルトキハ事情ヲ詳具シ報告スヘシ

第七條　規則第十八條ニヨリ就業ノ禁止、停止又ハ退場ヲ命セムトスル場合ハ豫メ其ノ事由幷ニ命令スヘキ事項ヲ具シ稟申指揮ヲ受クヘシ但シ輕微ナル事項ニ付テハ處分ノ後速報スヘシ

第八條　規則第五條第一項ニ依ル屆書ハ取纏メ每年二月五日迄ニ進達スヘシ

同條第三項及第四項ニ依ル屆書ハ其ノ都度進達スヘシ

第九條　規則第二十三條ニ依ル願書ヲ受理シタルトキハ既設市場、漁業組合共同販賣所又ハ勸商場ニ及ホス影響、開設、期間、位置、構造ノ適否、交通、衞生及ヒ保安上支障ノ有無ヲ精查シ許否ヲ決スヘシ

但シ開設期間ハ概ネ十日以內ニ制限スヘシ

第十條　市場ニ對シテハ時々臨檢シ交通衞生及ヒ保安上ノ取締ニ注意シ尚市場規程遵守ノ有無其他市場經營者及ヒ市場管理人ニ於テ本則遵守ノ有無ニ關シ視察スヘシ

第十一條　警察署ニハ別記樣式ノ市場臺帳ヲ備ヘ所定ノ事項ヲ記入シ常ニ整理シ置クヘシ

附　則

第十二條　明治四十三年七月訓令乙第九一五號食糧品市場開設願ニ關スル件及ヒ保訓第一三號食糧品市場取締規則執行心得ハ之ヲ廢止ス

市場臺帳樣式（用紙美濃紙）

市場名稱		市場經營者	住所氏名
位置		市場管理人	住所氏名
敷地坪數		取引商品ノ種類	
建物坪數			
出願年月日		取引ノ方法	
許可年月日指令ノ番號		手數料其他ノ料金種別金額	
存續期間			
開市年月日			
廢止年月日		歩合金奬勵金割戻口錢	
組織及市場種別			

奈良縣　市場取締規則

（大正八年六月縣令第四一號）

第一條　本則ニ於テ市場ト稱スルハ多衆相集リ穀類、薪炭、魚介類、鳥獸、肉類、蔬菜、果實類、干物類、罐詰類其他食糧品等ヲ競賣シ若ハ共同小賣販賣ヲ爲ス一定ノ場所ヲ謂フ

第二條　市場ヲ設ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ知事ニ出願許可ヲ受クヘシ

商品取引高又ハ販賣高			
期間	種類數量	金額	
自年月日			
至年月日			

備考　本欄ニハ許可後ノ願屆其他取締上參考ト爲スヘキ事項ヲ記載スヘシ

一　出願者本籍、住所、身分、職業、氏名、年齡但シ法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所所在地並代表者氏名
二　市場ノ名稱
三　位置並周圍三丁以內ノ圖面
四　建物ノ配置平面圖並構造仕樣書
五　商品ヲ運搬スヘキ牛馬諸車等ノ置場並其ノ坪數
六　市場規程
七　市場ニ必要ナル敷地其ノ他ノ建物カ他人ノ所有ニ係ルトキハ其ノ貸借ニ關スル承諾書
八　工事落成期日
九　營業者市町村ナルトキハ市町村會ノ市場經營ニ關スル決議書寫其ノ他ノ法人ニ在リテハ定款組合ニ在リテハ規約市場ノ移轉變更又ハ建物ノ改築增築大修繕ヲ爲サムトスルトキハ前項ニ準シ更ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條　食品問屋業者同仲買業者又ハ小賣業者ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス市場以外ニ於テ市場ニ紛ハシキ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第四條　市場規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
一　取引スヘキ商品ノ種類
二　賣買取引ノ方法

三　商品取扱ノ方法
四　市場開閉ノ日時
五　賣上金受渡ノ方法
六　使用料手數料又ハ割戻口錢
七　保證金等ヲ徵スルモノニ存リテハ其ノ金額並管理處分方法
八　市場內取締及淸潔ニ關スル事項
九　其ノ他必要ナル事項

第五條　公益上取締ノ必要アリト認タルトキハ市場ノ數ヲ制限シ又ハ市場規程ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第六條　市場ノ位置並構造設備ハ左ノ制限ニ依ルヘシ但シ土地ノ狀況又ハ商品ノ種類ニ依リ構造ノ一部ヲ省略スルコトヲ得

一　官公署學校病院等ニ對シテ適當ノ距離ヲ保有スルコト
二　建物ハ屋蓋ヲ高クシ內部ノ周圍ニハ三尺以上腰板張ヲ爲スコト
三　建物ニハ採光換氣ノ裝置ヲ爲スコト但シ魚介類又ハ鳥獸肉類ノ市場建物ニハ屋上ニ適當ノ空氣拔ヲ設クルコト
四　商品置場ノ地盤ハ不滲透質ノ材料ヲ以テシ且適當ノ勾配ヲ附シ汚物洗流及排水ニ便ナル樣築造スルコト

五　汚水ノ排出スヘキ溝渠ハ不滲透質ノ材料ヲ用ヒ且覆蓋ヲ施スコト

六　市場建物外適當ノ場所ニ於テ完全ナル木箱若クハ不滲透質ノ材料ヲ以テ汚物溜ヲ設ケ且覆蓋ヲ施スコト

第七條　市場ノ工事落成シタルトキハ知事ニ届出テ檢査ヲ受クヘシ檢査ニ合格シ認可ヲ受クルニ非サレハ市場ヲ使用スルコトヲ得ス

第八條　營業者ハ容易ニ傳播ノ危險アル傳染性疾患ニ係レル者ヲシテ飲食物ノ取扱ヲ爲サシムルコトヲ得ス營業者ニシテ其ノ疾病ニ罹リタルトキ亦同シ

警察官署ニ於テ必要アリト認メタルトキハ從業者ニ對シ健康診斷ヲ行ヒ又ハ指定シタル醫師ノ健康證明書ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第九條　讓受又ハ相續ニ依リ市場營業ヲ承繼セムトスル者ハ知事ニ出願許可ヲ受クヘシ但シ相續ノ場合ニハ相續人ノ戸籍謄本讓受ノ場合ニハ讓渡人連署ヲ要ス

法人ニ在リテハ前項ニ準シ權利義務承繼ニ關スル書類ヲ添付スヘシ

第十條　左ノ場合ニハ五日以內ニ知事ニ届出ツヘシ但シ死亡ノ届出ハ戸籍法第百十七條ニ定メタル届出義務者カ死亡ノ事實ヲ知リタル日ヨリ七日以內ニ之ヲ爲スヘシ

一　營業ヲ開始シタルトキ

二　一箇月以上休業セムトスルトキ

三　市場ノ名稱ヲ變更シタルトキ

四　市場營業者若ハ管理者ノ死亡又ハ住所氏名ヲ變更シタルトキ

五　定款又ハ組合規約ヲ變更シタルトキ

六　市場ヲ廢場シタルトキ

七　法人又ハ組合ノ解散シタルトキ

第十一條　左ノ場合ニハ市場營業ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一　市場營業ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ六箇月以內ニ之ヲ開始セス又ハ休業六箇月以上ニ及フトキ

二　工事落成期日ヨリ三箇月以上ヲ經過スルモ尙竣工セサルモノ

三　本則ニ違背シ又ハ本則ニ基キテ發スル命令ヲ遵守セサルトキ

第十二條　市場ノ位置不適當ト認ムルトキハ移轉ヲ命スルコトアルヘシ

第十三條　市場建物其ノ他ノ設備不完全ナリト認メタルトキハ改築增築修繕其ノ他特別ノ設備ヲ命スルコトアルヘシ

第十四條　市場內ノ通路ニハ車馬其ノ他ノ物件ヲ置キ通行ノ妨害トナルヘキ行爲ヲ爲スヘカラス

第十五條　左ノ場合ニハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ出願許可ヲ受クヘシ

一　市場規程ヲ變更セムトスルトキ

二　工事落成期日ヲ延期セムトスルトキ

第十六條　市場ニ於テハ市場規程ニ定メタル商品ノ外賣買交換又ハ讓賣スルコトヲ得ス

第十七條　市場ニ於ケル商品ニシテ衞生上危害ヲ生スルノ虞アリト認メタルトキハ當該營業者ニ對シ

其ノ物品ノ販賣授受ヲ禁止シ又ハ所有者若ハ所持者ヲシテ其ノ物品ヲ廢棄セシメ又ハ直接之ヲ廢棄スルコトヲ得但シ所有者ニ於テ衞生上危害ヲ生スルノ虞ナキ方法ニ依リ之ヲ處置セムコトヲ請フ者アルトキハ警察官署ハ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十八條　市場ニ於テ傳染病毒汚染ノ虞アル食用品ヲ賣買交換又ハ驛賣スルコトヲ得ス

第十九條　市場ニ於テハ故ナク一般公衆ノ取引ヲ拒絶シ或ハ制限スルコトヲ得ス

第二十條　營業者自ラ市場ヲ管理セス又ハ管理スルコト能ハサルトキハ適當ナル管理人ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クヘシ

管理人不適當ト認ムルニ至リタルトキハ之カ解任ヲ命スルコトアルヘシ

第二十一條　市場ノ入口ニハ其ノ名稱營業者又ハ管理人若ハ代表者氏名ヲ標記スヘシ

第二十二條　市場規程中取引ニ關スル事項ハ之ヲ公衆ノ瞭易キ箇所ニ掲示スヘシ

第二十三條　營業者ハ市場閉場後二時間以內ニ場內及溝渠等ヲ清潔ニ掃除スヘシ

第二十四條　本則ニ依リ提出スヘキ願屆ハ所轄警察官署ヲ經由スヘシ

第二十五條　左ニ該當スルモノハ拘留科料ニ處ス

一　第二條、第三條、第七條乃至第十條、第十五條、第十六條、第十八條乃至二十三條ニ違反シタルモノ

二　本則ニ基キテ發スル命令ニ從ハサルモノ

第二十六條　營業ニ關シ本則ニ依リ適用スヘキ罰則ハ營業者カ犯罪責任無能力者ナルトキハ法定代理人ニ管理人在ル場合ハ管理人ニ之レヲ適用ス

營業者又ハ管理人ハ其ノ代理人戶主家族雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本則ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十七條　法人ヲ罰スヘキ場合ハ其代表者ヲ以テ被告人トシ第二十五條ノ科料ヲ適用ス

第二十八條　本則ハ緣日市、祭日市、盆祭市其ノ他一時限ノモノニ適用セス

附　則

第二十九條　本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十條　本則施行ノ際現ニ營業中ニ屬スルモノハ大正八年十月三十日限リ本則ニ依リ許可ヲ受クヘシ

和歌山縣　魚市場取締規則

（昭和三年一月十七日和歌山縣令第一二號）

第一條　本則ニ於テ魚市場ト稱スルハ第三條ニ依ル市場開設者カ製造又ハ加工セサル水產動植物ヲ他人ノ委託ヲ受ケテ競賣スル一定ノ場所ヲ謂フ

第二條　魚市場ニ於ケル賣買價格ノ呼稱ハ實際額ヲ用ヰ符牒又ハ暗號ヲ使用スルコトヲ得ス

前項ニ依ル賣買價格ノ呼稱ハ實際額ヲ用ヰ符牒又ハ暗號ヲ使用スルコトヲ得ス

第三條　魚市場ヲ開設セムトスル者ハ左記事項ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ第一號乃至第六號及第八

號ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一　名稱

二　位置、坪數及周圍六十間以內ノ見取圖

三　建物ノ構造設備ニ關スル仕樣書及平面圖

四　汚穢物除溝ノ構造及場內掃除方法

五　市場規程

六　資本金

七　市場開設者ノ住所氏名又ハ名稱但シ其ノ開設者法人ナルトキノ定款ノ寫ヲ添附シ且其ノ代表者ノ住所、氏名ヲ記載スヘシ

八　許可期間

九　一年間ノ取扱フヘキ水產物ノ豫想價額

十　工事ノ着手及竣工豫定期日

十一　市町村ニ在リテハ其ノ年度ノ歲入出豫算

第四條　魚市場ノ設備左記各號ニ依ルヘシ

一　建物ハ空氣ノ流通ヲ便ナラシメ賣場及置場ハ日光ノ直射ヲ避クルニ足ル設備ヲ爲スコト

二　販賣場及魚置場ノ地盤ハ厚サ二寸以上ノ不滲透質ノ材料（セメント、コンクリート類）ヲ用キ適當ノ勾配ヲ附シ且周圍內壁ニハ三尺以上石、煉瓦疊ト爲スコト

三　汚水ハ溝渠ヲ設ケ之ヲ屋外一定ノ場所ニ排除スルコト

四　溝渠及汚水溜ハ陶器又ハ不滲透質ノ材料ヲ用キ覆蓋ヲ設クルコト

五　場內ニハ井戶又ハ適當ノ給水設備ヲ爲スコト

六　便所ハ屋外ニ設ケ臭氣ノ發散セサル裝置ヲ爲スコト

地方ノ狀況ニ依リ知事ノ許可ヲ受ケタルトキハ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

第五條　市場規程ニハ左記ノ事項ヲ規定スヘシ

一　市場ノ名稱及位置

二　取引方法

三　代金受渡方法

四　手數料ノ歩合及其ノ收受方法

五　附屬取引人設置及違約者處分ニ關スル事項

六　魚市場ノ開閉時刻

七　取引人ヨリ身元保證金ヲ徵スルトキハ其ノ金額竝管理方法

八　魚市場內取締及淸潔ニ關スル事項

九　前各號ノ外必要ト認ムル事項

第六條　魚市場ノ許可期間ハ十箇年以內トス

前項ノ期間ハ更新スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ許可期間滿了ノ日ヨリ三ケ月前ニ之ヲ申請スヘシ

更新ノ場合ニ於テハ第三條各號ノ手續ヲ省略スルコトヲ得

第七條　魚市場ノ開設ハ各市町村一箇所ニ限ル但シ土地ノ狀況又ハ公益上必要ト認メタルトキハ特ニ增設ヲ許可スルコトアルヘシ

第八條　魚市場營業者其ノ營業ヲ他人ニ讓渡セムトスルトキハ當事者連署ノ上知事ノ許可ヲ受クヘシ

第九條　魚市場以外ノ場所ニ於テ臨時取引ヲ爲サムトスルトキハ事由ヲ詳記シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第十條　取締上必要アリト認ムルトキハ魚市場ノ許可ヲ爲スニ當リ之レニ制限又ハ條件ヲ附スルコトアルヘシ

第十一條　魚市場ノ許可ヲ得タル者市場ノ工事落成シタルトキハ知事ニ屆出テ檢査ヲ受クルニ非サレハ使用スルコトヲ得ス構造ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十二條　魚市場ニハ公衆ノ睹易キ箇所ニ市場ノ名稱及市場規程ヲ揭示スヘシ

第十三條　左ノ場合ニ於テハ十日以內ニ知事ニ屆出ツヘシ但シ第三號ノ場合ニハ戶籍法ニ依ル屆出義務者ヨリ又法人解散シタルトキハ淸算人ヨリ屆出ツヘシ

一　開始又ハ廢止若ハ法人解散シタルトキ

二　附屬取引人ヲ解除シタルトキ

三　營業者死亡シタルトキ

四　營業者ノ住所氏名變更アリタルトキ

五　市場建物ノ燒失又ハ崩壞シタルトキ

第十四條　魚市場ニハ一定ノ帳簿ヲ備ヘ其ノ日ノ取引ニ係ル水產物ノ種類、數量、金額竝賣買者ノ氏名及代金ノ受拂月日ヲ明細ニ記載スヘシ帳簿ノ記載ハ一切符號ヲ用フルコトヲ得ス

第十五條　魚市場營業者ニ於テ附屬取引人ヲ設置セムトスルトキハ其ノ住所氏名ヲ記載シタル書面ヲ提出シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項取引人ニ對シテハ豫メ保證金又ハ身元保證人ノ保證書ヲ徵置スルコトヲ得

第十六條　他ノ魚市場附屬ノ取引人ヲ自己魚市場ノ附屬ト爲サムントスル場合ハ前條ノ認可申請書ニ其ノ魚市場營業者ノ承諾書ヲ添付スヘシ

第十七條　知事ハ何時ニテモ官吏吏員ヲシテ魚市場業務施行ノ狀況帳簿其ノ他必要ナル物件ヲ檢査セシメ又ハ必要ト認ムルトキハ左記命令ヲ發スルコトアルヘシ

一　業務執行方法ノ改善

二　魚市場設備ノ改善

三　衞生上有害ト認メタルモノヽ賣買停止

第十八條　魚市場營業者ハ每月十日迄ニ前月分ノ取扱高ヲ知事ニ報告スヘシ

第十九條　左記各號ノ一ニ該當スルトキハ許可ノ効力ヲ失フ

一　許可ノ日ヨリ六箇月以內ニ事業ニ着手セサルトキ

二　休業一箇年以上ニ渉ルトキ

第二十條　左記各號ノ一ニ該當スルトキハ營業ノ停止ヲ命シ又ハ許可ヲ取消スコトアルヘシ